

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

東京都

自治体名：東京都

担当課名：教育庁指導部指導企画課

電話番号：03-5320-7474

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	2199.94 km ²
人口	14,195,193 人
公立中学校数	605 校
公立中学校生徒数	228,906 人
部活動数	4,356 部活
都道府県の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
都道府県の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における都道府県の現状・課題

1 地域の体育・スポーツ協会、競技団体及びその他のスポーツ団体及び各分野の文化芸術団体等と連携し、学校と地域が協働・融合した形での地域のスポーツ・文化芸術環境の充実を図る。

部活動を地域に移行するに当たり、地域の関係団体との連携が重要となる。そのため、各地域や各団体の実情について情報交換するほか、どのような協力関係のもと取組を進めていくことができるのか協議する。特に実証事業参加地区に関しては、事業実施が円滑に進むよう現場に出向き支援する。

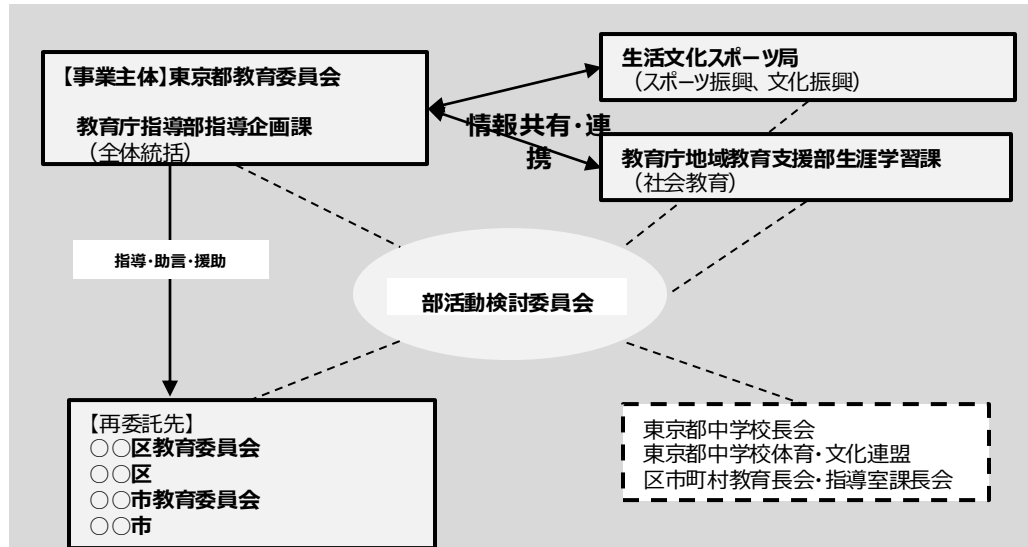
2 都内の各区市町村の実態に応じた地域連携・地域移行の在り方について実証事業を通じ検証する。

都立中学校等で実施する部活動地域移行事業を一つのパイロットケースとし、各実施校における実際の事業実施の中で得られた知見を都内区市町村へ情報提供することで、東京都における部活動の地域移行の一例として地域における取組の参考としていただく。

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（都道府県における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

・事業総括

◎首長部局

・教育委員会との連携、学校部活動の地域連携・地域移行に関する連絡協議会、部活動検討委員会への出席等

年間の事業スケジュール

令和6年7月	部活動改革アンケート実施
令和6年8月	第1回学校部活動の地域連携・地域移行に関する連絡協議会開催
令和6年9月	第1回部活動検討委員会開催
令和6年11月	第2回学校部活動の地域連携・地域移行に関する連絡協議会開催 実証事業参加区市町村現地視察及び情報交換（～12月）
令和6年12月	第2回部活動検討委員会開催
令和7年2月	第3回学校部活動の地域連携・地域移行に関する連絡協議会開催
令和7年2月	第3回部活動検討委員会開催
随時	区市町村教育委員会への情報提供・指導助言 Tokyo体育健康教育ポータルでの情報発信

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・関係者で組織する部活動検討委員会及び学校部活動の地域連携・地域移行に関する連絡協議会を年3回開催
- ・区市町村における取組を支援するため、都内全区市町村にヒアリング等を行い状況確認・指導助言を行うほか、実証事業に参加する地区には、活動現場を現地で確認の上、事業実施に関する情報交換を実施
- ・リーフレット、ニュースレターの配信

取組の成果

部活動検討委員会及び学校部活動の地域連携・地域移行に関する連絡協議会において、様々な立場から、中学校等における部活動の地域移行に向け、持続可能なスポーツや文化芸術環境の構築に当たっての課題等について御議論いただいた。

都内全区市町村へのヒアリング、及び実証事業に参加する地区に対しての活動現場の現地視察・事業実施に関する情報交換においては、各地区の抱える課題等についての情報交換のほか、各地区における今後の展望や、力を入れている取組等について御紹介いただいた。

地域関係者用と都に公立学校保護者用の2種類のリーフレットを作成し、管下の区市町村教育委員会、都立学校、スポーツ団体、文化団体等へ配信し、東京都における地域連携・地域移行について、広く周知した。また、ニュースレターを年3回作成し、部活動改革シンポジウムや区市町村の取組等を発信した。

コーディネーターの具体的な動きの実績

上記取組内容については、都教育委員会職員が自ら運営・実施しており、専任コーディネーターがこれらの業務を担当してはいない。

今後の課題と対応方針

議論等の中で、実施運営に当たり様々な課題も見えてきたところである。引き続き区市町村の取組を支援していくため、広域自治体として連絡調整や情報発信、助言等を行っていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

取組事項

- ・都内のスポーツ・文化芸術環境に関する情報を集約し、域内の区市町村に対し提供するなど、広域的な調整や学校の設置者に対する助言・支援を行う。
- ・外部指導者向けの研修動画を作成し、指導者育成のためのツールとして関係者に活用を促す。

指導者研修の内容

- 第1章 部活動の教育的意義と適切な運営の在り方
- 第2章 部活動の在り方に関する方針
- 第3章 体罰、不適切な行為の防止
- 第4章 部活動における重大事故防止に向けた安全対策
- 第5章 部活動中における健康面での留意事項
- 第6章 各競技における重大事故防止のためのガイドライン
- 第7章 部活動の実践事例

指導者研修の参加実績

- ・開催日：令和6年6月11日から7月31日まで
- ・開催回数：オンライン受講
- ・参加人数：未集計（都立校向け研修教材を御活用頂く形で対応）

受講者の声

区市町村立中学校における指導者への受講アンケート等については行っていない。

今後の課題と対応方針

区市町村において独自の研修を実施している地区が多いため、今後においても、独自研修を基本としながら、単独で研修メニューが用意できない地区等に活用していただく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

・地域のスポーツ・文化芸術団体、学校等の関係者の理解と協力の下、生徒の活動の場として、スポーツ・文化芸術活動を行う環境の整備について、関係会議等で情報提供していく。

・シンポジウムを開催し、部活動地域移行に関する理解を深める機会を創出する。また、都内の関係大学と連絡会を開催し、連携に係る情報交換を行う。

×

取組の成果

都スポーツ振興協議会、都文化行政ネットワーク会議、都芸術ネットワーク会議、都スポーツ主管課長会議、都生涯スポーツ担当者研修会、都スポーツ推進委員研修会、都地域スポーツクラブ設立支援協議会で情報提供等を行った。また、協定を結んでいる5大学及び（一社）大学スポーツ協会との情報交換を実施した。

令和6年9月22日に、「部活動の地域連携・地域移行シンポジウム」を開催した。シンポジウムの中では、東京都、区市町村、大学、総合型地域スポーツクラブの取組に関する発表のほか、外部有識者で開催するパネルディスカッション、個々の理解を深めるための分科会の開催などを行った。

バス等の運行実績

都においては、バス等の活用に関する取組は実施していない。

バス等の運航経費・収入

今後の課題と対応方針

今後も関係団体等と連携を密にし、こまめな情報提供・情報交換を行っていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

・各地区での実態に係る事例の情報収集を行うとともに、関係者向けアンケートの中で情報を収集し、区市町村へ情報提供していく。

■現在、参加している部活動の部費

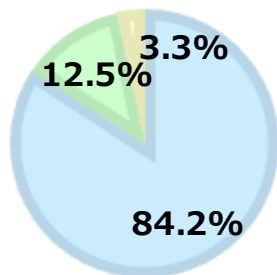
負担していない	1円～30,000円 (月1円～2,500円)	30,001円～60,000円 (月2,501円～5,000円)	60,001円以上 (月5,001円以上)
3,715	6,599	210	50
35.1 %	62.4 %	2.0 %	0.5 %

■現在、参加している部活動の部費以外の費用負担

ユニフォーム・練習着・シューズ	交通費	防具・楽器等の購入費	登録費・大会参加費	負担していない	他	施設使用料	宿泊費
7,096	7,036	3,449	2,539	1,867	644	477	249
67.1 %	66.5 %	32.6 %	24.0 %	17.7 %	6.1 %	4.5 %	2.4 %

■現在、参加している部活動の部費以外の費用負担の内容

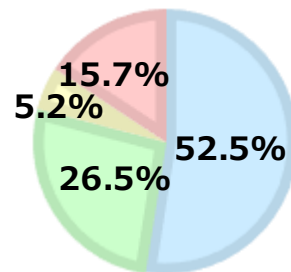
1円～30,000円 (月1円～2,500円)	30,001円～60,000円 (月2,501円～5,000円)	60,001円以上 (月5,001円以上)
7,332	1,091	284
84.2 %	12.5 %	3.3 %



- 1円～30,000円
(月1円～2,500円)
- 30,001円～60,000円
(月2,501円～5,000円)
- 60,001円以上
(月5,001円以上)

■地域移行した場合の費用負担

月3,000円～5,000円なら参加	月5,001円～10,000円なら参加	月10,001円以上でも参加	参加させない
6,049	3,057	603	1,809
52.5 %	26.5 %	5.2 %	15.7 %



- 月3,000円～5,000円なら参加
- 月5,001円～10,000円なら参加
- 月10,001円以上でも参加
- 参加させない

(出典)「未来へつなぐ 部活動改革 アンケート」集計結果より (令和6年8月 東京都教育庁指導部指導企画課部活動振興担当)

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

令和6年7月2日（火）から令和6年7月31日（水）まで、都内公立中学校、公立義務教育学校、公立中高一貫教育校622校の中学校第2学年の生徒及びその保護者、中学校第2学年相当学年の生徒及びその保護者、622校の教員を対象としてウェブフォームへ任意で回答するアンケートを実施し、約3万7千6百人から回答を得た。集計結果を管下の区市町村教育委員会へ提供するとともに、今後の資料として部活動検討委員会等で結果を分析した。

今後の課題と対応方針

アンケートで把握した保護者の考えを踏まえ、参加費用負担について、確認を進める。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

東京都として、本事業において直接執行している内容はないことから、基本的には本事業外における取組である、検討委員会・連絡協議会等の会議体を活用した連絡調整や、全区市町村へのヒアリング実施の中での状況確認・指導助言、一部地区に対する現地視察による状況確認及び情報交換、外部指導者向け研修動画の公開など情報発信といった一連の取組等を通じて、実際に事業を実施している地区及びその他地区への側面支援を行うことが対応の主となった。

今後においても引き続き、本事業のメインターゲットとなる区市町村を主体としながら、様々な取組を通じて、広域自治体としての役割を果たしていく。

●成果の評価

都としては、本事業のメインターゲットとなる、中学校部活動の地域移行の主体となる立場の区市町村が、本事業の実施においてより円滑に物事を進めることができるよう側面支援を中心に対応してきたところであり、本事業外ではあるものの、検討委員会・連絡協議会等の会議体を活用した連絡調整や、全区市町村へのヒアリング実施の中での状況確認・指導助言、一部地区に対する現地視察による状況確認及び情報交換、外部指導者向け研修動画の公開など情報発信などに努めてきた。その中で、地域によってばらつきはあるものの、実施に当たる課題も見えてきたところである。

●今後に向けて

中学校における部活動を対象としているため、主対象はどうしても区市町村立中学校（及びその設置者である区市町村）となる。そうなれば、区市町村を主な対象として今後も事業展開が図られることとなると考えられるため、都としては、今後も引き続き、現在行っている連絡調整や情報発信、助言等の側面支援に努め、本事業のメインターゲットとなる区市町村における円滑な事業実施に資する。

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

R 6

R 7

令和7年度末まで

R 8～

改革
推進
期間

都内全ての公立
中学校等で
地域や学校の実
態に応じ、
地域連携・地域
移行に向けた取
組が行われている
ことを目指すとも
に、休日に教員が
部活動の指導に
携わる必要がない
環境の構築を、
段階的かつ可能
な限り早期に実
現していく。

進捗状況を検証
し、
更に改革

※中学校の休日の活動から推進

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

東京都品川区

自治体名：東京都品川区

担当課名：品川区教育委員会事務局指導課

電話番号：03-5742-6832

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	22.85km ² (令和6年12月1日現在)
人口	412,856人 (令和6年12月1日現在)
公立中学校数	15校
公立児童・生徒数 (5～9年)	10,926人 (令和6年5月1日現在)
部活動数	196部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	設置済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

<現状>

品川区では、品川区立学校における部活動の地域連携・地域移行について、活動の主体である子どもたちの思いや考えを踏まえ、子どもたちの多様なニーズに応じた活動機会を創出していくため、生徒や地域部活動に参加した部員から意見集約を行った。

1 生徒の声

- ① 約6割の生徒が現在の部活動とは別に、部活動にはない興味がある活動ができた場合、参加したいと考えている。また、合同部活動や地域での活動機会を増やした場合、約75%の生徒が参加したいと考えている。

＜部活動や地域でのスポーツ・文化活動に関するアンケート 令和4年9月＞

- ② 生徒会代表へのアンケートにおいては、部活動の地域移行について、特に地域部活動では学校ではできない部活動があるので魅力があるという意見が多かった。一方で、不安な点としては、費用負担が現状の学校部活動より増えないようにしてほしいという意見が多かった。

＜生徒会アンケートについて 令和5年7月＞

- ③ 中学校および各義務教育学校の抽出校へのアンケートにおいては、地域部活動への取組について、95%以上の生徒が肯定的な回答であった。

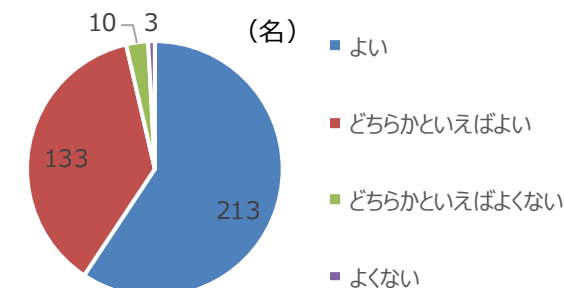
＜品川区立中学校、義務教育学校における学校部活動の地域連携・地域移行についてのアンケート 令和6年7月＞

<課題>

品川区の多くの子どもたちの希望である興味のあるスポーツに取り組める機会を地域に展開する。

また、参加費や保険料等の費用面でも保護者に過度な負担が発生しないようにする。

品川区では、現在地域部活動に取り組んでいますが、どう思いますか。

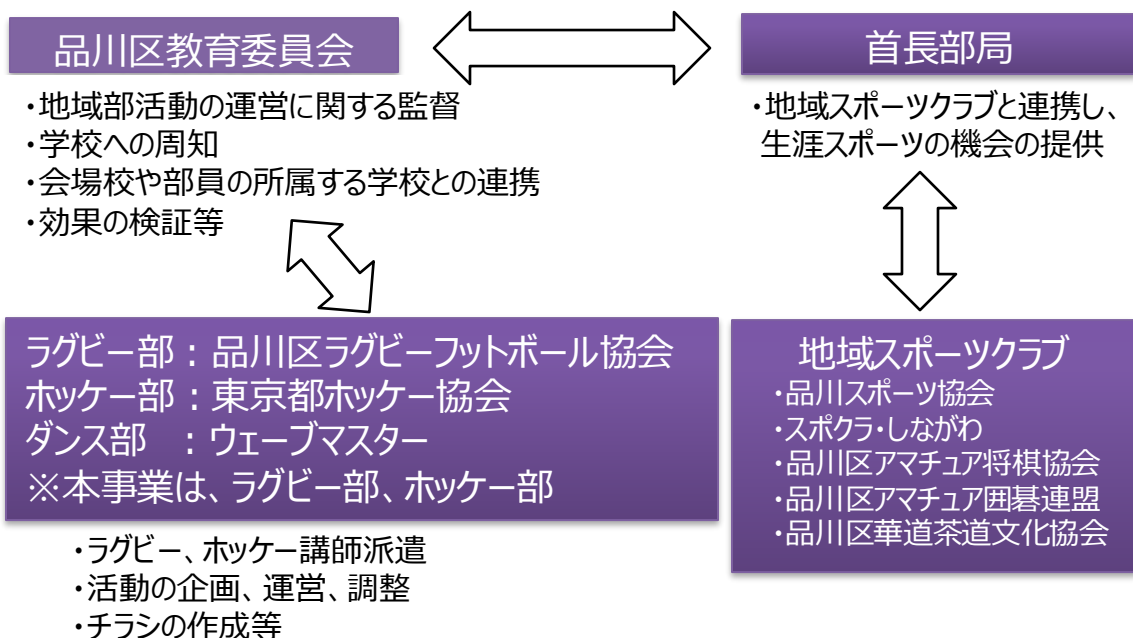


＜品川区立中学校、義務教育学校における学校部活動の地域連携・地域移行についてのアンケート 令和6年7月＞

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会（指導課）

- ・地域部活動の運営に関する監督
- ・学校への周知
- ・会場校や部員の所属する学校との連携
- ・効果の検証等

◎首長部局

- ・地域スポーツクラブと連携し、生涯スポーツの機会の提供

年間の事業スケジュール

令和6年	4月	協議会に向けた協議会に向けた準備 地域部活動関係者の顔合わせ 方針の確認・調整・準備
令和6年	5月	第1回協議会の開催
令和6年	9月	ラグビー部体験会の開催 ラグビー部事前アンケート実施 ラグビー部の活動の実施（～11月）
令和6年	10月	第2回協議会の開催 ホッケー部体験会の開催 ホッケー部事前アンケート実施
令和6年	11月	ホッケー部の活動の実施（～1月） ラグビー部事後アンケート実施
令和7年	1月	ホッケー部事後アンケート実施
令和7年	2月	第3回協議会の開催

※定期的に「しながわ地域TEAM ACT 通信」を発信

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	15 校	実施した地域クラブ総数	2 クラブ (ラグビー部、ホッケー部)
ケース別クラブ数	A : 部活動を地域移行した形のクラブ数 (及び移行された部活動数)		0 クラブ
	B : 部活動を移行する形態ではない地域クラブ (新たな種目のクラブを新規に創設するケース等)		2 クラブ
全体の指導者数	14 人	全体の運営スタッフ数	7 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者(学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数(他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
品川バッファロー	品川区ラグビーフットボール協会	ラグビー部	月8回程度	木曜日 16:00~18:00 日曜日 9:00~11:00	5年: 4名 6年: 2名 7年: 7名 8年: 3名 9年: 1名	活動期間 令和6年9月14 日から11月24 日まで 【全20回】	JR東日本東京総合車両センター 荏原平塚学園	8人	4人 (内、兼務3人)	0円	なし
しながわペンギンズ	東京都ホッケー協会	ホッケー部	月8回程度	水曜日 16:00~18:00 土・日曜日 9:00~11:00	5年: 7名 6年: 7名 7年: 2名 8年: 1名 9年: 0名	活動期間 令和6年12月5 日から令和7年2 月9日まで 【全16回】	大井ホッケー競技場	6人	3人 (内、兼務3人)	0円	なし

③その他、体験会やイベント等の開催実績

オンライン説明会

- 品川バッファロー 令和6年 7月25日(木)、9月 4日(水)
- しながわペンギンズ 令和6年10月11日(金)、11月28日(木)

体験会

- 品川バッファロー 令和6年 7月28日(日) ※8月31日(土)は、台風の影響で中止
- しながわペンギンズ 令和6年10月13日(日)、11月10日(日)、11月23日(日)

主な取組例

●しながわ地域TEAM ACT 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ラグビー
運営団体名	品川区ラグビーフットボール協会
期間と日数	体験会 7月28日 活動期間【全20回】 9月14日から11月24日まで
指導者の主な属性	・リオオリンピック7人制日本代表 (元15人制日本代表) ・SCJ (Sports Coaching Japan) 認定 コーチディベロパーLv1 ・JRFU A級コーチ ・JRFU B級コーチ ・JRFU C級コーチ ・JRFU スタートコーチ ・「走りの教室」公認インストラクター
活動場所	JR東日本東京総合車両センター 荏原平塚学園
主な移動手段	徒歩・電車・バス
1人あたりの参加会費等(年額)	0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)

品川区教育委員会

- ・地域部活動の運営に関する監督
- ・学校への周知
- ・会場校や部員の所属する学校との連携
- ・効果の検証等
- ・指導者への研修実施等

中学校(9校)
義務教育学校(後期課程6校)
7~9年生

小学校(31校)
義務教育学校(前期課程6校)
5・6年生



品川区ラグビーフットボール協会

- ・ラグビー講師派遣
- ・活動の企画、運営、調整
- ・チラシの作成等

●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

指導者については、統括指導者・指導者の2名以上を置く。

- 統括責任者(統括指導者) 1名
役割：運営面と指導現場、渉外を担当(区、学校、保護者の対応等)
- マネージャー(指導者) 1名
役割：運営事務を担当。(文書作成、提出等)
- ヘッドコーチ(指導者) 1名
役割：指導を担当(指導内容の方針、メニュー、人繰り等)
- チームマネージャー(指導者) 1名
役割：指導現場まわりの事務を担当。(スポーツ保険、部活日誌、出欠管理等)

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

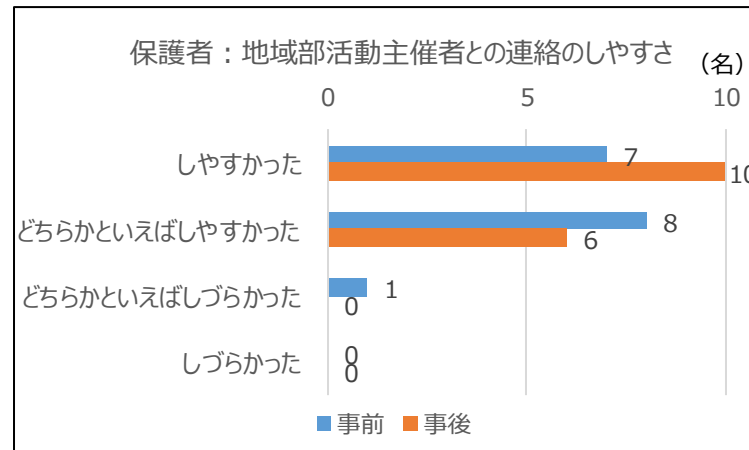
一般社団法人 品川ラグビーフットボール協会が主体となりラグビー部、一般社団法人 東京都ホッケー協会が主体となりホッケー部、の運営を行う。

- 指導者の研修方法の確立
- 生徒等・保護者との連絡方法の確立
- 学校と地域部活動との連携
- 緊急時の対応の確立

本事業の取組を教育委員会が首長部局と連携し、本事業が円滑に実施できるようにする。

取組の成果

- 地域部活動の活動の際は、教育委員会が現地に行き、監督し、運営主体に対して、指導・助言を行い、部員の安心・安全を確保しつつ、活動の更なる充実につながった。
- 事業者と部員の家庭間で連絡できるツールを使っており、十分に有効な活用ができた。
- 部員が記載した練習日誌を運営主体が教育委員会を通して、部員所属の学校に情報提供することで、学校と地域部活動の連携が図られた。
- 平常時の連絡体制、緊急時の連絡体制および活動中の怪我・事故等の対応マニュアルを作成した。



<ホッケー部：事後アンケート 令和7年2月>

ラグビー部：練習日誌

MENU	きょうのキーワード
① 走ってはいけないサバイバルGAME	「 たのしもう 」
② ウォームアップ・走りの教室レッスン	なんでもメモ 例) 思ったこと/キーワードの書きまくったこと/いかなかったこと
③ Ivtトライゲーム	久しぶりのラグビー。とっても楽しかった！
④ 走ってOKのサバイバルゲーム	自分よりも足速い人を1対1で止められなくて悔しかった。でも、あんまりバスマルキはよく頑張ったです。
⑤	

スタッフより…：コメントはメールでも送ります。空欄にスタッフがここに張り付けて添えます。確かめ！最初のほう時間帯は草の上で走りやすい感じがありましたね？でも…！GRIDで1対1が難しかったみたい。あんまり早くも疲れてしまったよ！DFさ前に詰めよチェンジは周りの人のコートになりかけた、ありがと。前に出れば抜かれることもある。(それでもOK!)抜かれるのはOK、相手の方向を限定できれば、次の味方DFが止めてくれます。(進め)

今後の課題と対応方針

地域部活動の運営体制の更なる強化を図るため、年度当初の地域部活動関係者の顔合わせの段階で、方針の確認・調整・準備等を確実にを行い、計画的に実施できるようにする。定期的に運営等に振り返り、必要に応じて打合せを行っていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

一般社団法人 品川ラグビーフットボール協会および一般社団法人 東京都ホッケー協会より、指導者を派遣する。ラグビー部およびホッケー部、それぞれ毎回の練習に2名以上の指導者を配置する。指導者の確保、質の高い指導を行うとともに専門的な観点から安全に配慮した活動を行う。

指導者の属性

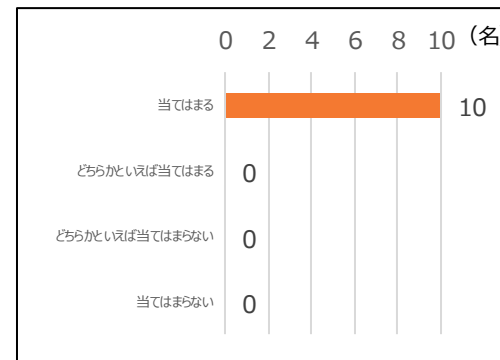
- <品川区ラグビーフットボール協会> 8名
- ・リオオリンピック7人制日本代表（元15人制日本代表）
 - ・SCJ（Sports Coaching Japan）認定コーチディベロパーLv1
 - ・JRFU A級コーチ ・ JRFU B級コーチ ・ JRFU C級コーチ ・ JRFU スタートコーチ
 - ・走りの教室」公認インストラクター
- <東京都ホッケー協会> 6名
- ・元日本代表 ・日本ホッケー協会アスリート委員会委員長
 - ・ジュニアチーム（2020HCフリークス東京U15）ヘッドコーチ
 - ・D級審判 ・C級審判 ・ジャッジ競技役員 ・スポーツリズムディフューザー

取組の成果

- 参加した部員を対象としたアンケートの結果、回答者の100%が指導者から専門的な指導や安全に配慮した指導を受けることができた と回答した。
- 事前に指導者対象の研修を受講するように依頼したことに加え、教育委員会指導主事によるいじめ防止研修を実施した。
- 事前にオンライン説明会で、各部活動の指導者の方針を、各部活動の参加部員ならびに保護者に伝え、共通理解を図った。
 今後も、引き続き各協会に委託することで、質の高い指導を行うとともに専門的な観点から安全に配慮した活動を行う。

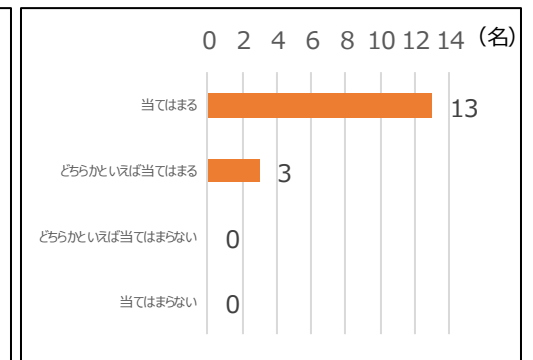
指導者から専門的な指導や安全に配慮した指導を受けることができましたか。

【ラグビー部：児童・生徒】



<事後アンケート 令和6年11月>

【ホッケー部：児童・生徒】



<事後アンケート 令和7年2月>

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

教育委員会（指導課）が首長部局（スポーツ推進課）と連携して進める。指導課で協議会を設置し、年3回程度の協議の場を活用しながら、事業の進捗状況の把握および効果検証等を実施する。

今後の課題と対応方針

今後も継続して協議会を実施し、首長部局、地域のスポーツ団体との連携・協働を図りながら、地域人材の発掘、活用等につなげていく。

取組の成果

協議会において、地域部活動の運営や指導の内容について協議し、保護者、地域、学校、関係団体等、様々な立場からの意見により、内容の充実につなげることができた。協議会において、地域部活動の成果と課題を共有し、委員を通して、地域部活動の運営主体以外の地域クラブ活動の運営主体等にも周知することができた。

第1回協議会 令和6年5月21日（火）

- 1 委員委嘱
- 2 委員紹介
- 3 事務局紹介
- 4 委員長挨拶
- 5 趣旨説明
- 6 報告
 - 令和5年度末 ダンス部の最終活動報告
 - 令和5年度 地域部活動にかかる活動報告
- 7 協議
 - 令和6年度の取組
 - 品川区立中学校、義務教育学校における部活動児童・生徒へのヒアリング内容について

第2回協議会 令和6年5月21日（火）

- 1 委員長挨拶
- 2 報告
 - (1) しながわ地域TEAM ACT（地域部活動）
 - ダンス部 活動報告
 - ラグビー部、ホッケー部 活動予定、途中経過報告
 - (2) 業務委託（リーフラス）学校部活動
 - 配置、活動状況
 - 業務委託に関する部活動児童・生徒へのヒアリングおよびアンケート結果
 - (3) 学校部活動 アシスタントコーディネーター
 - 配置状況、情報交換会
- 3 協議
令和7年度の取組に向けて

第3回協議会 令和7年2月27日（木）

- 1 委員長挨拶
- 2 報告
 - (1) 業務委託（リーフラス）学校部活動
 - 学校部活動の業務委託に関するアンケート結果
 - (2) しながわ地域TEAM ACT（地域部活動）
 - ラグビー部 活動報告
 - ホッケー部 活動報告
- 3 協議
令和7年度の取組に向けて
 - 品川区における部活動の地域移行に向けたロードマップ[令和7年度]
 - しながわ地域 TEAM ACT（地域部活動）アート部の設立に向けて

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

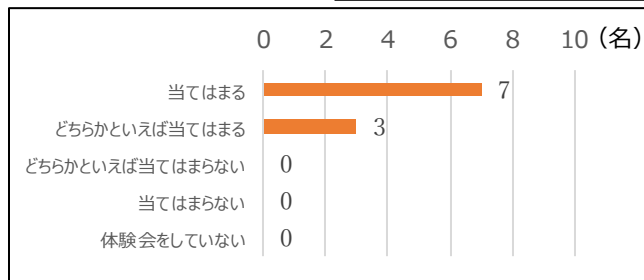
取組事項

- 活動拠点を設置し、区内の全小学校31校、中学校9校、全義務教育学校6校の計46校から参加児童（5年生・6年生）・生徒（7年生から9年生）を募集した。
 - <ラグビー部> JR東日本東京総合車両センター（区内にある企業のラグビー場）
 - <ホッケー部> 大井ホッケー競技場（東京2020オリンピック競技大会の開催会場）
- オンライン説明会の実施（ラグビー部：2回、ホッケー部：2回）
- 入部前の体験会の実施（ラグビー部：2回 ※うち1回は、台風の影響で中止、ホッケー部：3回）

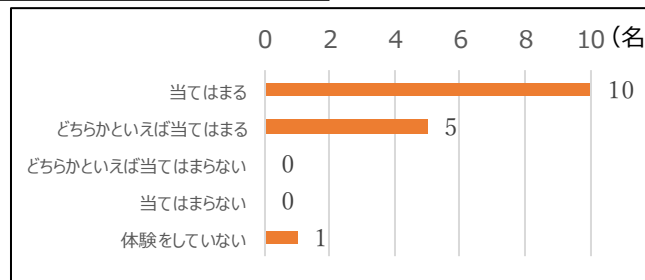
取組の成果

- 対象学年における全学年からの申込みがあり、様々な年齢における運動機会の創出につながった。
- 複数の学校（17校）からの入部があり、幅広い地域を網羅する活動となった。
- 当該スポーツの経験者のみならず、未経験者も参加し、幅広いニーズに対応することができた。
- オンラインによる説明会を複数回設定することで、活動内容等の周知や疑問の解消となり、活動第1回を円滑にスタートすることができた。
- 入部前の体験会を複数回設定することにより、当該スポーツに対する興味・関心の向上、当該スポーツに対する未経験者や指導者の様子等、地域部活動に対する不安解消し、さらに多くの児童・生徒の活動の場の創出につなげることができた。

児童・生徒：体験の機会があったが、よかったですか。



<ラグビー部：事後アンケート 令和6年11月>



<ホッケー部：事後アンケート 令和7年2月>

今後の課題と対応方針

活動拠点を競技に応じた専門の会場で行うことができたが、平日の授業終了後における活動の参加人数が少なかった。平日における交通利便性を考え、環境の整った活動場所の検討をしていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

一般社団法人品川ラグビーフットボール協会および一般社団法人東京都ホッケー協会それぞれから指導者を派遣することで、専門的な指導を受けられるようにする。

児童・生徒・保護者・地域が期待している、学校部活動で実現していた参加児童・生徒の自主的な取組態度を引き出し、伸長させることができる指導の実現を図るため、事前に教育委員会との打合せを行い、活動実施後に教育委員会指導主事より活動についてフィードバックし、質を高めていく。

活動の詳細			
参加人数	ラグビー部 17人 ホッケー部 17人	指導者数	ラグビー部 8人 ホッケー部 6人
具体的な内容例	<p><ラグビー部></p> <ol style="list-style-type: none"> 挨拶（体調確認） 本日のテーマの説明 パス回し、ラン、トライ、1対1、3対1、3対2 等 ゲーム 振り返り 挨拶（体調確認） 	<p><ホッケー部></p> <ol style="list-style-type: none"> 挨拶（体調確認） 本日の流れの説明 ボールコントロール、リフティング、パス、ドリブル、シュート、1対1、3対3 等 ゲーム 振り返り 挨拶（体調確認） 	
子供・保護者の声	<ul style="list-style-type: none"> ● ラグビーが好きになりました。 ● 今年も昨年に続いて部活動をやってくれてありがとうございました。来年度も参加したいと思うので、楽しみです！ ● 優しく指導していただいたことで、毎回の練習を楽しみにしていました。新しい世界や可能性が広がり、より良い人生の一步となったことと思います。 ● 自分で考えるプレイもできるようになりラグビーを通して成長できる場を与えていただきました。 ● コーチの指導も大変素晴らしく子どもが非常にやり甲斐を持って取り組んでいた。 ● 元日本代表選手のコーチや多くの経験者の方々がコーチして下さった環境は子供たちにとって貴重な経験となって、ホッケーの楽しさを学べる良い機会になったと思います。 		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> ● 一方的な支持ではなく、児童・生徒が自ら考え、行動できるような言葉掛けを行った。 ● 専門性の高い指導者を複数いるため、技能差等に応じた対応をすることができていた。 ● 指導者が部員一人一人の練習日誌に毎回コメントを入れることで、部員の活動意欲の持続につながった。 		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

児童・生徒の変容について、以下のようなことが挙げられる。

<ラグビー部>

- ・回を重ねるごとに、個々の技能が伸びてきている。
- ・準備が終わった部員から、自然とパスやキックの練習をする姿が見られた。
- ・ラグビーの動きに慣れ、積極的にボールを前に運ぼうとしていた。
- ・部員同士のコミュニケーションが増え、自発的に戦術面の会話をしていた。
- ・ミニゲームでは、練習の成果を発揮し、終了後は満足そうな表情が見られた。

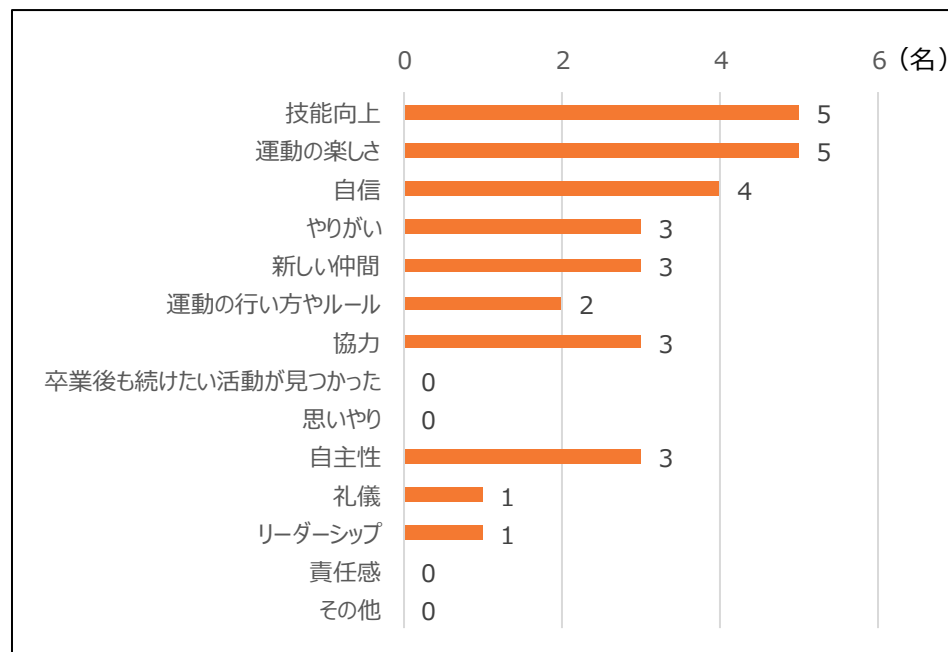
<ホッケー部>

- ・コーチの具体的な指示により、上手にできたことで達成感をもっていた。
- ・ゲーム中の作戦タイムでは、意欲的に発言する姿が見られた。
- ・ゲームを中心とした練習の中でルールや動きなどを少しずつ覚えてきた。
- ・チームメイトの動きをみて、どこにボールを回すかがわかりやすくなる声掛けを、ゲームを通して練習した。
- ・未経験者だった部員もゲームにしっかりと参加し、活躍できるようになってきた。

事後アンケートでは、ラグビー部、ホッケー部とも地域部活動を通して、得られたことに「運動の楽しさ」や「技能の向上」と回答した。

地域部活動を通して、どのようなことを得られましたか。

【児童・生徒】



<ラグビー部：事後アンケート 令和6年11月>

今後の課題と対応方針

引き続き、参加児童・生徒の自主的な取組態度を引き出し、伸ばさせることができる指導の実現を図っていく。そのために、指導者と事前に教育委員会との打合せを行い、事後アンケート等児童・生徒ニーズに沿った見通しをもった活動計画の立案を行っていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

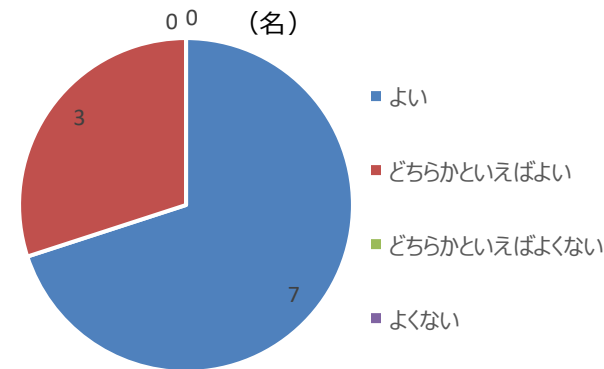
取組事項

- ラグビー部は、活動拠点（JR東日本東京総合車両センター）に加え、区立学校の校庭・アリーナを活用する。
- 学校施設の効果的な活用や管理方法に関する取組として、学校の施設・設備・備品等を使用して、地域スポーツクラブ活動を実施する際の利用ルールを明確にする。

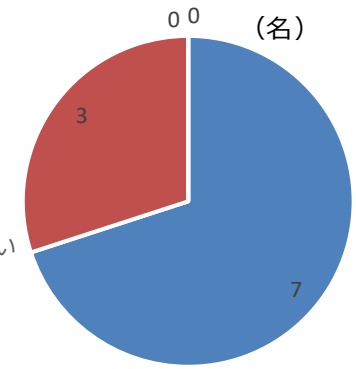
取組の成果

- 学校の施設・設備・備品等を使用して、地域スポーツクラブ活動を実施する際の利用指定管理者制度や業務委託等による運営を行った。
- 学校と教育委員会で部活動と実証事業の活動が競合しないよう、事業の趣旨の理解を図り、利用することができた。
- トイレ、AED等が完備されており、児童・生徒は、安心・安全に活動を実施することができた。また、熱中症対策として、アリーナを借り、活動に臨むことができた。
- 保護者への事後アンケートでは、活動場所や広さについて、児童・生徒、保護者ともに肯定的な回答が100%であった。

【児童・生徒】
活動場所は動きやすい広さでしたか。



【保護者】
活動場所はよかったですか。



<ラグビー部：事後アンケート 令和6年11月>

今後の課題と対応方針

- 各協会が余裕をもって会場確保を検討して進めることで、地域部活動の持続の可能性を高めていく。
- 平日の活動について、部員のニーズを踏まえながら、部員が安心・安全に会場と自宅を移動できるよう、活動場所について、拠点となる活動場所を設定する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組

取組事項

- 他の地域スポーツ団体（地域スポーツ団体・公立学校以外の学校部活動）との交流の実施
- ラグビー部とホッケー部の連携協力 ○ラグビー部およびホッケー部の体験会の実施 ○ラグビー部におけるオンラインでの活動の開催

取組の成果

- 他の地域スポーツ団体
交流試合を予定していたが、先方の都合で中止となった。
 - ラグビー部とホッケー部の連携
ラグビー部の活動時にホッケー部の指導者が参加し、ホッケーの実演および説明を行い、連携協力を図った。
 - ラグビー部およびホッケー部の体験会の実施
ラグビー部は2回（1回は台風のため中止）、ホッケー部は3回を実施し、合計22名が参加した。
- <児童・生徒>
- ・活動の雰囲気は活気があり、お互いに肯定的な声を掛け合い良好であった。
- <保護者>
- ・経験者と初心者に分けて、体験メニューを実施し、ゲーム要素を取り入れた練習も行った。

○ラグビー部におけるオンラインでの活動の開催

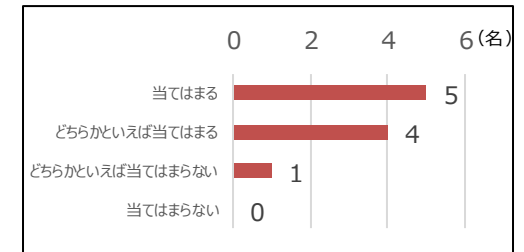
オンライン活動の主な内容

- ・ラグビーがどんなスポーツかの説明
- ・ルールの確認
- ・トレーニングの仕方を学ぶ
- ・体幹ストレッチ 等

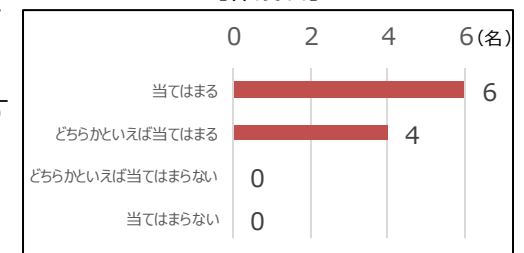
ラグビー発祥の歴史や発祥当初から現在に至るまでのルールの変容などの紹介等、パワーポイントのアニメーション等を活用し、分かりやすく伝える工夫をした。

オンラインでの活動は、よかったですか。

【児童・生徒】



【保護者】



<ラグビー部：事後アンケート 令和6年11月>

今後の課題と対応方針

令和6年度行うことのできなかった他の地域スポーツ団体との交流を実施するため、活動に見通しをもって計画に進めていく。

2.実証内容と成果①

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

改革推進期間 2 年目として、令和 6 年度も品川区立学校における部活動の地域連携・地域移行について、活動の主体である子どもたちの思いや考えを踏まえ、子どもたちの多様なニーズに応じた活動機会を創出していくため、生徒や地域部活動に参加した部員から意見の集約を行い、活動を進めた。

また、引き続き、品川区ラグビーフットボール協会および東京都ホッケー協会と連携し、同会より指導者を派遣することにより、質の高い指導を行うとともに専門的な観点から安全に配慮した活動を行うことができた。

令和 6 年度は新たに以下の取組を行った。

- ・地域部活動の総称を「しながわ地域TEAM ACT」とし、各部活動の名称は、児童・生徒からチーム名を募集・投票を行い、チーム名を決定
- ・入部前の体験会の実施 ・活動拠点の設置
- ・オンライン活動の設定（ラグビー部）
- ・ホッケー部の活動回数の増加 ・連絡手段の構築

●今後に向けて

地域部活動への参加者をさらに増やし、持続可能な活動の構築を目指していくため、今後も検討を重ねていく。

●成果の評価

(1) 達成目標

参加生徒等の自発的な取組態度に関連する項目において、肯定的な回答等 9 割以上

(2) 達成状況の検証

ア 地域部活動への参加

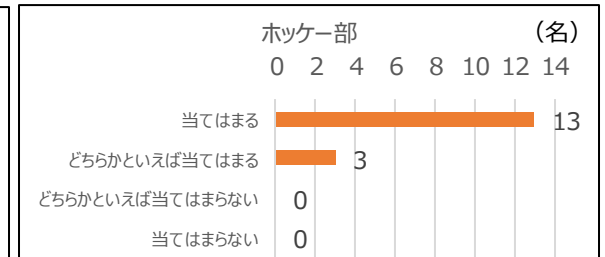
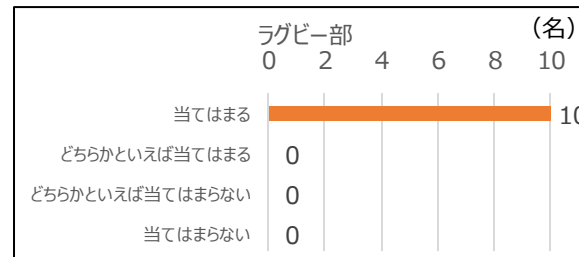
本取組への参加生徒等の申込み人数の実績

- ・ホッケー部 定員50名 申込み人数：17名
- ・ラグビー部 定員50名 申込み人数：17名

イ 適任指導者の確保

各地域部活動の活動終了後のアンケートにおいて、参加生徒等からの指導者に関する質問項目において肯定的な回答 9 割以上

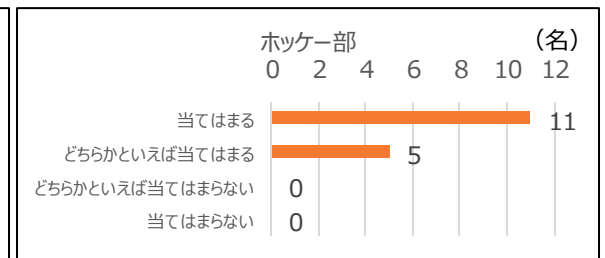
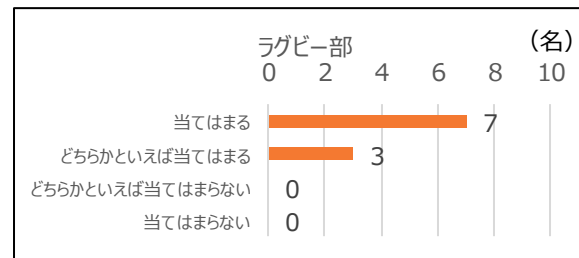
児童・生徒：指導者から専門的な指導や安全に配慮した指導を受けることができましたか。



ウ 生涯スポーツへの意識

各地域部活動の活動終了後のアンケートにおいて、参加生徒等の生涯スポーツに関する質問項目において肯定的な回答 9 割以上

児童・生徒：今後、地域部活動の機会があれば、活動をしたいですか。



<ラグビー部：事後アンケート 令和 6 年 1 1 月>

<ホッケー部：事後アンケート 令和 7 年 2 月>

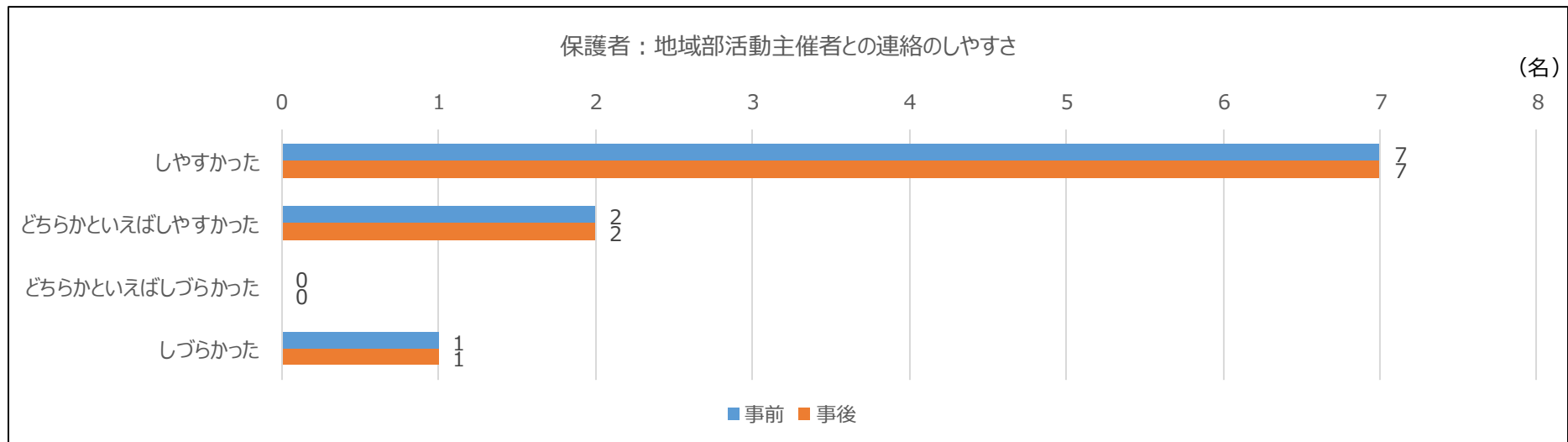
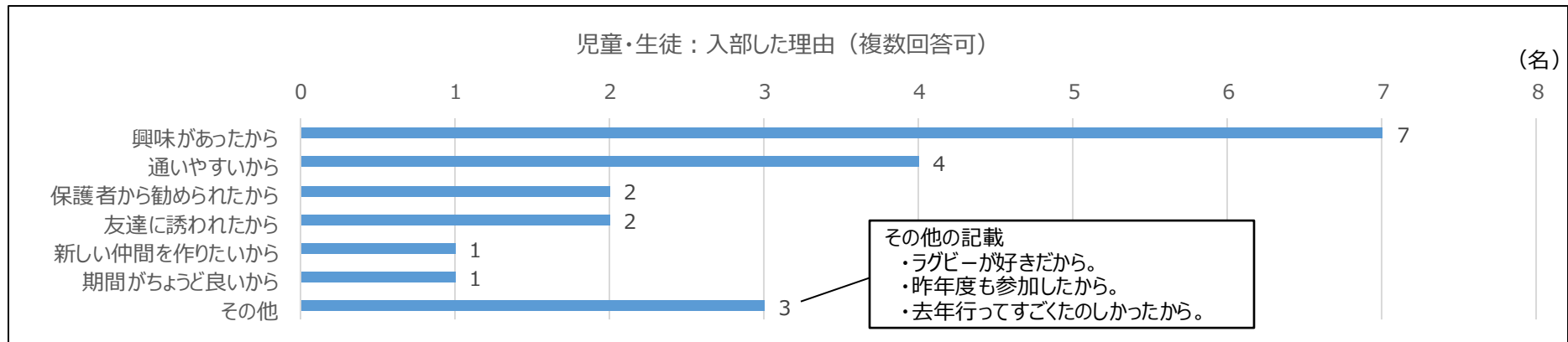
2.実証内容と成果②

しながわ地域TEAM ACT (ラグビー部) アンケート結果

児童・生徒アンケート：10名 保護者アンケート：10名 ※アンケートについては、参加者のうち、入部者およびその保護者を対象に実施

事前アンケート：令和6年9月 依頼 事後アンケート：令和6年11月 依頼

<活動について>



2.実証内容と成果②

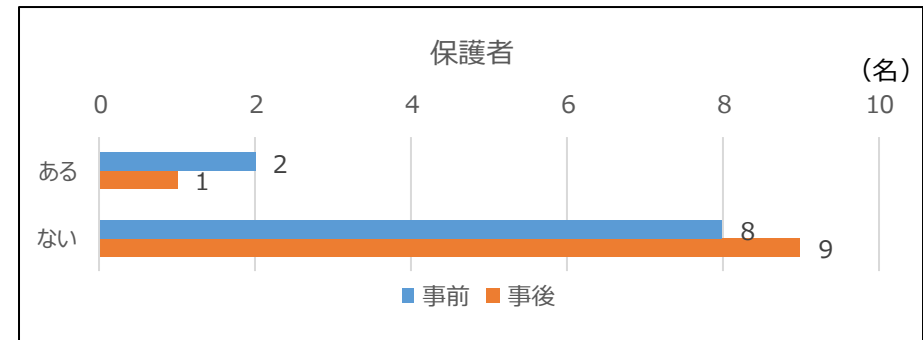
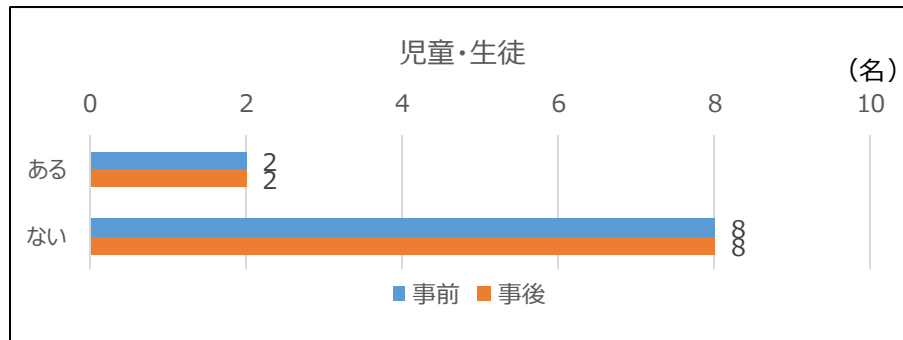
しながわ地域TEAM ACT (ラグビー部) アンケート結果

児童・生徒アンケート：10名 保護者アンケート：10名 ※アンケートについては、参加者のうち、入部者およびその保護者を対象に実施

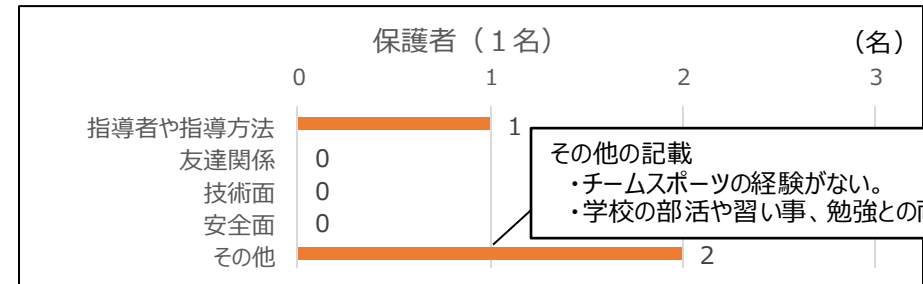
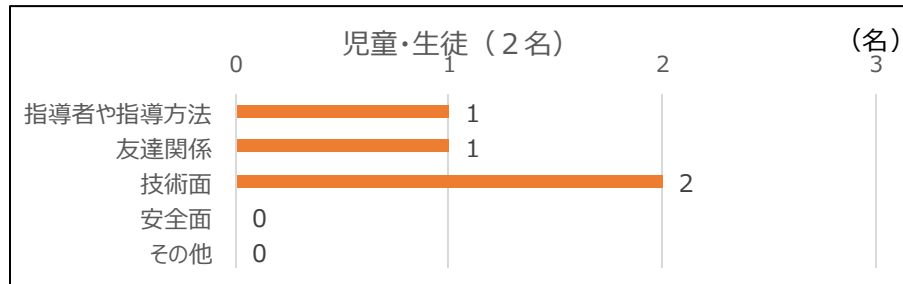
事前アンケート：令和6年9月 依頼 事後アンケート：令和6年11月 依頼

児童・生徒：活動にあたり不安なこと（事前）、活動をしてみて、不安だったこと（事後）

保護者：活動させるに当たり、不安なこと（事前）、活動をさせてみて、不安だったこと（事後）

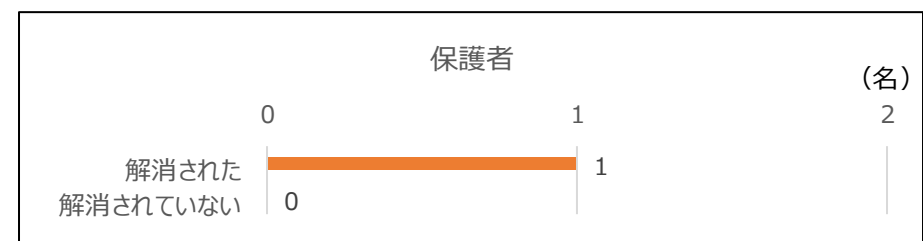
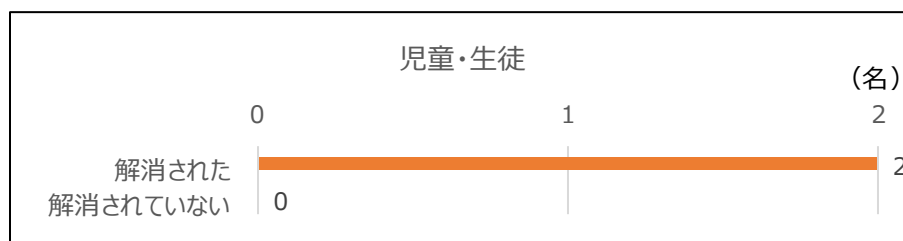


不安だったこと（不安だったことがあると回答した児童・生徒、保護者のみ回答）（複数回答可）



その他の記載
 ・チームスポーツの経験がない。
 ・学校の部活や習い事、勉強との両立。

不安は解消されたか（不安だったことがあると回答した児童・生徒、保護者のみ回答）



2.実証内容と成果②

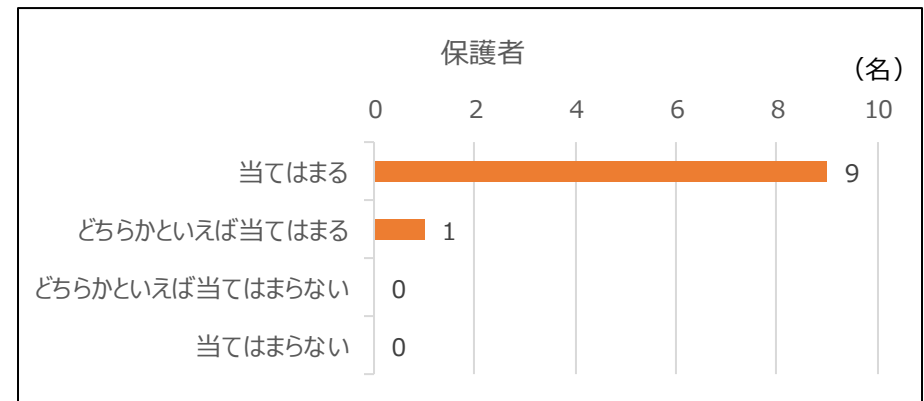
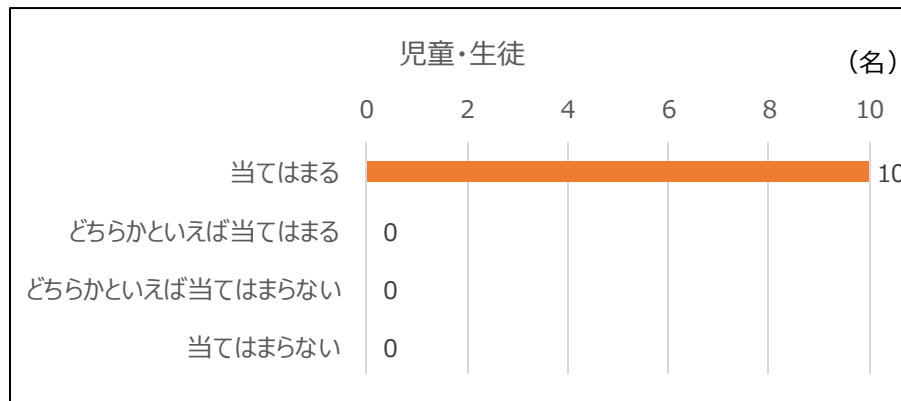
しながわ地域TEAM ACT (ラグビー部) アンケート結果

児童・生徒アンケート：10名 保護者アンケート：10名 ※アンケートについては、参加者のうち、入部者およびその保護者を対象に実施

事前アンケート：令和6年9月 依頼 事後アンケート：令和6年11月 依頼

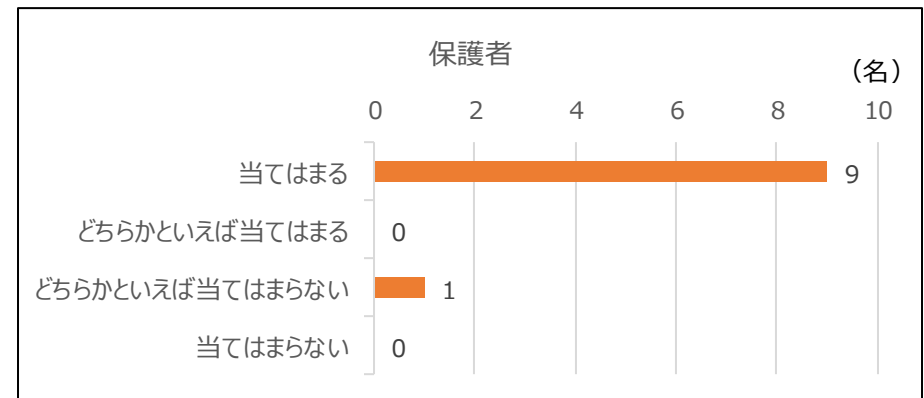
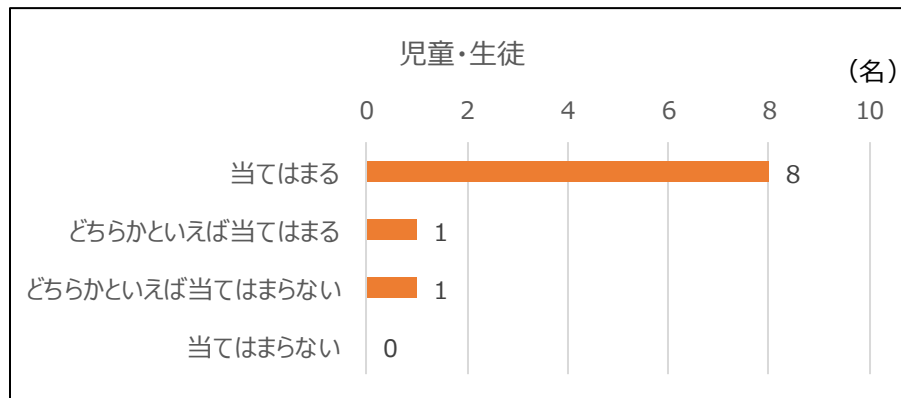
児童・生徒：指導者から専門的な指導や安全に配慮した指導を受けることができましたか。

保護者：お子様は指導者から専門的な指導や安全に配慮した指導を受けることができましたか。



児童・生徒：品川ならではの活動への参加を通して、品川が好きになりましたか。

保護者：お子様は品川ならではの活動への参加を通して、品川が好きになりましたか。



2.実証内容と成果②

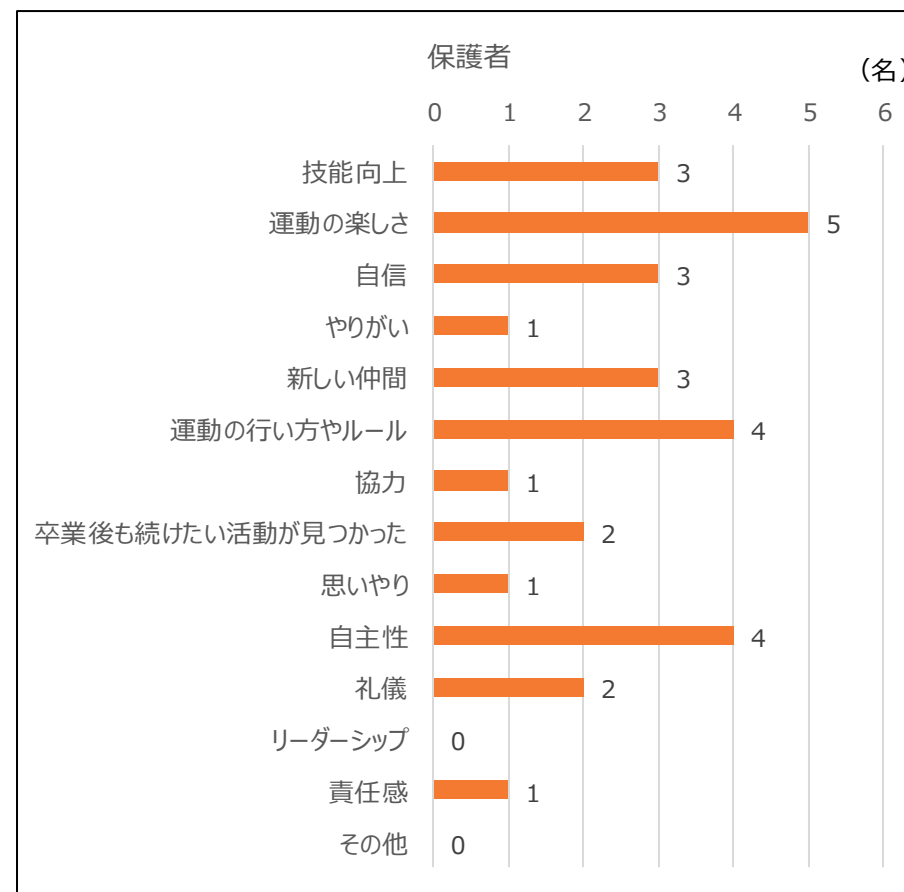
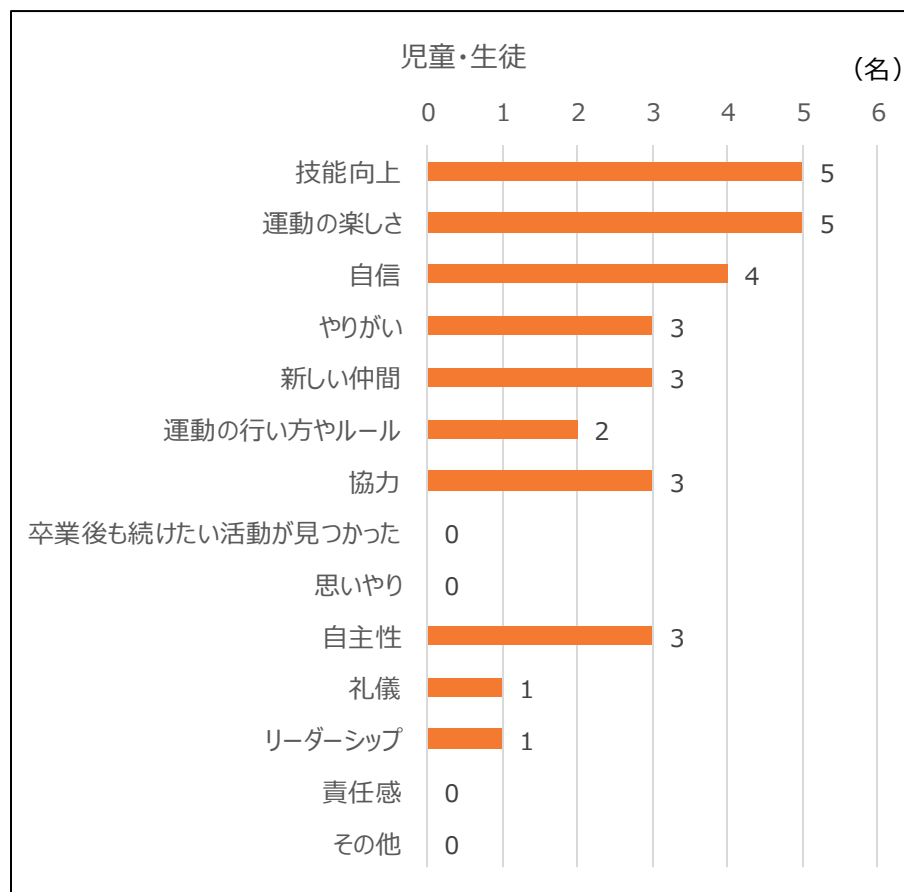
しながわ地域TEAM ACT (ラグビー部) アンケート結果

児童・生徒アンケート：10名 保護者アンケート：10名 ※アンケートについては、参加者のうち、入部者およびその保護者を対象に実施

事前アンケート：令和6年9月 依頼 事後アンケート：令和6年11月 依頼

児童・生徒：地域部活動を通して、どのようなことを得られましたか。（5つまで）

保護者：お子様は、地域部活動を通して、どのようなことを得られましたか。（5つまで）



2.実証内容と成果②

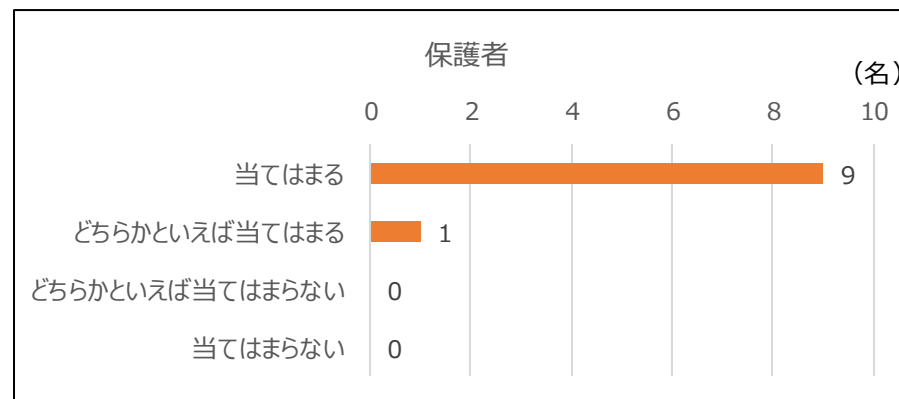
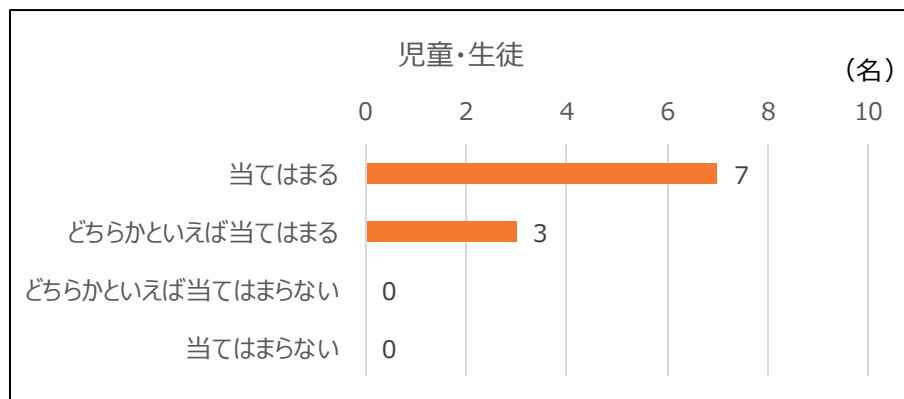
しながわ地域TEAM ACT (ラグビー部) アンケート結果

児童・生徒アンケート：10名 保護者アンケート：10名 ※アンケートについては、参加者のうち、入部者およびその保護者を対象に実施

事前アンケート：令和6年9月 依頼 事後アンケート：令和6年11月 依頼

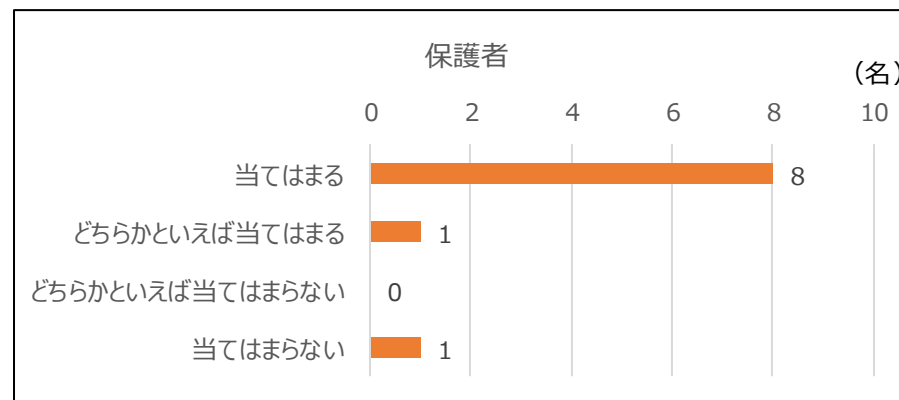
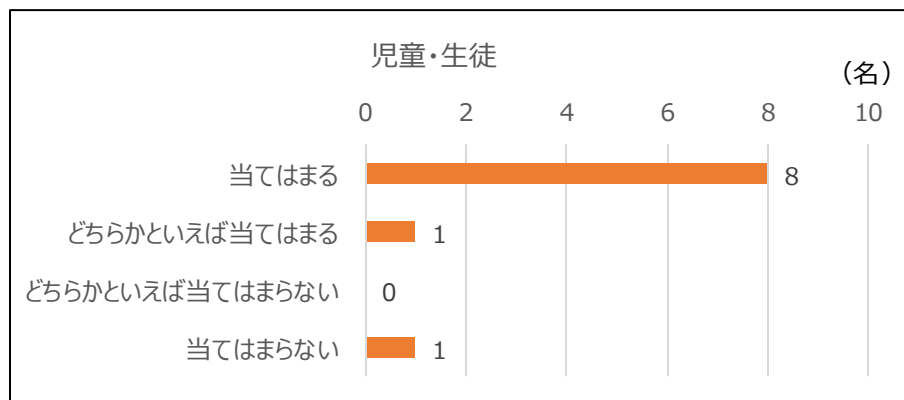
児童・生徒：今後、地域部活動の機会があれば、活動をしたいですか。

保護者：今後、地域部活動の機会があれば、お子様に活動をさせたいですか。



<運営について>

昨年度よりも活動回数（16回から20回）が増えたが、よかったですか。



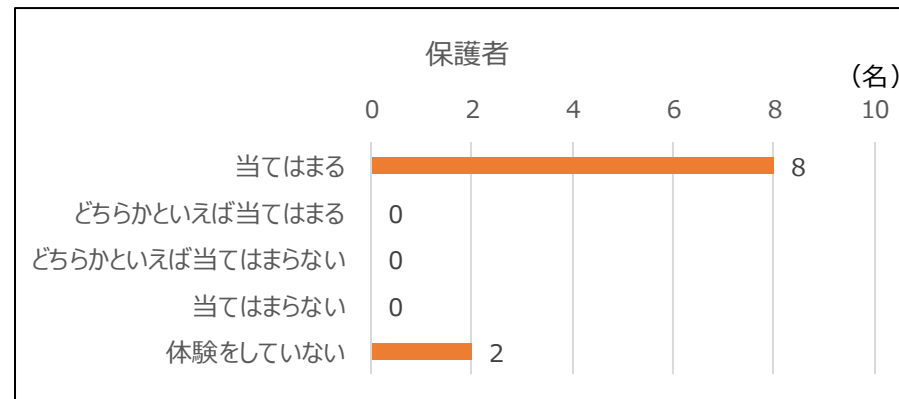
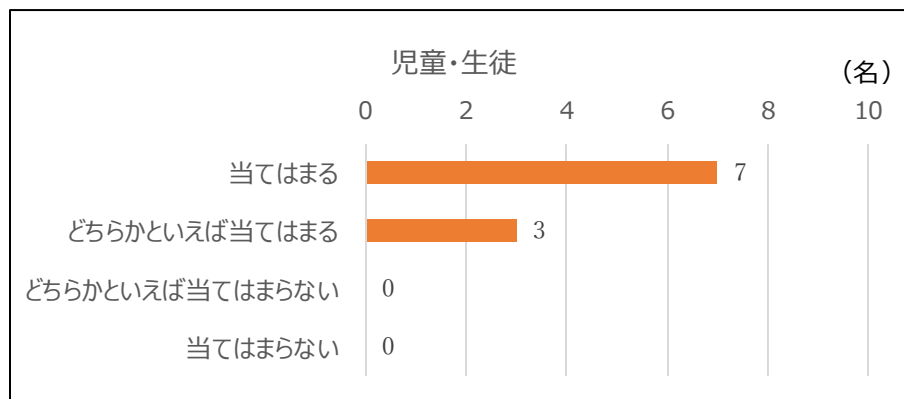
2.実証内容と成果②

しながわ地域TEAM ACT (ラグビー部) アンケート結果

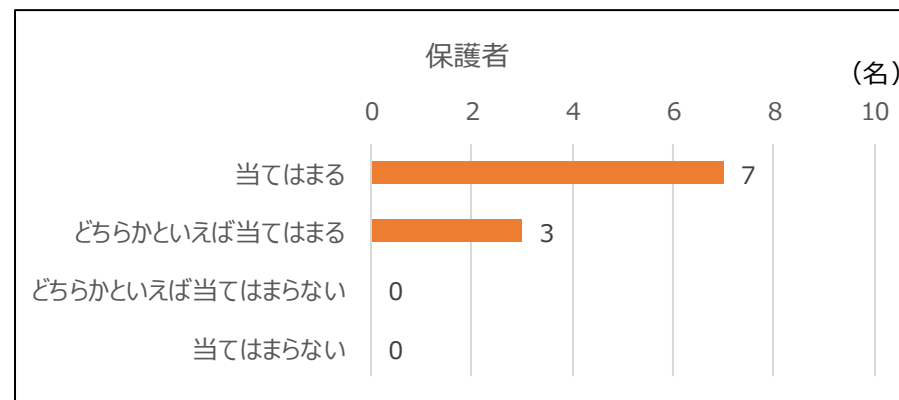
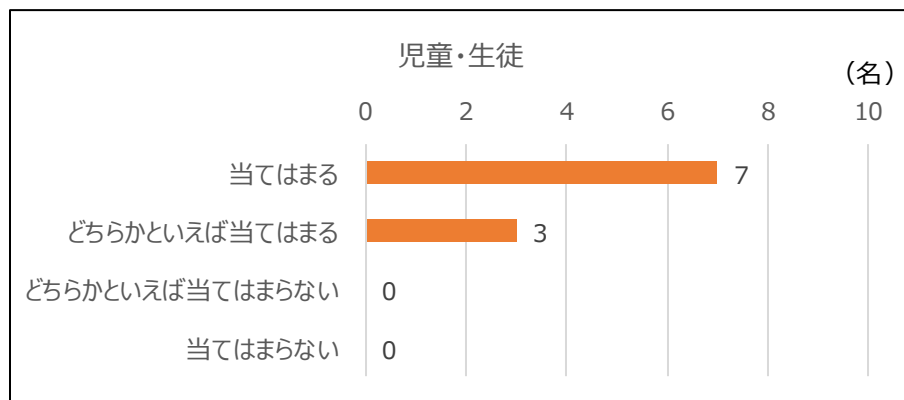
児童・生徒アンケート：10名 保護者アンケート：10名 ※アンケートについては、参加者のうち、入部者およびその保護者を対象に実施

事前アンケート：令和6年9月 依頼 事後アンケート：令和6年11月 依頼

体験の機会があったが、よかったですか。



活動場所 (JR東日本東京総合車両センター・荏原平塚学園) はよかったですか。



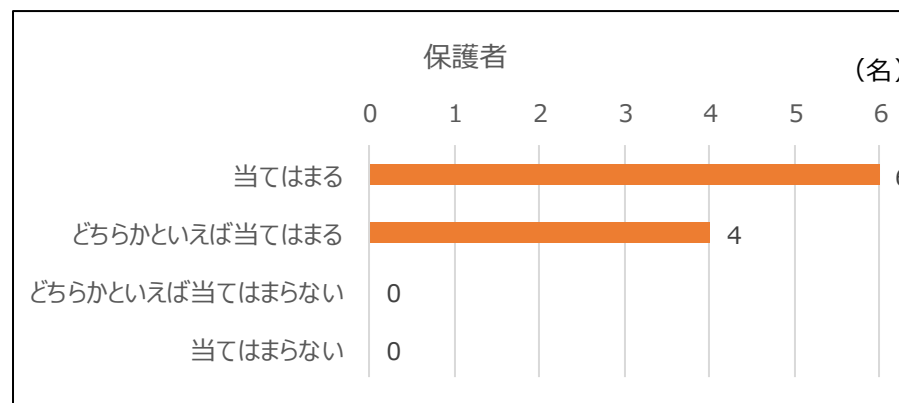
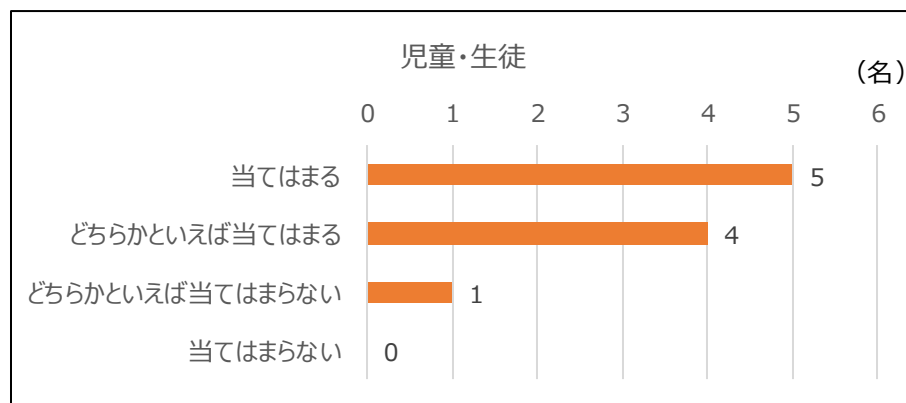
2.実証内容と成果②

しながわ地域TEAM ACT (ラグビー部) アンケート結果

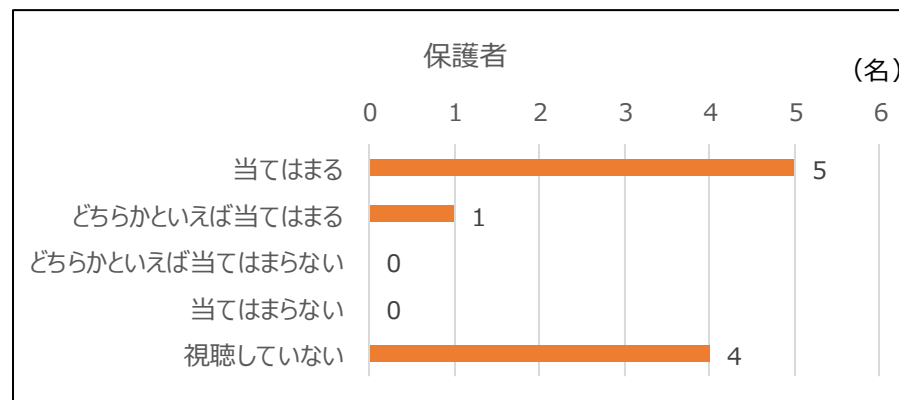
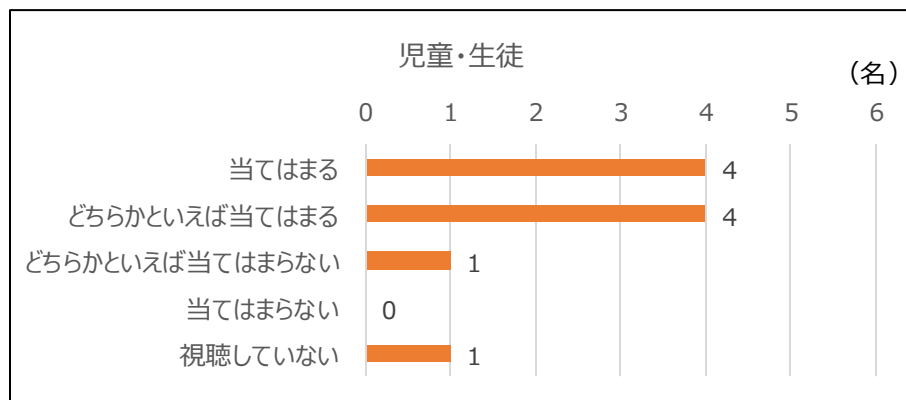
児童・生徒アンケート：10名 保護者アンケート：10名 ※アンケートについては、参加者のうち、入部者およびその保護者を対象に実施

事前アンケート：令和6年9月 依頼 事後アンケート：令和6年11月 依頼

オンラインでの活動は、よかったですか。



オンライン説明会の録画内容を視聴できるようになったのはよかったですか。



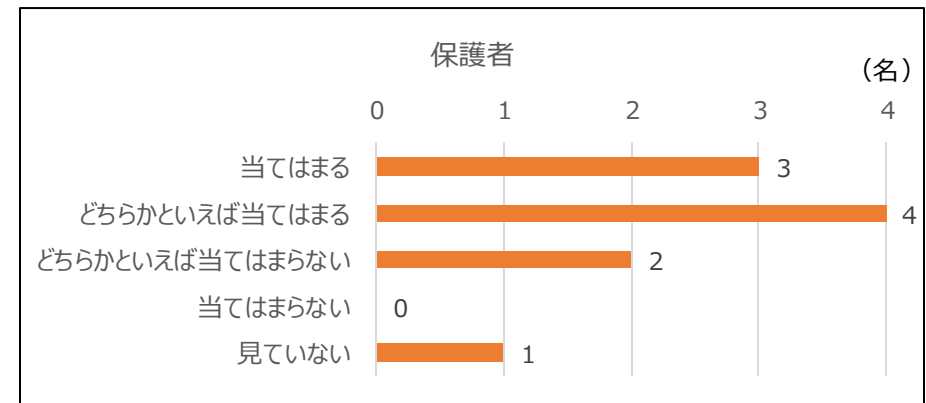
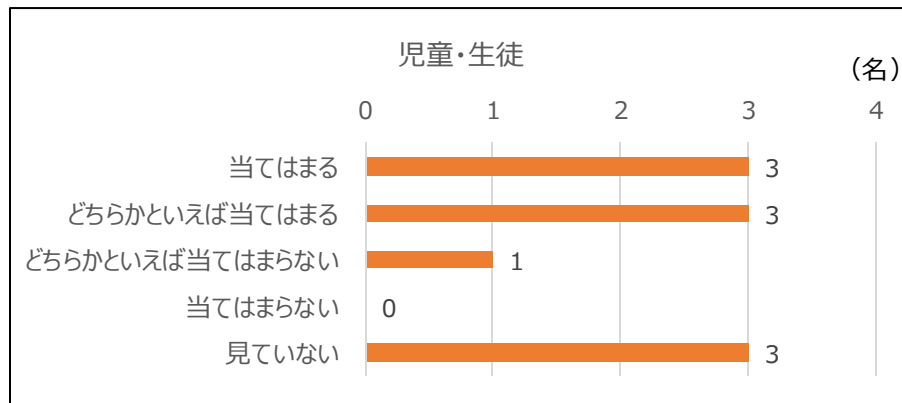
2.実証内容と成果②

しながわ地域TEAM ACT (ラグビー部) アンケート結果

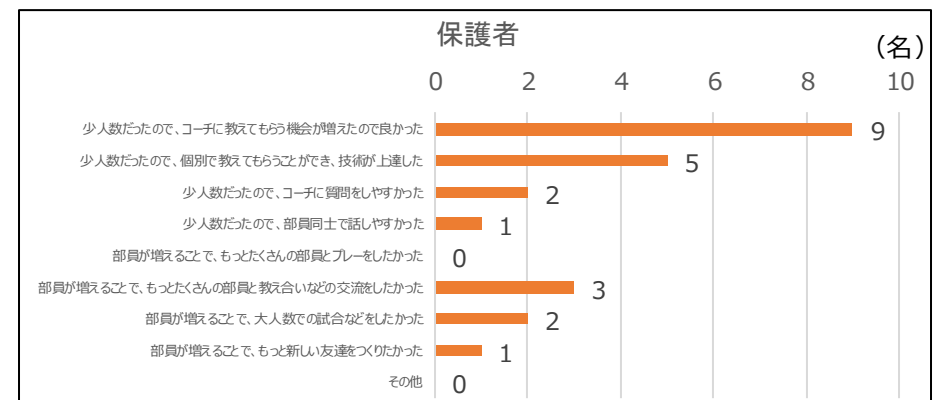
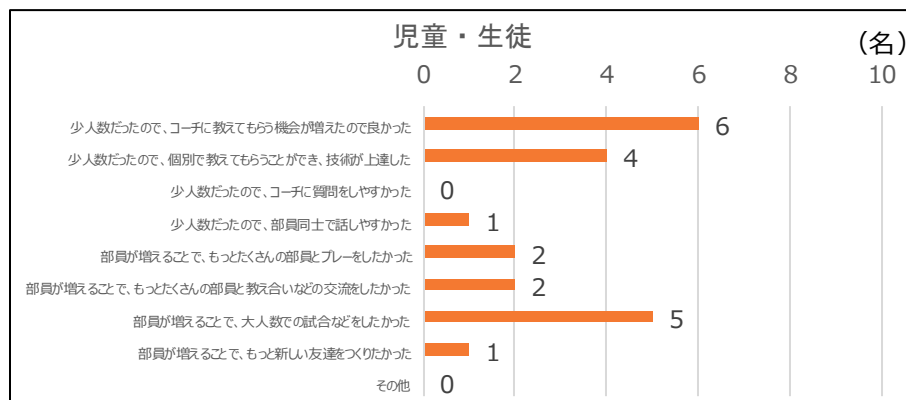
児童・生徒アンケート：10名 保護者アンケート：10名 ※アンケートについては、参加者のうち、入部者およびその保護者を対象に実施

事前アンケート：令和6年9月 依頼 事後アンケート：令和6年11月 依頼

品川ラグビーフットボール協会の地域部活動のホームページの案内は分かりやすかったですか。



今年度は少人数での活動であったが、どうでしたか。(複数回答可)



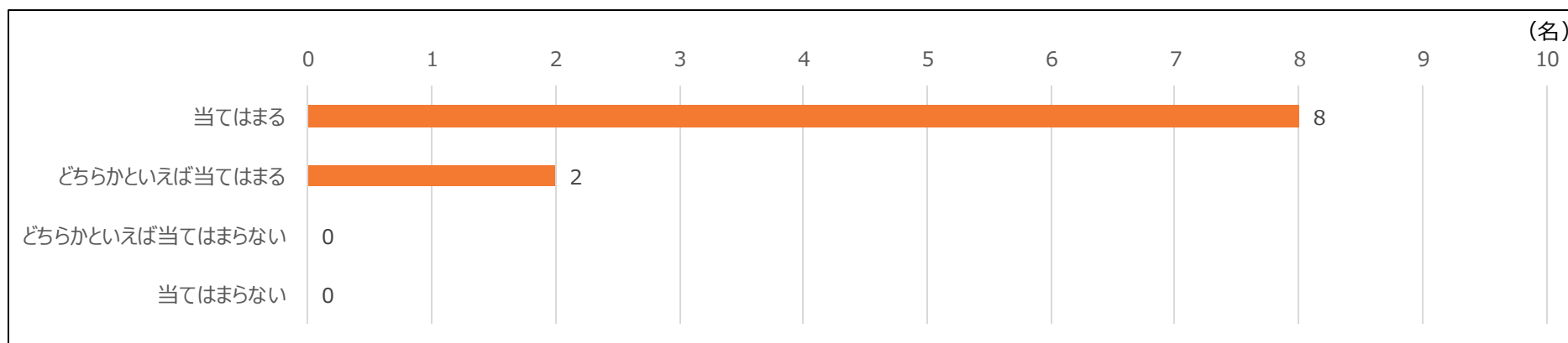
2.実証内容と成果②

しながわ地域TEAM ACT（ラグビー部）アンケート結果

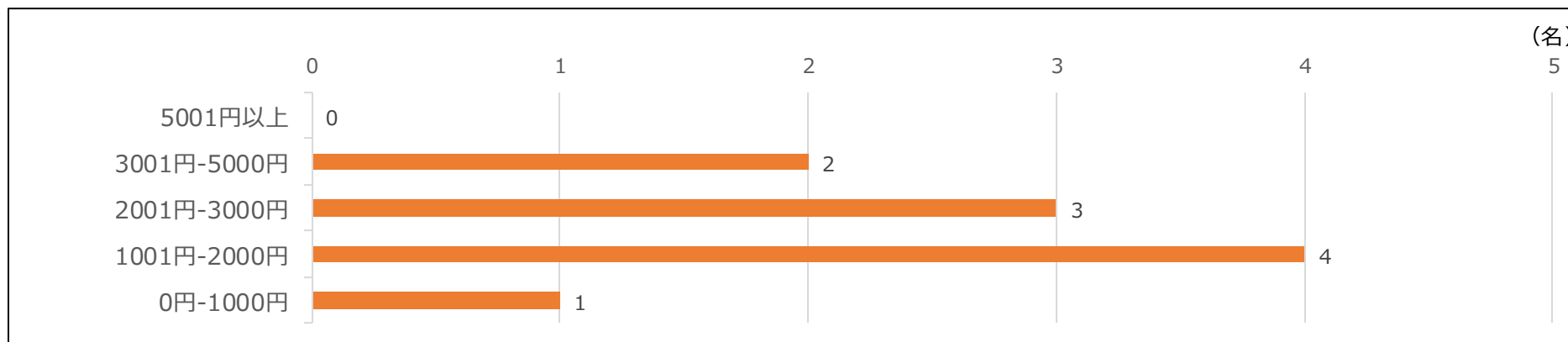
児童・生徒アンケート：10名 保護者アンケート：10名 ※アンケートについては、参加者のうち、入部者およびその保護者を対象に実施

事前アンケート：令和6年9月 依頼 事後アンケート：令和6年11月 依頼

児童・生徒：チーム名（品川バッファロー）を気に入っていますか。



保護者：ラグビー参加費（保険代も含む）としていくらが妥当だと思いますか。



しながわ地域TEAM ACT (ラグビー部) アンケート結果

<練習日誌より>

- ・パスをうまくできるようになった。勢いをつけて走ることができたので、よかったです。
- ・初めてラグビーについて知ったり、活動したりしたので、楽しかったです。
- ・深いところから全力で走ると、ボールをもらったときに、相手を抜きやすいことが分かった。
- ・みんなでいっぱいパスをつなげてトライできたのが、楽しかったし、うれしかった。

<要望・感想 (児童・生徒) > 事後アンケート

- ・楽しかったです。また来年も参加したいです。
- ・今年も昨年に続いて部活動をやってくれてありがとうございました。来年度も参加したいと思うので、楽しみです。
- ・ラグビーが好きになりました。
- ・最後のゲームでは、相手チームとの人数差や上の学年が多かったので、ゲームが成り立つか不安だったけれど、思っていたよりもつながったし、守れたし、勝つことができてよかった。また、来年も続けたい。

<要望・感想 (保護者) > 事後アンケート

- ・優しく指導していただいたことで、毎回の練習を楽しみにしていました。息子にとって、新しい世界や可能性が広がり、より良い人生の一步となったことと思います。この後、高校に入ってもラグビーを続けてくれたらいいなと思っています。
- ・いつも雰囲気よく楽しく活動できる環境を作っていただき感謝です。自分で考えるプレーもできるようになり、ラグビーを通して成長できる場を与えていただきありがとうございます。
- ・活動時の面倒見の良さ、少ない時間で効率よく進めるようになっていただいたと思います。指導がとても前向きで、楽しく過ごさせているようでした。
- ・タグではないラグビーを指導するのは大変だと思いますが、通年で実現したら親はありがたいです。

総括

(活動について)

- 少人数での活動であったので、個別で指導したり、声をかけたりする場面が多く、技術が上達したという肯定的な声が多かった。
- 天候が悪い時には、オンラインでの活動に切り替えることで、練習の回数を確保することができた。
- 指導者が部員一人一人を大切にしながら前向きな言葉かけをするとともに、活動後に日誌にコメントを記載してメールで送付し、自宅で振り返ることができるようにした。

(運営について)

- メールや電話を活用し、迅速で丁寧な連絡、質問への回答を行い、児童・生徒、保護者から肯定的な受け止めがあった。
- オンライン説明会に加えて、説明会に参加できない保護者のためにオンデマンド配信も行った。
- 体験会を複数回開催したことで、部員増加への効果があった。
- ▲品川区ラグビーフットボール協会は、今年度は指導責任者が事務局員と兼任をしていたため、チラシの作成や計画書の提出などが期日に遅れることが多く、また、平日に複数体制で指導ができないという課題が把握され、今後の運営面での改善が必要である。協会は、指導責任者と事務担当者を別に立てて役割分担を明確にし、事務作業が滞ることがないようにするとともに、平日の指導者を複数確保するために、地域人材を活用するなどの対策が求められる。

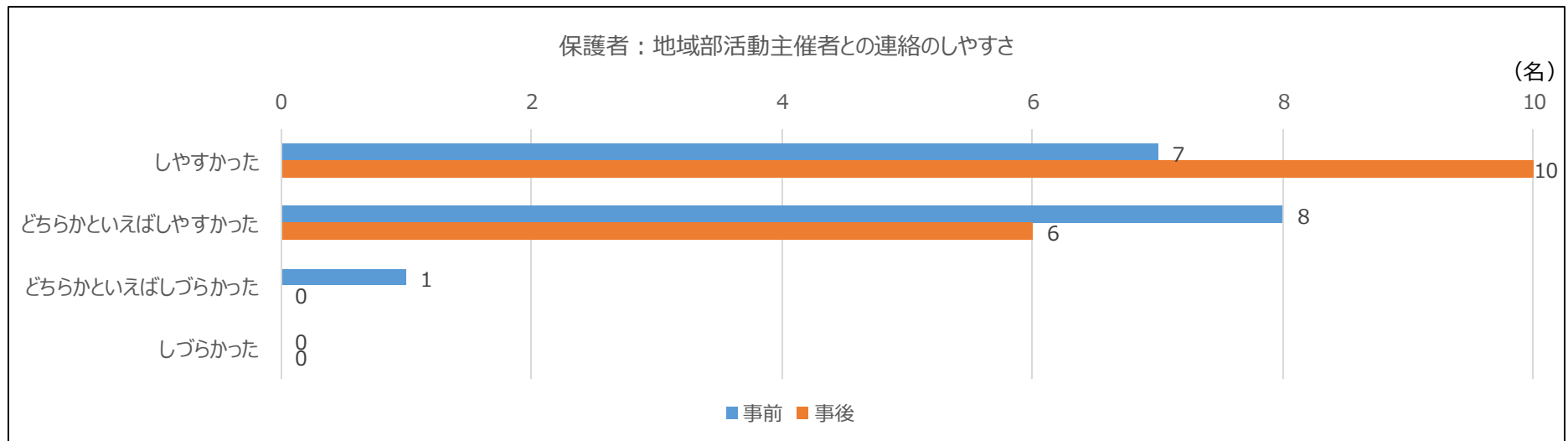
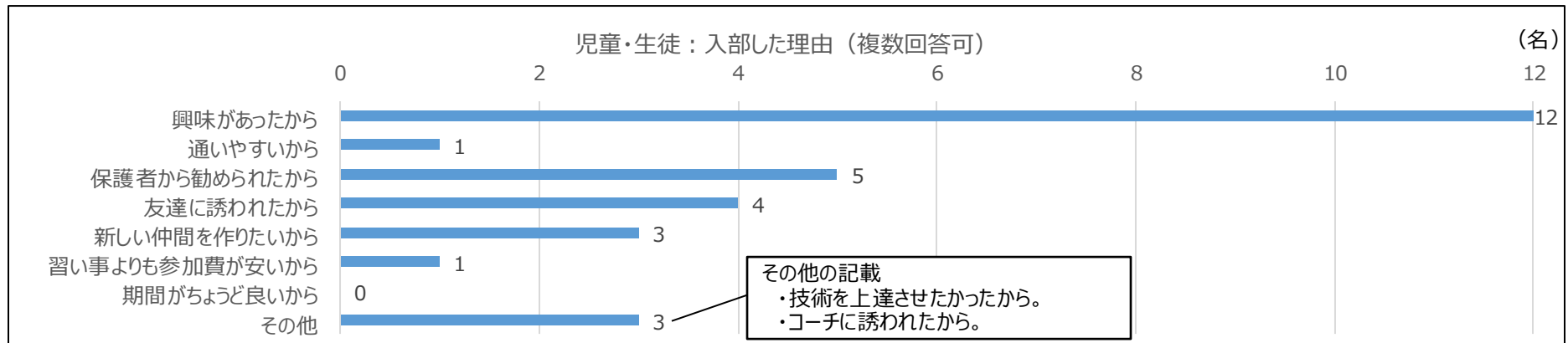
2.実証内容と成果②

しながわ地域TEAM ACT（ホッケー部）アンケート結果

児童・生徒アンケート：16名 保護者アンケート：16名 ※アンケートについては、参加者のうち、入部者およびその保護者を対象に実施

事前アンケート：令和6年12月 依頼 事後アンケート：令和7年2月 依頼

<活動について>



2.実証内容と成果②

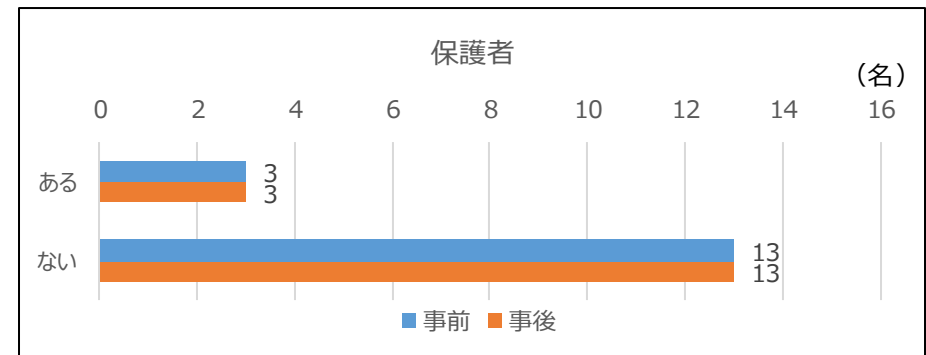
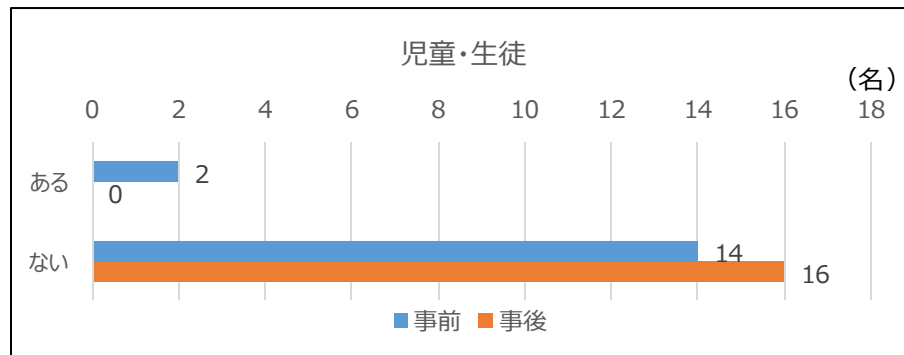
しながわ地域TEAM ACT（ホッケー部）アンケート結果

児童・生徒アンケート：16名 保護者アンケート：16名 ※アンケートについては、参加者のうち、入部者およびその保護者を対象に実施

事前アンケート：令和6年12月 依頼 事後アンケート：令和7年2月 依頼

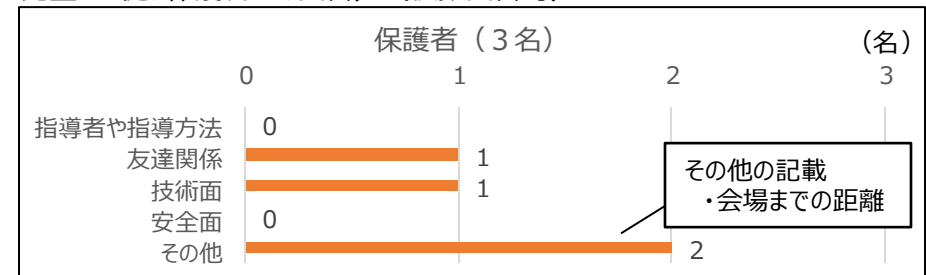
児童・生徒：活動にあたり不安なこと（事前）、活動をしてみて、不安だったこと（事後）

保護者：活動させるに当たり、不安なこと（事前）、活動をさせてみて、不安だったこと（事後）



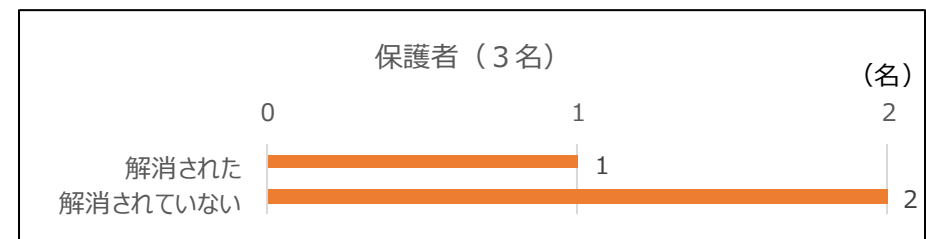
不安だったこと（不安だったことがあると回答した児童・生徒、保護者のみ回答）（複数回答可）

不安だったことなし



不安は解消されたか（不安だったことがあると回答した児童・生徒、保護者のみ回答）

不安だったことなし



2.実証内容と成果②

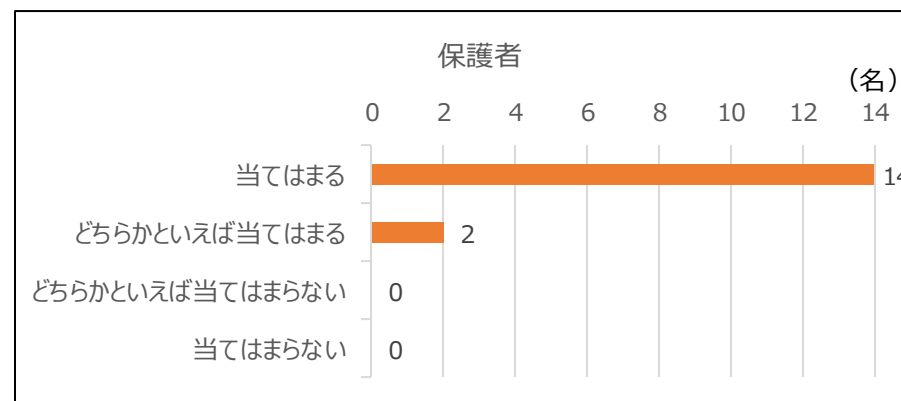
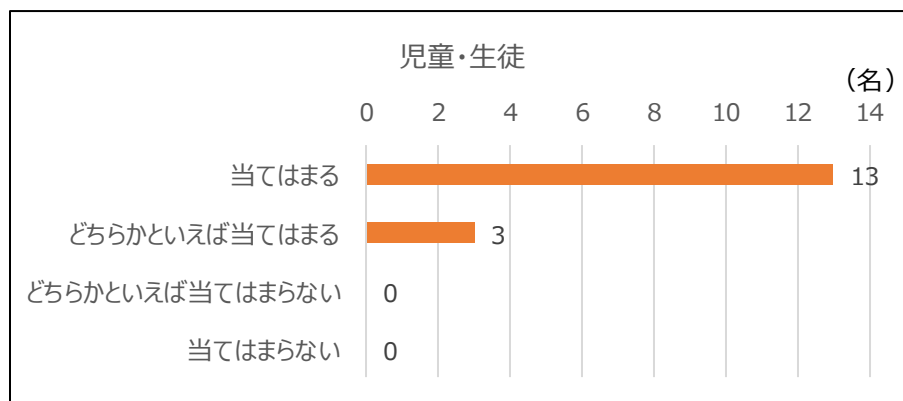
しながわ地域TEAM ACT（ホッケー部）アンケート結果

児童・生徒アンケート：16名 保護者アンケート：16名 ※アンケートについては、参加者のうち、入部者およびその保護者を対象に実施

事前アンケート：令和6年12月 依頼 事後アンケート：令和7年2月 依頼

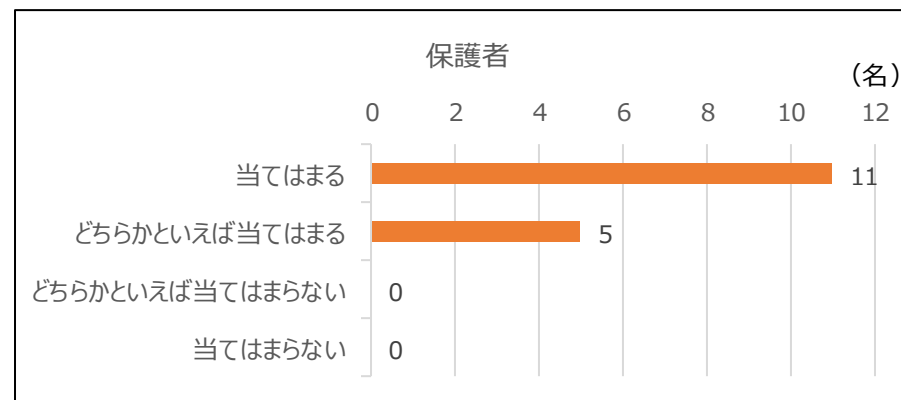
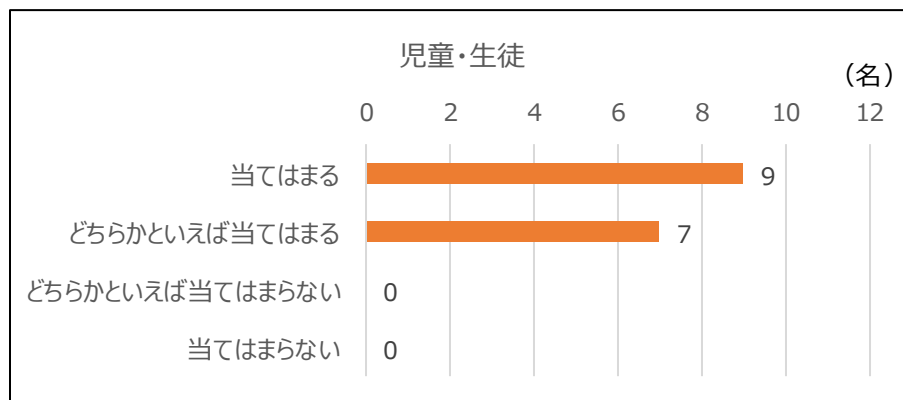
児童・生徒：指導者から専門的な指導や安全に配慮した指導を受けることができましたか。

保護者：お子様は指導者から専門的な指導や安全に配慮した指導を受けることができましたか。



児童・生徒：品川ならではの活動への参加を通して、品川が好きになりましたか。

保護者：お子様は品川ならではの活動への参加を通して、品川が好きになりましたか。



2.実証内容と成果②

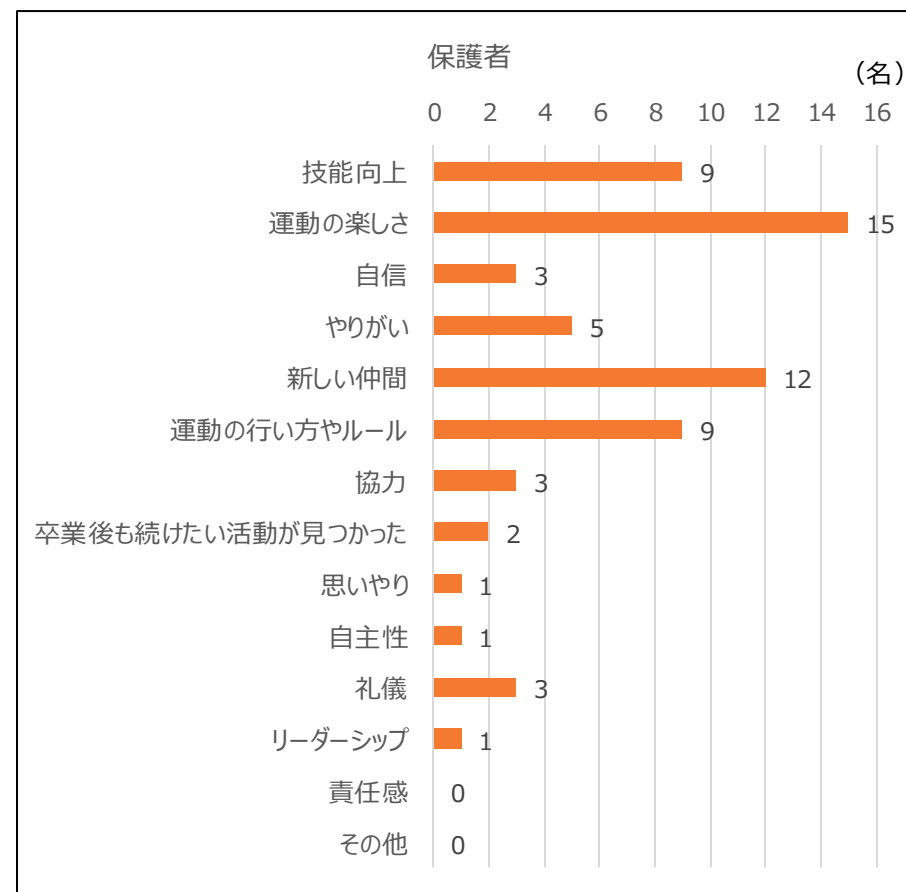
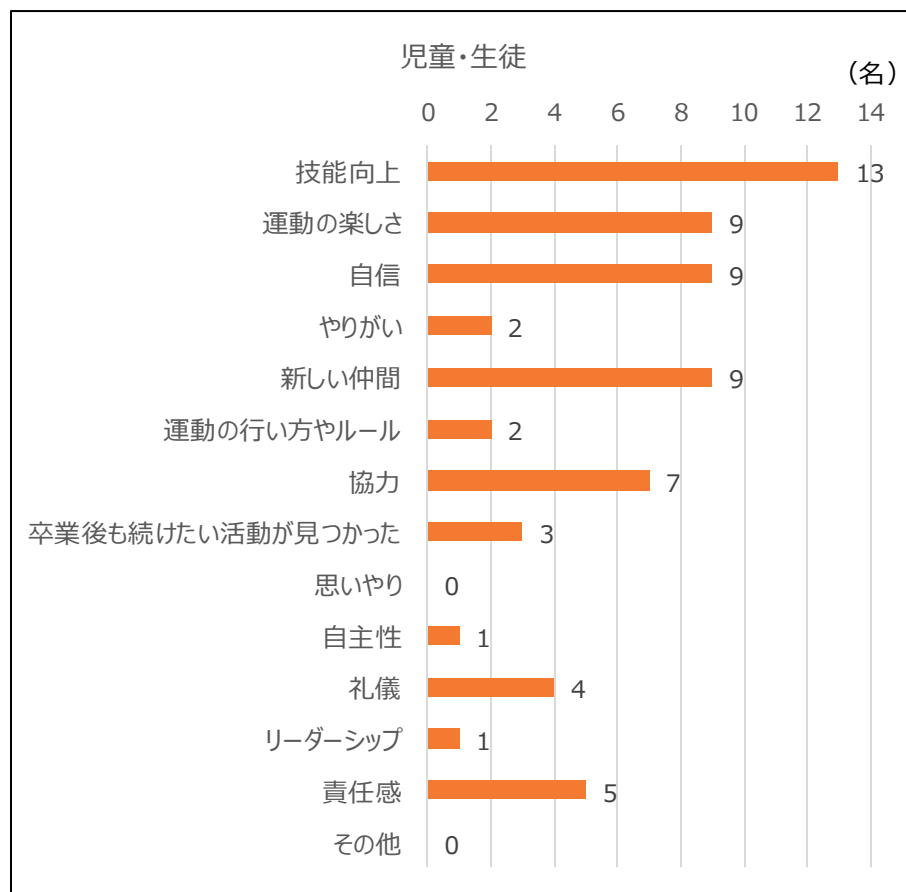
しながわ地域TEAM ACT（ホッケー部）アンケート結果

児童・生徒アンケート：16名 保護者アンケート：16名 ※アンケートについては、参加者のうち、入部者およびその保護者を対象に実施

事前アンケート：令和6年12月 依頼 事後アンケート：令和7年2月 依頼

児童・生徒：地域部活動を通して、どのようなことを得られましたか。（5つまで）

保護者：お子様は、地域部活動を通して、どのようなことを得られましたか。（5つまで）



2.実証内容と成果②

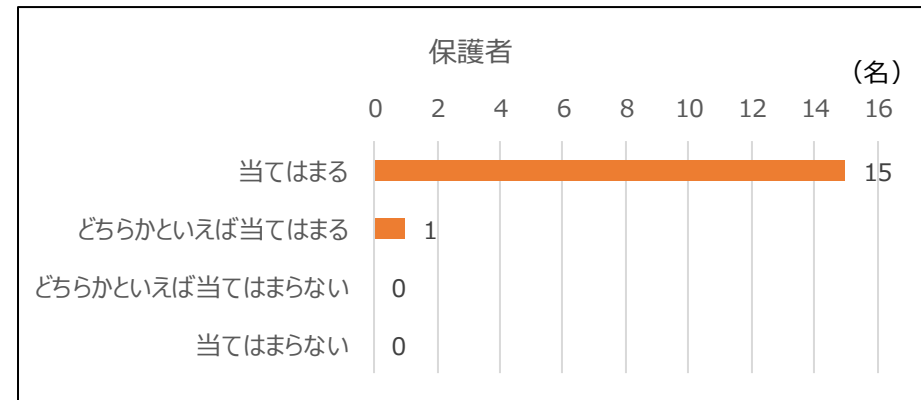
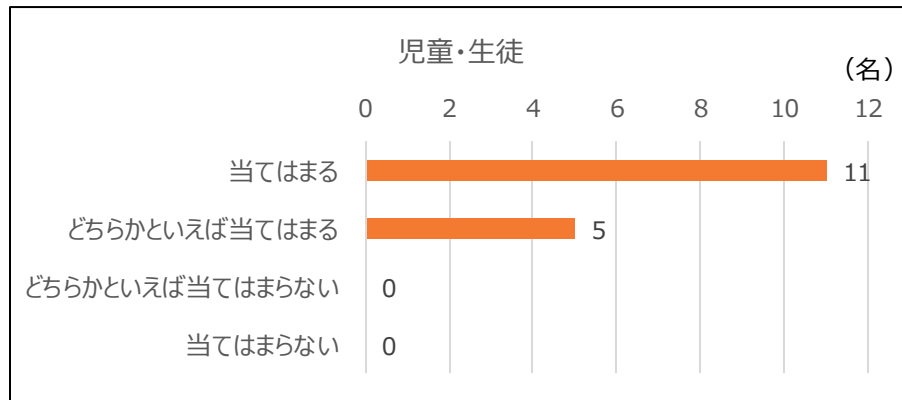
しながわ地域TEAM ACT（ホッケー部）アンケート結果

児童・生徒アンケート：16名 保護者アンケート：16名 ※アンケートについては、参加者のうち、入部者およびその保護者を対象に実施

事前アンケート：令和6年12月 依頼 事後アンケート：令和7年2月 依頼

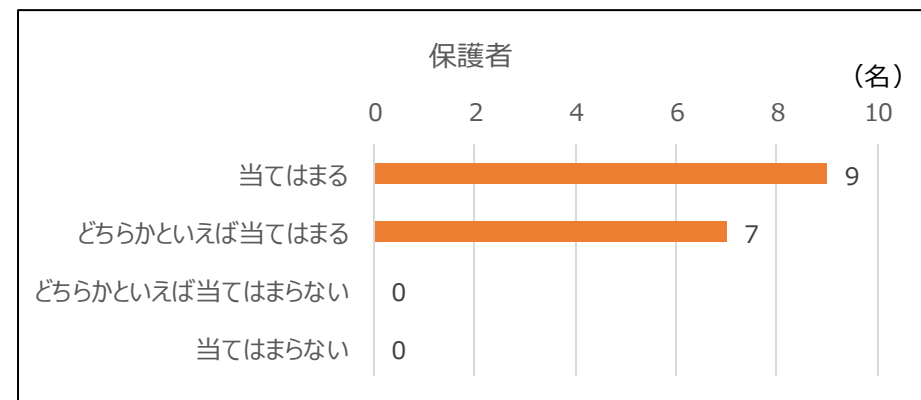
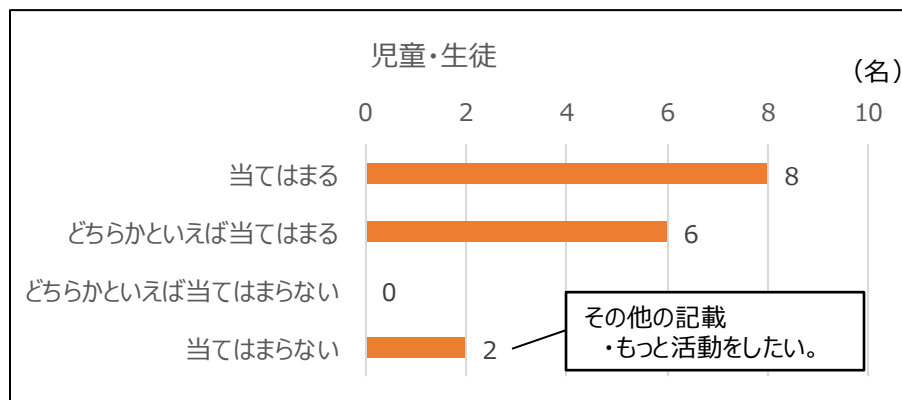
児童・生徒：今後、地域部活動の機会があれば、活動をしたいですか。

保護者：今後、地域部活動の機会があれば、お子様に活動をさせたいですか。



<運営について>

活動回数（16回）は、よかったですか。



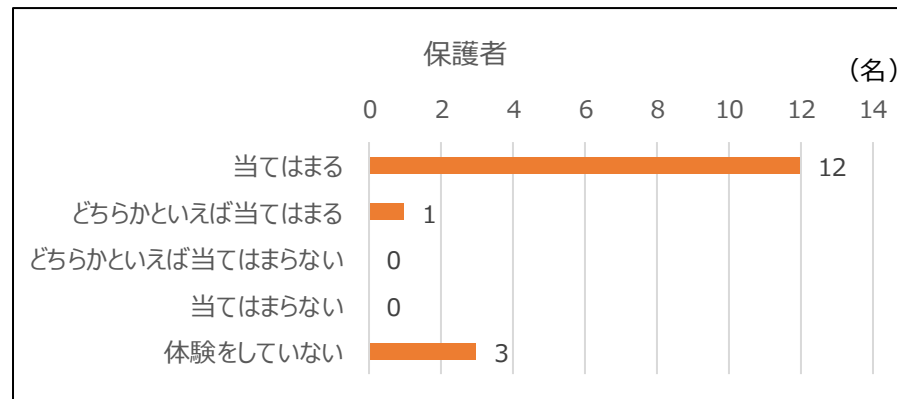
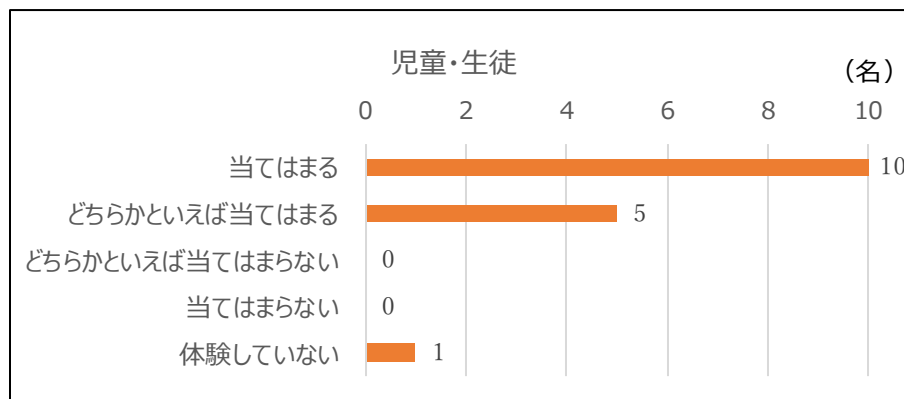
2.実証内容と成果②

しながわ地域TEAM ACT（ホッケー部）アンケート結果

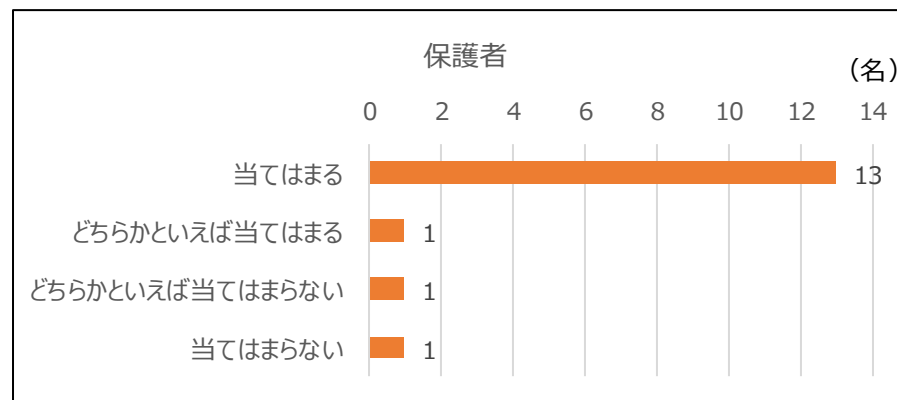
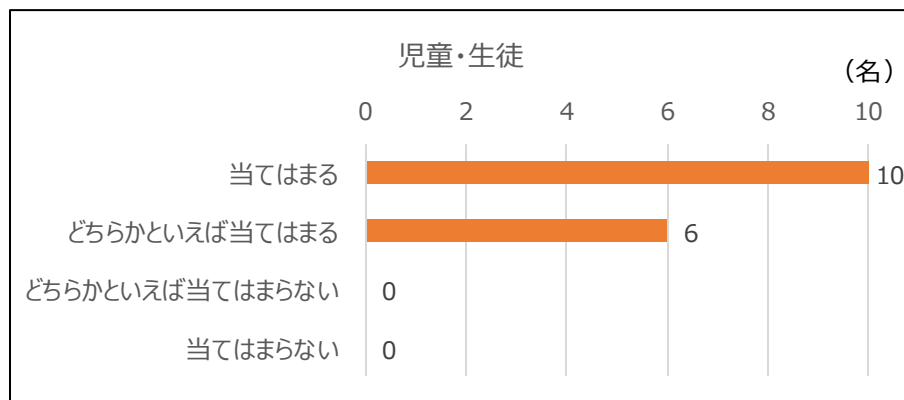
児童・生徒アンケート：16名 保護者アンケート：16名 ※アンケートについては、参加者のうち、入部者およびその保護者を対象に実施

事前アンケート：令和6年12月 依頼 事後アンケート：令和7年2月 依頼

体験の機会があったが、よかったですか。



活動場所（大井ホッケー競技場）はよかったですか。



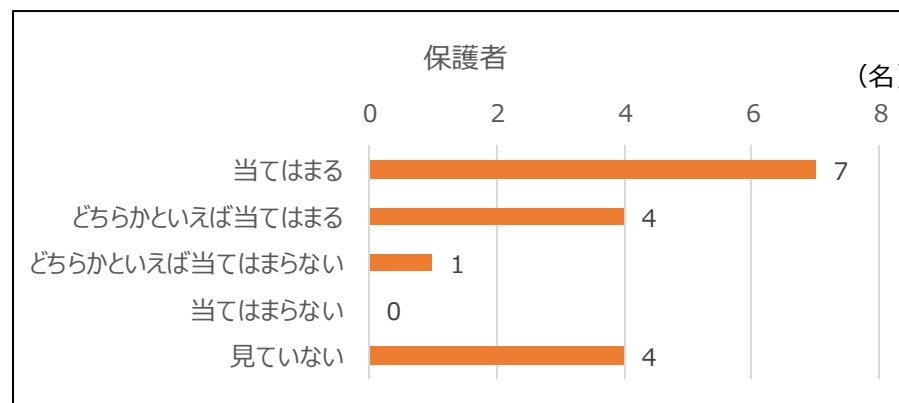
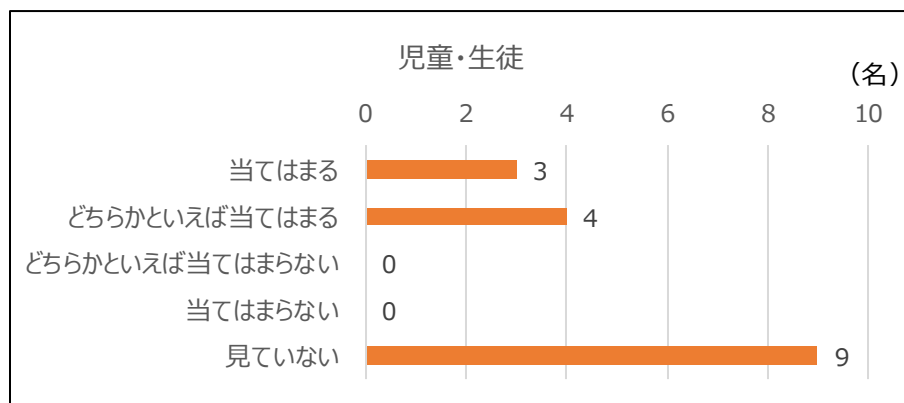
2.実証内容と成果②

しながわ地域TEAM ACT（ホッケー部）アンケート結果

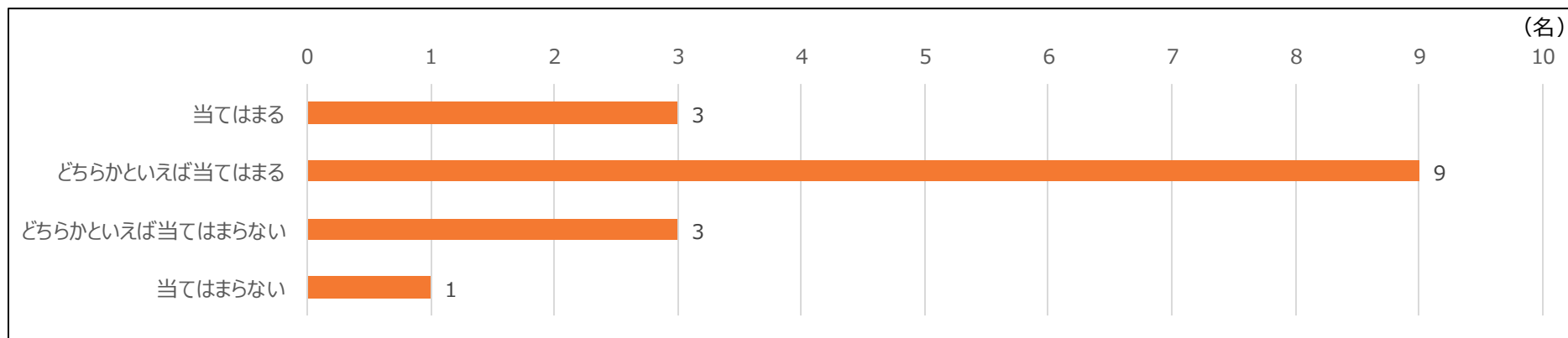
児童・生徒アンケート：16名 保護者アンケート：16名 ※アンケートについては、参加者のうち、入部者およびその保護者を対象に実施

事前アンケート：令和6年12月 依頼 事後アンケート：令和7年2月 依頼

東京都ホッケー協会の地域部活動のホームページの案内は分かりやすかったですか。



児童・生徒：チーム名（しながわペンギンズ）を気に入っていますか。



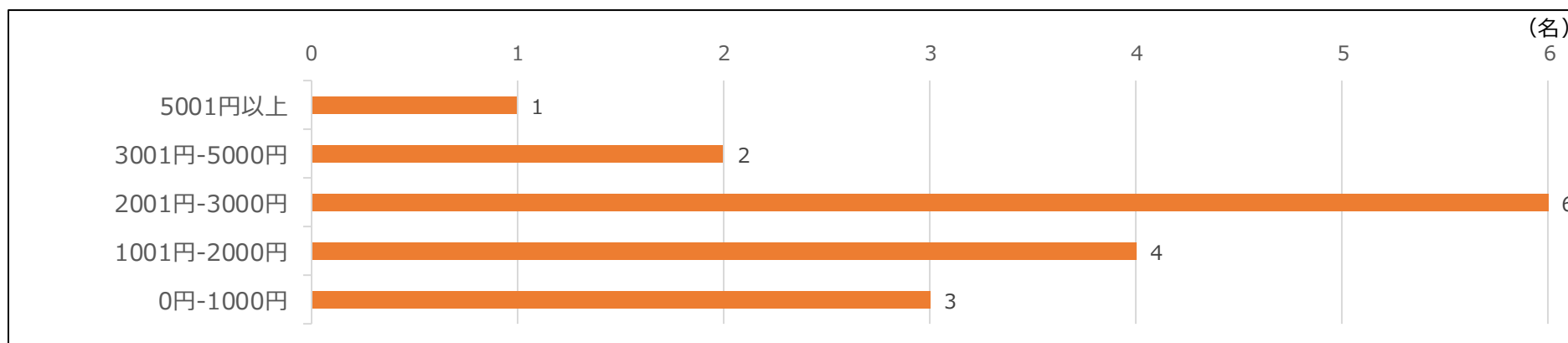
2.実証内容と成果②

しながわ地域TEAM ACT（ホッケー部）アンケート結果

児童・生徒アンケート：16名 保護者アンケート：16名 ※アンケートについては、参加者のうち、入部者およびその保護者を対象に実施

事前アンケート：令和6年12月 依頼 事後アンケート：令和7年2月 依頼

保護者：参加費（保険代も含む）としていくらが妥当だと思いますか。



(名)

しながわ地域TEAM ACT（ホッケー部）アンケート結果

<練習日誌より>

- ・楽しかった。強いパスが打ててとてもよかったです。
- ・初めてだったけど、わかりやすく教えてくれ、先生たちも優しくかったし、楽しかった。
- ・チームでパスの回数を数えながらつなげ、シュートする。いろいろ考えながらやることができた。
- ・リバースタッチシュートを打てた。アシストゴールを決められた。家でも練習したい。

<要望・感想（児童・生徒）> 事後アンケート

- ・もっと沢山やりたかったです。・毎回の練習が楽しかった。来年も参加したい。
- ・平日練習の時間に間に合わなかったので、集まれる時間設定にして欲しい。
- ・オリンピックで使われた大井ホッケー競技場で練習することができて、チームプレーについて考えられて、とても楽しく学べて良かったです。

<要望・感想（保護者）> 事後アンケート

- ・ホッケーという競技の普及および裾野を広げると考えると、無料の方が参加者を集めやすいと思うし、競技参加者が増えることが何よりも価値があることだと思います。
- ・平日開催で大井ホッケー場まで子供1人で移動させることが難しいと感じていた。ただ、大井ホッケー競技場で元日本代表選手のコーチや多くの経験者の方々がコーチして下さった環境は子供たちにとって貴重な経験となって、ホッケーの楽しさを学べる良い機会になったと思います。
- ・とても楽しく通わせていただきました。是非、通年で活動していただきたいです。チーム力もスキルも付いてきた頃に活動が終了してしまうのがもったいなかったです。
- ・コーチの指導も大変素晴らしく子どもが非常にやり甲斐をもって取り組んでいただけに、短期の部活動であることを残念がっていた。

総括

(活動について)

- 指導者から専門的な指導や安全に配慮した指導を受けることができ、技術向上が図られた。
- 初心者と経験者、さらにキーパーの3グループに分かれて練習を行った。初心者に対しては複数いるスタッフが個別指導を行い、基礎技術が身に付いてから経験者の練習に合流した。

(運営について)

- オンライン説明会を行い、体験会の参加や入部に戸惑わないように丁寧に説明した。
- 体験会を3回実施し、第1回では大井ホッケー競技場メインピッチを使用し、東京オリンピック2020の会場にて親子で活動する機会を作った。
- 部員が記載した練習日誌を運営主体が教育委員会を通して、所属部員の学校および家庭に提供することで地域部活動の連携が図られた。

(今後の活動について)

- 平日の活動を水曜日にし、児童・生徒が時間に余裕をもって活動に参加できるようにする。
- 活動場所は引き続き大井ホッケー競技場とする。
- 参加者拡大のために、効果的な広報活動を検討する。
- ▲活動最終日に予定されていた、他のホッケーチームとの合同練習・練習試合が未実施に終わった。事前に、東京都ホッケー協会から教育委員会への計画の進捗状況や中止の連絡がなかったことや、保護者への周知等もなされなかったことなど、準備段階からの課題が把握された。他ホッケーチームとの調整の手順を明確に定め、教育委員会や保護者への連絡・報告の徹底を図るなど、運営の見直しが必要である。

広報資料

品川区立学校で始まった地域部活動が今年度もスタートします。これまでラグビーやスポーツ経験がない人も、性別問わず、どの小学校、中学校、義務教育学校からでもご参加いただけます。

品川区教育委員会事務局（〒108-8501品川区ラブリフアットホール）

品川区しながわ地域 TEAM ACT (ラグビー部)

体験参加 & 入部申し込みのご案内

オンライン説明会の記録映像はこちらから

スポーツ経験のない人も、性別問わず大歓迎！

品川区 地域部活動 (ラグビー部) 活動のご案内

- 対象：品川区立学校の5～9年生
- 定員：50人
- 期間：2024年9月14日(土)～11月24日(日) (週2回(水&土または日)、全20回) (詳細な日程は裏面をご覧ください)
- 会場：在野平塚学園、JR 東日本総合車両センター
- 指導：(一社)SRU品川区ラグビーフットボール協会
- ルール：タックルなどの体験プレーを伴う練習や試合を行います。
- 入部申し込み締め切り：随時募集中

少しでも興味のある人は、ぜひ！

部活の詳細と体験参加の申し込みについてはこちら <https://sru.or.jp/eventinfo/nyubu/>

【ラグビー部：生徒への参加啓発チラシ】

しながわ地域 TEAM ACT

しながわペンギンズ (ホッケー部)

無料体験会

初心者も経験者も大歓迎！

あなたも代表選手になれる？

品川区では、より多くの子供達がスポーツを楽しむことを目指し、地域部活動を行っています。今年度もホッケー部も活動をし、安全には十分に配慮して行います。品川区立の、どの小学校・中学校・義務教育学校からでもご参加いただけます。本事業は品川区の地域部活動実行事業として一般社団法人東京都ホッケー協会が協賛を受けて行う事業です。品川区は公益社団法人日本ホッケー協会より2023年にホッケータウンに認定されました。

日時	10/13 (日)	11/10 (日)	11/23 (土)
	9時～12時	9時～12時	14時～17時
	オンライン説明会も行います。詳細は裏面をご覧ください。		

場所 **大井ホッケー競技場** メインピッチ (10/13) 多目的コート (11/10、11/23)

所在地：東京都品川区八潮西丁目1番19号

対象 **品川区立小・中・義務教育学校に通う5年生～9年生の児童・生徒**

一緒に楽しくホッケーしませんか！

体験会申込

体験会申込みは当日まで可能です！ <https://tokyo-hockey.jp/private/7550>

ホッケー部・活動概要

- ・元日本代表クラスの指導者が楽しく指導いたします。
- ・体験会および活動は東京オリンピックで使用された会場です。
- ・スポーツ安全保険に加入しますので安心して活動できます。
- ・活動への参加は無料です。
- ・募集期間：2024年10月1日～12月22日
- ・活動期間：2024年12月5日～2025年2月9日 (日程は裏面)
- ※入部についての詳細は次回の案内をご覧ください。

TVA 東京都ホッケー協会 一般社団法人東京都ホッケー協会 <https://tokyo-hockey.jp/>

【ホッケー部：生徒への参加啓発チラシ】

広報資料

しながわ地域TEAM ACT通信 Vol.4

令和6年10月10日発行

品川バッファロー（ラグビー部）の活動が始まりました！

9月14日（土）から品川バッファロー（ラグビー部）の活動を開始しました。品川バッファローでは、JR東日本総合車両センター、荏原平塚学園での活動やオンラインを活用した活動も行っています。

また、部員だけでなく、興味をもって体験に参加をしている児童・生徒もいます。今回は、それぞれの活動について紹介します。

＜JR東日本総合車両センターおよび荏原平塚学園での活動＞

- ・おにごっこ ・ラン
- ・1対1のトライゲーム ・ゲーム



＜オンラインでの活動＞

- ・ネット動画を見てラグビーのルールや動きの確認
- ・体幹ストレッチ（コーチが実演しながら、動きをチェックをする）

今後の予定

	日	日	時間	開催場所
第8回	10月12日	（土）	9:00-11:00	JR東日本総合車両センター
第9回	10月16日	（水）	16:00-18:00	オンライン
第10回	10月20日	（日）	12:00-14:00	JR東日本総合車両センター
第11回	10月23日	（水）	16:00-18:00	荏原平塚学園
第12回	10月26日	（土）	9:00-11:00	JR東日本総合車両センター
第13回	10月30日	（水）	16:00-18:00	荏原平塚学園
第14回	11月 2日	（土）	9:00-11:00	JR東日本総合車両センター
第15回	11月 6日	（水）	16:00-18:00	荏原平塚学園
第16回	11月 9日	（土）	9:00-11:00	荏原平塚学園
第17回	11月13日	（水）	16:00-18:00	荏原平塚学園
第18回	11月17日	（日）	9:00-11:00	JR東日本総合車両センター
第19回	11月20日	（水）	16:00-18:00	荏原平塚学園
第20回	11月24日	（日）	9:00-11:00	JR東日本総合車両センター

入部および体験につきましては、随時行っております。
[＜入部の申し込み＞](#)

申 込： <https://sru.or.jp/eventinfo/nyubu/>

ご不明点がございましたら、品川区教育委員会事務局指導課までご連絡ください。多くのご参加をお待ちしております！

品川区教育委員会事務局指導課 TEL：03-5742-6832



【教育委員会作成：しながわ地域TEAM ACT 通信】

しながわ地域TEAM ACT通信 Vol.6

令和7年2月10日発行

しながわペンギンズ（ホッケー部）活動報告！

しながわペンギンズ（ホッケー部）は、現在品川区の小・中・義務教育学校から16名の部員が集まって活動しています。

活動場所は、大井町中央海浜公園にある大井ホッケー競技場です。東京オリンピックのホッケー会場としても使用されました。

部員は、初めてホッケーをした部員も経験している部員も楽しく活動をしています。

指導者より

小野コーチと帆風コーチからコメントをいただきました。

小野コーチは、元日本代表さくらJAPANのメンバーで、北京オリンピック（2008年）とリオオリンピック（2016年）に出場しました。帆風コーチは、元日本代表サムライJAPANの副キャプテンで、代表キャップ数が117の経験をおもちです。

選手のレベルとホッケーへの関心を引き出すために、「まずは挑戦してみよう」ということを伝え可能性を存分に広げてあげたいと思っています。特に「できた」という成功体験を増やし目標に近づけていきたいと思っています。

ミスは当たり前前のスポーツで90%は失敗するものです。失敗を気にせず、恐れずチャレンジをしてほしいと思います。チャレンジをすることを身に付けて、他の活動にも生かして欲しいです。そして、社会でも臆せずチャレンジできる人になって欲しいです。




知っていますか！ホッケーのスティックについて！

平らな面



丸い面



スティックには、平らな面と丸い面があります。ボールを扱うのは、平らな面ではかきできないことになっています。そのため、ドリブルなどを行うときは、スティックを回しながら、平らな面のみ使うようにしなければなりません。実際にやってみるとなかなか難しいですが、できるようになってくると楽しくなりますよ！

品川区教育委員会事務局指導課 TEL：03-5742-6832

【教育委員会作成：しながわ地域TEAM ACT 通信】

広報資料

しながわ地域部活動通信 Vol.1

今回は、ダンス部の活動となります。 令和6年6月26日発行

令和6年度のしながわ地域部活動（ダンス部）の活動が令和6年5月11日（土）より開始しました。今年度の活動は、全10回となります。
部員は、ダンスの経験や性別問わず、67名の部員が活動しています。
指導者は、毎回SEGA SAMMY LUXの所属選手にダンスの専門のスキルを直接指導をしてもらっています。

◇活動報告・活動内容

毎回、基礎的なリズムトレーニングを行ってから、テーマに沿って活動を行っています。

第1回	5月11日（土）	テーマ：ランニングマン
第2回	18日（土）	テーマ：キックステップ
第3回	25日（土）	テーマ：バーストップ
第4回	6月 8日（土）	テーマ：トゥループ
第5回	15日（土）	テーマ：パーティマシーン
第6回	22日（土）	テーマ：ブルックリン

次回からは、発表に向けて振り入れの練習が始まります！

◇ダンス部のチーム名が決定しました！

品川区立小学校・中学校・義務教育学校に通う5年生から9年生からチーム名を募集・投票を行いました。そして、最終的に3つに絞られたチーム名から部員の投票を行い、チーム名が決定しました。

エクスペロージョン シナガワ

チーム名は、**Explosion Shinagawa** です。

◇活動の感想（練習日誌より）

- ・やったことがなかったけど、やってみたらできるようになったので、家でもっとできるように練習したいです。（5年生）
- ・初めてパーティマシーンをやって、最初は複雑な足の動きで難しかったけど楽しくやれた。（7年生）
- ・新しいことを知れて1つのステップでもこんなにまだ改善しなきゃいけないんだと感じ、努力をしようと思いました。（9年生）

品川区教育委員会事務局指導課 TEL：03-5742-6832

【教育委員会作成：しながわ地域TEAM ACT 通信】

毎月11-21日発行

9/21

令和6年（2024）
No.2344

広報
Shinagawa

しながわ

品川区 教育特集号

掲載記事は9月11日時点の情報が中心です。
※掲載内容に変更がある場合は、お問い合わせください。

発行/品川区 編集/品川区教育委員会事務局 印刷/品川区印刷局 発行所/品川区印刷局
〒108-8501 品川区東品川1-1-16 品川区印刷局 電話03-5742-6832 品川区印刷局 品川区印刷局
<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>

しながわ地域 TEAM ACT

(地域部活動)の取り組みを進めています

子どもたちの多様な部活動の機会確保や専門性の高い指導の実現、教職員の業務負担の軽減を図るため、学校の部活動を地域へ移行する「しながわ地域 TEAM ACT」の取り組みを5年度より進めています。

子どもたちが楽しみや喜びを感じられる場として、6年度も区立小学校の5～9年生の児童・生徒を対象に3つの部が活動しています。

興味のある方はぜひお問い合わせください。

お問い合わせ先
品川区教育委員会事務局
TEL: 03-5742-6832

ダンス部

Explosion Shinagawa

品川区立小学校・中学校・義務教育学校
5年生から9年生からチーム名を募集・投票を行いました。

最終的に3つに絞られたチーム名から部員の投票を行い、チーム名が決定しました。

エクスペロージョン シナガワ

チーム名は、**Explosion Shinagawa** です。

品川バレーボール部

品川区立小学校・中学校・義務教育学校
5年生から9年生からチーム名を募集・投票を行いました。

最終的に3つに絞られたチーム名から部員の投票を行い、チーム名が決定しました。

ラグビー部

品川区立小学校・中学校・義務教育学校
5年生から9年生からチーム名を募集・投票を行いました。

最終的に3つに絞られたチーム名から部員の投票を行い、チーム名が決定しました。

しながわペンギンズ

品川区立小学校・中学校・義務教育学校
5年生から9年生からチーム名を募集・投票を行いました。

最終的に3つに絞られたチーム名から部員の投票を行い、チーム名が決定しました。

ホッケー部

品川区立小学校・中学校・義務教育学校
5年生から9年生からチーム名を募集・投票を行いました。

最終的に3つに絞られたチーム名から部員の投票を行い、チーム名が決定しました。

しながわペンギンズ

品川区立小学校・中学校・義務教育学校
5年生から9年生からチーム名を募集・投票を行いました。

最終的に3つに絞られたチーム名から部員の投票を行い、チーム名が決定しました。

ラグビー部

品川区立小学校・中学校・義務教育学校
5年生から9年生からチーム名を募集・投票を行いました。

最終的に3つに絞られたチーム名から部員の投票を行い、チーム名が決定しました。

しながわペンギンズ

品川区立小学校・中学校・義務教育学校
5年生から9年生からチーム名を募集・投票を行いました。

最終的に3つに絞られたチーム名から部員の投票を行い、チーム名が決定しました。

【広報しながわ（教育特集号）】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【ラグビー部：パス練習の場面】



【ラグビー部：動きについて考える場面】



【ホッケー部：ドリブルしながらパスをつなぐ練習の場面】



【ホッケー部：シュート練習の場面】

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



ステークホルダー

学校、教育委員会、首長部局、関係団体、保護者、
統括コーディネーター

経過

令和4年度に生徒アンケート、教員アンケートおよび校区教育協働委員会との情報交換から以下の必要性が明確になった。

- ・ 部活動にはない種目等を週1回程度、地域で展開
- ・ 教員の兼業・兼職の体制整備、指導を望まない教員に代わる地域の指導員の拡充
- ・ 現在の部活動のメリットを維持しながら段階的に地域移行

令和5年度より、運営団体とコーディネーター、指導者、行政等で組織する部活動に係る協議会（年3回）を設置し、クラブ活動の運営マニュアルや指導の手引きの作成を進めた。

同じく、令和5年より多様な運動機会の創出を図る地域部活動（ラグビー、ホッケー、ダンス）を実証事業として検討委員会を設置し、品川区ラグビーフットボール協会、東京都ホッケー協会および民間委託の3つの団体を運営団体とした新たな地域クラブ体制を設立した。

実施内容

品川区立小・中・義務教育学校の5～9年生が参加可能とし、子どもたちがより多くの種類の活動機会を得られるよう、3部活動の活動時期が重ならないように実施した。ラグビー部とホッケー部は平日も活動を行い、ラグビー部はオンラインでの活動も併用している。

実施にあたって生じた課題

令和5年度は、チラシを全小学校、中学校および義務教育学校への配付、オンライン説明会、運営団体が学校に直接行き、周知を図ってきた。令和6年度からは、活動開始の前に地域部活動の参加につながるような体験会を数回実施し広く周知を図る体験会も行い、部員の募集に努めてきた。今後、更なる部員を増やすための検討を進めている。

また、平日の授業終了後における活動の参加人数が休日の活動に比べて少ないという現状がある。平日における活動しやすい曜日を検討していく。

今後の展開

新たな地域部活動として、令和8年1月から文化部活動を設立する。区のホームページ等を通して、周知を図っていく。

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

品川区における部活動の地域移行に向けたロードマップ【令和7年度】

【資料5】

意識

- ・活動する生徒および専門的な指導者の確保といった課題等を解決することで、持続可能な取組とし、地域で子どもたちの育成に寄与していくことができるようにする。
- ・多様な体験機会を確保するとともに、自発的な参画を通して、スポーツや文化芸術の楽しさや喜びを感じるとともに、自己実現や地域への愛着をもてる人材を輩出できるようにする。
- ・学校の働き方改革の推進につなげ、授業の充実、生徒との信頼関係の構築、地域や保護者へ開かれた学校づくりなど、学校の教育の質を向上できるようにする。
- ・部活動といった一定期間の活動機会にとどまらず、継続的に確保することで、区民がスポーツや文化芸術の価値を享受できるようにする。

実態

【生徒から】

- ・部活動に加入している生徒の92%が、現在の部活動を肯定的に捉えている。
- ・部活動に加入している生徒の58%が、現在の部活動とは別に、興味がある活動(週1回程度)できた場合、参加したいと考えている。
- ・合同部活動や地域での活動機会を潰やした場合は、75%の生徒が参加したいと考えている。

(部活動や地域でのスポーツ・文化活動に関するアンケート 令和4年9月)

【生徒会長ヒアリングから】

- ・部活動の地域移行について、肯定的な意見では、特に地域部活動では学校ではできない部活動があるという意見が最も多い。
- ・配慮してほしいこととして、費用負担が現状の学校部活動より増えないようにしてほしいという意見がある。

(生徒会長ヒアリング 令和5年7月)

【民間委託をした部活動の部長ヒアリングから】

- ・実際にやってきた人に専門的な指導をしてもらえる。・ブロック大会に出ることができた。・新しいことを学べる。
- ・陸上をやっていた立場から、話をしてもらえる。

(民間委託をした部活動の部長ヒアリング 令和6年8月2日時点)

【地域部活動(ダンス部・ラグビー部)に参加した部員から】

- ・97%の部員が、「指導者から専門的な指導や安全に配慮した指導を受けることができた」と回答。
- ・97%の部員が、「今後、地域部活動の機会があれば、活動をしたい」と回答。

(部活動終了後の事後アンケート 令和6年7月)

【教員から】

- ・232名の中学校・義務教育学校(後期課程)教員が回答。
- ・約7割(158名)の教職員が、「土・日の部活動の兼業・兼職を(有償・無償を問わず)希望しない」と回答。
- ・約3割(65名)の教職員が、「教員として働いているうちは部活動指導を続けたい」と考えている。
- (兼業・兼職による部活動に関するアンケート 令和5年3月)
- ・504名の中学校・義務教育学校(後期課程)教員が回答。
- ・約9割の業務委託をしている部活動の教員が「自身の仕事の業務軽減がされている」と回答。
- ・約6割の業務委託をしていない部活動の教員が「業務委託をしたい」と回答。

(学校部活動の業務委託に関するアンケート 令和6年12月)

【校長から(中学校および義務教育学校:15校)】

- ・校長全員が「学校部活動の業務委託を増やすことを望む」と回答。

(学校部活動の業務委託に関する調査 令和6年12月)

【校区教育協働委員会から】

- ・一定数部活動をしたい教員がいる。・部活動は子どもたちの成長の場となっている。
- ・部活動を地域移行することで、子どもたちの活動機会への影響や費用面の負担などが懸念される。
- ・部活動を地域移行する場合、生徒理解など技術指導以外の部分も必要となる。

課題

- ▶ 地域における生徒等の活動機会の確保
- ▶ 地域における適任指導者の確保
- ▶ 義務教育終了以降区内で区民として参加できる活動との連携
- ▶ 学校の働き方改革の推進および教職員の兼業・兼職の体制整備

課題に対する取組

協議会の設置(年3回)

教育委員会、首長部局、地域の関係団体、学校、保護者等との連携・協議を図る場として設置

地域部活動(しながわ地域 TEAM ACT)の設置(協会、民間委託)

多様な運動機会の創出を図る地域部活動(しながわ地域 TEAM ACT)を実証事業として設置

種目: ダンス、ラグビー、ホッケー、アート(令和7年度より)

部活動指導員の拡充

校長の監督を受け、部活動の技術指導や大会への引率等を行うことを職務とした職員を拡充

学校部活動指導業務委託(民間委託)

- ・学校部活動の一部(指導者がいない学校部活動)を民間へ業務委託(原則1校3部活動)
- ・学校部活動地域展開推進校の設置(鈴ヶ森中学校、品川学園:各校5部活動)

人材リストの作成

子どもたちのニーズに沿った部活動の指導者の確保を推進する人材リストを作成および提供

学校部活動アシスタントコーディネーターの配置

学校と部活動指導員および地域スポーツクラブ・文化団体等との連絡・調整等を実施(全校配置)

Explosion Shinagawa(ダンス部) 委託先: 株式会社ウェーブマスター		
活動日	活動期間: 5月~2月 活動曜日: (土 or 日) [全20回]	
活動場所	会場: 御園山小学校	
活動場所	時間: 2時間	
地域展開: 令和7年度地域での発表の場を設定		
品川バッドフット(ラグビー部) 委託先: 一般社団法人品川ラグビーフットボール協会		
活動日	活動期間: 9月~11月 活動曜日: (水・土) [全20回]	
活動場所	+ 8月または9月より体験会を実施	
活動場所	会場: JR 東日本東京総合車両センター オンライン 他	
活動場所	時間: 2時間	
しながわペンギンズ(ホッケー部) 委託先: 一般社団法人東京都ホッケー協会		
活動日	活動期間: 12月~2月 活動曜日: (木・日) [全16回]	
活動場所	+ 10月より体験会を実施	
活動場所	会場: 大井ホッケー競技場	
活動場所	時間: 2時間	
(アート部) 委託先: 未定		
活動日	活動期間: 1月~3月 活動曜日: (土 or 日)	
活動場所	会場: 未定	
活動場所	時間: 2時間	
地域展開: 令和8年度「品川文化祭 ART!アート!あーと!」品川区民作品展への出展も検討		

スケジュール

	12月~3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和8年度以降
協議会			第1回					第2回				第3回		
地域部活動	打合せ	Explosion Shinagawa(ダンス部) 月2回活動の実施 ※地域での発表の場を設定												ダンス部 ・アマチュアステージの参加調整
								品川バッドフット(ラグビー部)						アート部
学校部活動指導業務委託	準備・調整	学校部活動指導業務委託(原則1校3部活動) ※学校部活動地域展開推進校2校は5部活動												ART1アート!あーと!に出展予定 ・品川区民作品展に出展予定
部活動指導員		各学校において随時任用 ※活用状況に応じて次年度の拡充検討												
学校部活動アシスタントコーディネーター		教育委員会より委嘱(1学校当たり1名程度)												
人材リスト	各校へ提供	随時更新、各学校へ情報提供												

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

東京都渋谷区

自治体名：東京都渋谷区

担当課名：学びとスポーツ課

電話番号：03-3463-3296

1.自治体の基本情報

基本情報	
面積	15.11 km ²
人口 (令和6年10月1日時点)	231,751人
公立中学校数	8校
公立中学校生徒数 (令和6年5月1日時点)	2,003人
部活動数 (令和6年5月1日時点)	57部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	渋谷区スポーツ推進計画(第二期)策定済 令和7年度渋谷区部活動地域移行推進計画策定予定

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

1 生徒のニーズを踏まえた運動部・文化部の設置

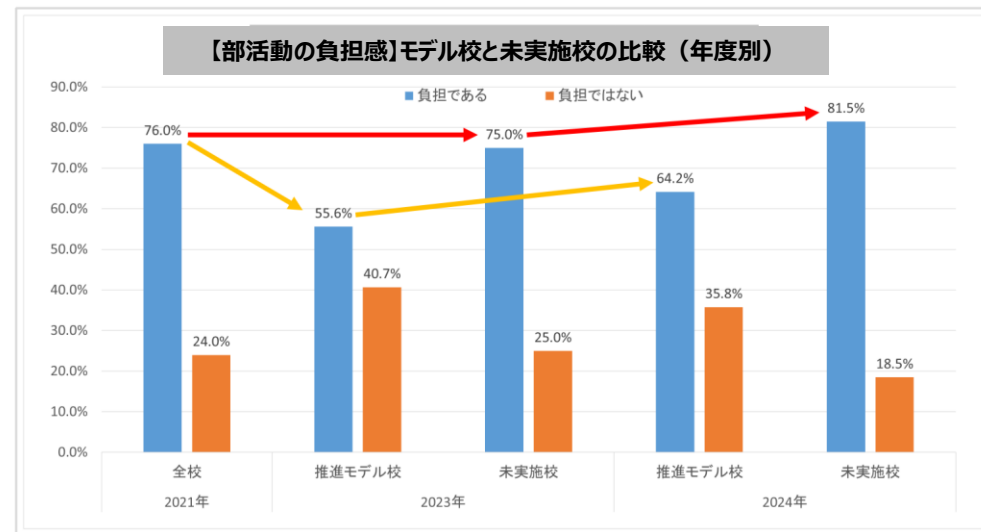
学校によって設置されている部活動の種目が限定され、生徒が希望する種目が必ずしも整っていない。例えばサッカー部は、8校の区立中学校の内3校のみにしかなく、すべての学校でサッカーを行うことはできない。また、文化部への希望や、障がいのある生徒等幅広く、変化する生徒のニーズには応えきれていない。

👉 **生徒のニーズに沿った部活動を設置するとともに、部活動の合同化を推進する。**

2 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革

部活動は長年、教員の献身的な取組によって支えられており、長時間勤務の要因、指導経験がない教員の負担など大きな課題となっている。

👉 **教員の負担軽減を考慮した適切な指導体制の構築に取り組む。**



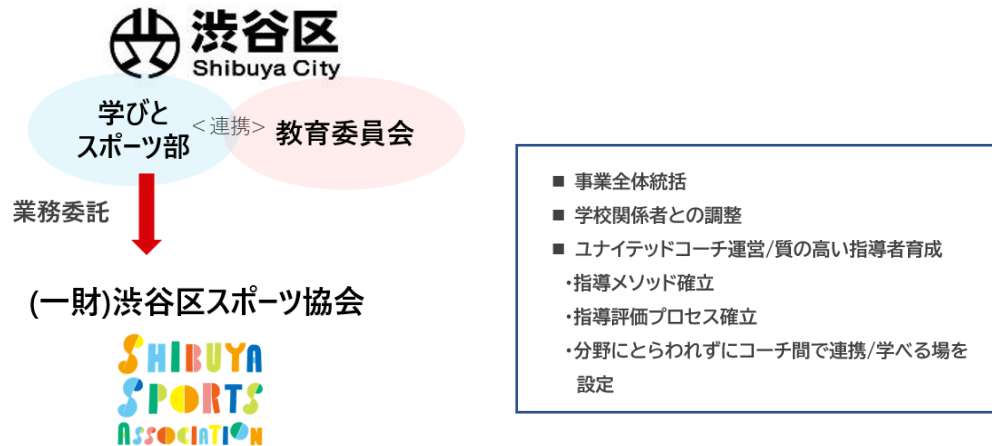
区立中学校教員対象意識調査

回答者数 2021年108人、2023年105人、2024年107人

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会（教育指導課）

- ・学校現場調整

◎首長部局（学びとスポーツ課）

- ・中学校部活動支援（一般財団法人渋谷区スポーツ協会へ業務委託）

年間の事業スケジュール

令和6年4月	（代々木・原宿外苑中） 昨年度から継続。 新年度キックオフミーティング
令和6年5月	新入部員の活動開始 保護者向け説明会実施
令和6年6月～	（広尾・松濤中） モデル校体制へ順次切り替え、 部活動保護者説明会
令和6年6月	講習会（指導者の在り方・安全管理）実施
令和6年7月	モデル校関係者プロフィールの 配布（どのようなスタッフが現場 に入っているかがわかるよう、写 真入りプロフィールを作成）
令和6年10月～	陸上部や野球部の合同練習会 実施
令和6年11月	・モデル校顧問への満足度アン ケート、ヒアリング実施 ・児童・生徒・教員向け意識調 査実施
令和6年12月	モデル校連絡会実施
令和7年1月	学校管理職面談（アンケート・ ヒアリングフィードバック） 新入生保護者会
令和7年1～2月	新入生保護者会

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	区内中学校8校中4校	実施した地域クラブ総数	38クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		29部活
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		9クラブ
全体の指導者数	39人	全体の運営スタッフ数	延べ28人

②各クラブに関すること

モデル校名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者(学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数(他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
代々木中学校	(一財)渋谷区スポーツ協会	バレーボール、バスケットボール、野球、サッカー、硬式テニス、陸上、水泳、剣道、卓球	月16回程度	平日放課後2時間程度 休日2～3時間程度	1年生71人 2年生63人 3年生101人	令和6年4月～令和7年3月	代々木中学校	15人	6人(内、兼務5人)	0円	部活動
原宿外苑中学校	同上	サッカー、陸上、女子バレーボール、野球、男子バスケットボール、女子バスケットボール、ソフトテニス、卓球	月16回程度	同上	1年生77人 2年生63人 3年生51人	令和6年4月～令和7年3月	原宿外苑中学校	10人	6人(内、兼務5人)	0円	部活動
松濤中学校	同上	男子バスケットボール、女子バスケットボール、男子バドミントン、女子バドミントン、陸上、野球、硬式テニス	月16回程度	同上	1年生56人 2年生42人 3年生46人	令和6年6月～令和7年3月	松濤中学校	7人	8人(内、兼務7人)	0円	部活動
広尾中学校	同上	バスケットボール、バドミントン、野球、ソフトテニス、卓球	月16回程度	同上	1年生12人 2年生30人	令和6年6月～令和7年3月	広尾中学校	7人	8人(内、兼務7人)	0円	部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- モデル校4校内合同練習会
 - ・野球部（代々木・原宿外苑・広尾・松濤）
 - ・陸上部（代々木・原宿外苑・松濤）

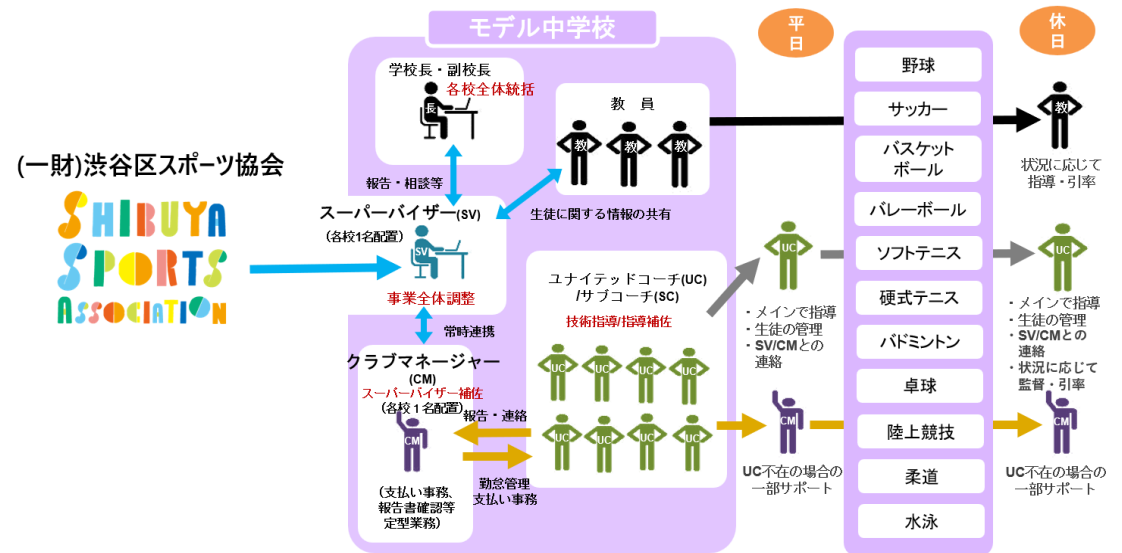
2.実証内容と成果

主な取組例

●原宿外苑中学校 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー、陸上、女子バレーボール、軟式野球、男子バスケットボール、女子バスケットボール、ソフトテニス、卓球
運営団体名	一般財団法人渋谷区スポーツ協会
期間と日数	令和6年4月～令和7年3月 (月16回程度)
指導者の主な属性	運営事業者契約コーチ
活動場所	原宿外苑中学校
主な移動手段	徒歩
1人あたりの参加会費等(年額)	会費なし
1人あたりの保険料	災害共済給付(日本スポーツ振興センター) 生徒1人あたり: 460円/年 東京海上日動火災保険 指導者1人あたり: 7,060円/年

●運営体制図



●指導者や運営スタッフなどの役割分担

- スーパーバイザー (SV) 1名
役割: 事業全体調整役。学校長などへの報告・相談及び情報共有を行う。
- クラブマネージャー (CM) 1名
役割: SV補佐役。UCの勤怠管理や定型業務を行うとともにUC不在時の一部サポートに入る。
- ユニテッドコーチ (UC)・サブコーチ (SC) 10名
役割: 技術指導者。生徒管理や必要に応じて監督、引率を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

- イ：指導者の質の保障・量の確保
- ウ：関係団体・分野との連携強化
- エ：面的・広域的な取組

- オ：内容の充実
- カ：参加費用負担の支援等
- キ：学校施設の活用等
- ク：その他の取組



取組内容

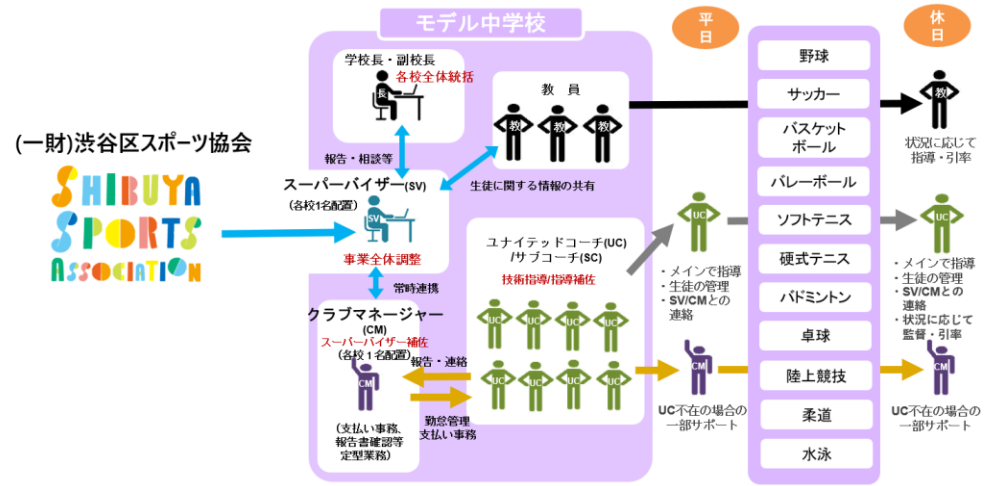
●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

一般財団法人渋谷区スポーツ協会（旧・一般社団法人渋谷ユナイテッド）が中心となり、既存の体制に配慮しながら、区・学校・指導現場と緊密に連携できるよう、全体をマネジメントするコーディネーターを配置する。運営体制を整備し、持続可能なスキームを確立する。

取組の成果

既存運動運動部活動の地域移行を推進する、「部活動地域連携モデル校」の取組を令和5年度から開始。渋谷区スポーツ協会がスーパーバイザー、クラブマネージャー、ユナイテッドコーチを配置し、平日・休日における運動部活動が円滑に、かつ安全に実施できるように支援を行う。教員の負担を軽減するとともに、各競技において専門的な指導者を配置することで、生徒の技術向上など、充実した活動を促進させる。



コーディネーターの具体的な動きの実績

【スーパーバイザー】

総括業務、研修会等の実施

【クラブマネージャー】

スーパーバイザー補佐業務、ユナイテッドコーチの事務業務フォロー

今後の課題と対応方針

- 顧問教員の負担軽減となるよう、適切な人材を確保し、生徒が安心・安全に活動できる環境を整備していく必要がある。
- 関係者間でのコミュニケーションを密にし、円滑な事業運営に努めていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

一般財団法人渋谷区スポーツ協会が中心となり、質の高い指導者を適切な規模で確保した。指導者は、各種目の専門知識および指導経験を持った人材を採用し、加えて、指導者に向けた研修などを適宜実施した。

指導者属性

運営事業者が契約している人材、または現場に適した人材を適宜発掘し、指導している。

種目

バレーボール、バスケットボール、野球、サッカー、硬式テニス、ソフトテニス、陸上、水泳、剣道、卓球、バドミントン

資格有無

採用時に有資格は求めていないが、各種目の専門知識及び指導経験のある人材を採用した。

取組の成果

安心して部活動に取り組んでもらえるように、各中学校生徒及び保護者に向けて各部活動のユナイテッドコーチリストを配布した。氏名、顔写真、競技歴、指導歴、保護者・生徒の皆様へ一言を記載している。

【代々木中学校プロフィール資料】

代々木中学校 ユナイテッドコーチ	
水泳部	<p>氏名 藤原 悠斗(2016)</p> <p>資格 水泳 1級</p> <p>指導歴 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督</p> <p>指導者としての経験 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督として、生徒の指導に当たりました。</p>
バレーボール部	<p>氏名 藤原 悠斗(2016)</p> <p>資格 水泳 1級</p> <p>指導歴 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督</p> <p>指導者としての経験 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督として、生徒の指導に当たりました。</p>
サッカー部	<p>氏名 藤原 悠斗(2016)</p> <p>資格 水泳 1級</p> <p>指導歴 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督</p> <p>指導者としての経験 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督として、生徒の指導に当たりました。</p>
硬式テニス部	<p>氏名 藤原 悠斗(2016)</p> <p>資格 水泳 1級</p> <p>指導歴 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督</p> <p>指導者としての経験 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督として、生徒の指導に当たりました。</p>
ソフトテニス部	<p>氏名 藤原 悠斗(2016)</p> <p>資格 水泳 1級</p> <p>指導歴 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督</p> <p>指導者としての経験 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督として、生徒の指導に当たりました。</p>
卓球部	<p>氏名 藤原 悠斗(2016)</p> <p>資格 水泳 1級</p> <p>指導歴 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督</p> <p>指導者としての経験 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督として、生徒の指導に当たりました。</p>

代々木中学校 ユナイテッドコーチ	
バレーボール部	<p>氏名 藤原 悠斗(2016)</p> <p>資格 水泳 1級</p> <p>指導歴 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督</p> <p>指導者としての経験 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督として、生徒の指導に当たりました。</p>
バスケットボール部	<p>氏名 藤原 悠斗(2016)</p> <p>資格 水泳 1級</p> <p>指導歴 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督</p> <p>指導者としての経験 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督として、生徒の指導に当たりました。</p>
野球部	<p>氏名 藤原 悠斗(2016)</p> <p>資格 水泳 1級</p> <p>指導歴 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督</p> <p>指導者としての経験 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督として、生徒の指導に当たりました。</p>
サッカー部	<p>氏名 藤原 悠斗(2016)</p> <p>資格 水泳 1級</p> <p>指導歴 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督</p> <p>指導者としての経験 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督として、生徒の指導に当たりました。</p>
硬式テニス部	<p>氏名 藤原 悠斗(2016)</p> <p>資格 水泳 1級</p> <p>指導歴 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督</p> <p>指導者としての経験 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督として、生徒の指導に当たりました。</p>
ソフトテニス部	<p>氏名 藤原 悠斗(2016)</p> <p>資格 水泳 1級</p> <p>指導歴 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督</p> <p>指導者としての経験 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督として、生徒の指導に当たりました。</p>
卓球部	<p>氏名 藤原 悠斗(2016)</p> <p>資格 水泳 1級</p> <p>指導歴 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督</p> <p>指導者としての経験 2016-2017 代々木中学校 水泳部 監督として、生徒の指導に当たりました。</p>

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者講習会の内容

- ・「クラブ部活動のガイドライン」※の説明
- ・生徒が主体的に活動するための基礎知識
- ・指導者に求めるコンピテンシーと自己評価の方法

※…渋谷区スポーツ協会が独自で作成した、指導の在り方や安全管理等を記した冊子。部活動地域移行推進モデル校、ユナイテッドクラブ、スポーツ協会等関係団体・指導者に配布し、統一された認識の元で徹底した安全管理を行う。



【指導者講習会風景】

指導者講習会の参加実績

- ・開催日： ①5月16日 ②5月24日
- ・開催回数： 2回
- ・参加人数： ①19人 ②18人
※後日アーカイブ配信 ①10人②47人

受講者の声

- ・指導をしているとどうしても勝たせることが優先になってしまうが、今日の研修を受講し、練習計画を見直し、子どもの成長に合わせつつ、勝つ喜びだけでなく、「遊び」や「コミュニティづくり」を意識しながら、競技力を上げていきたいと考えなおす良いきっかけとなった。
- ・自分の指導力を見直す良いきっかけとなった。JSPOが指導者向けの動画があるのは知っていたが見ていなかったので視聴し、渋谷ユナイテッドのガイドラインに沿った指導方法を目指していきたい。
- ・海外の事例もあり、勉強になった。ライフステージに合わせた指導を目指し、焦らず時間をかけて指導できればと思う。

今後の課題と対応方針

- 顧問教員の負担軽減となるよう、既存体制にも配慮しつつ、指導者の確保をしていく必要がある。
- 指導者向けの研修会を定期的で開催するとともに、生徒向けに実施したアンケート結果を活用し、リアルな生徒の声を反映した指導を展開できるようにする必要がある。
- より質の高い指導者を配置していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

部活動改革を推進するため、渋谷区が設立した「渋谷ユナイテッド」と、区内で70年以上の歴史を持つ「渋谷区体育協会」が合併し、令和6年度から『渋谷区スポーツ協会』が発足。当協会が中心となり、既存の体制に配慮しながら、区・学校・現場と緊密に連携を図ってきた。そして、関係者が一堂に会し、状況や課題を共有する定例打合せを実施した。

取組の成果

■定例会

学びとスポーツ課、教育指導課、渋谷区スポーツ協会の三者で定期的に打合せを行い、時機を逸することなく課題を共有し、課題解決に向けた方向性のすり合わせなどを行った。

・実施頻度 令和6年4月～令和7年3月（予定） 週1回

・出席者 学びとスポーツ課、教育指導課、渋谷区スポーツ協会

■連絡会

質の高い指導者の確保・育成を目指すとともに、日々安全な運営が行える体制を構築するために部活動現場レベルの課題共有や対応案の検討を行った。

・実施頻度 令和6年4月～令和7年3月（予定） 月1～2回

・出席者 学びとスポーツ課、教育指導課、渋谷区スポーツ協会、モデル校関係者



今後の課題と対応方針

- 顧問教員の負担軽減となるよう、指導者の確保を関係者と緊密に連携しながら行っていく必要がある。
- 関係者が一同に会し、現状や課題を共有できる場を定期的に行っていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組

取組事項

中学校部活動の地域化を加速させるために、令和5年度から実施している区立中学校の既存運動部活動の地域移行を推進するモデル校を拡充し、課題の抽出や課題解決策の検討を行った。

【モデル校の推移】

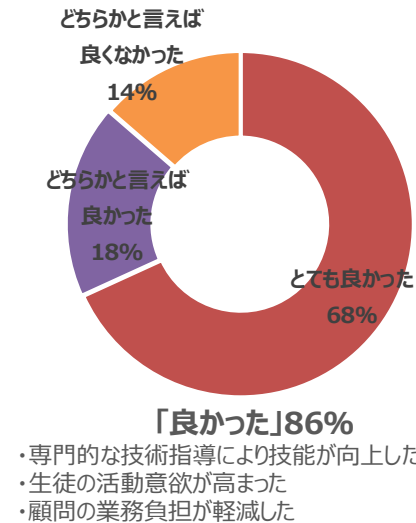
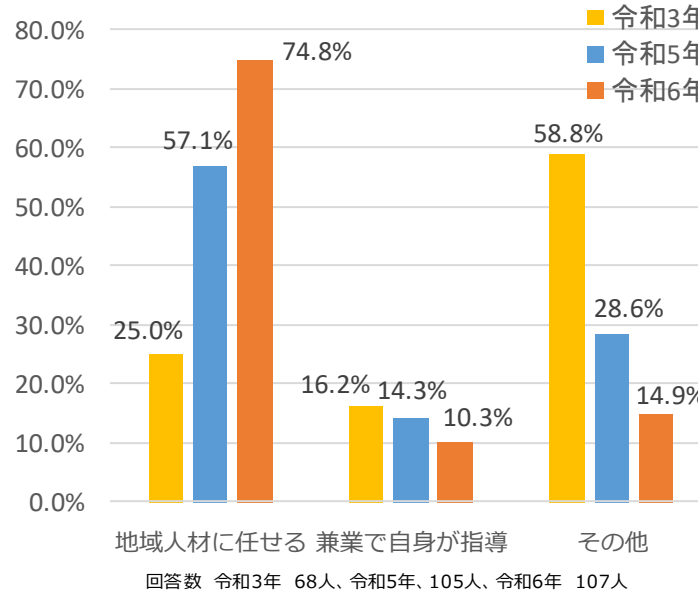
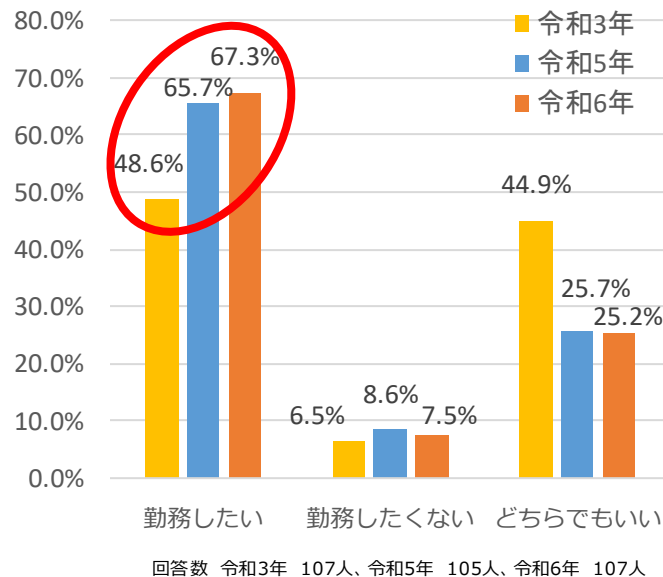
令和5年度 2校

令和6年度 4校(令和5年度2校+新規2校)

取組の成果

・教員向けのアンケートでは、「部活動の顧問をしない学校に勤務したい」と回答する教員は年々増加傾向にある。また、指導の担い手として「地域人材に任せる」と回答する教員が、74.8%まで上昇しており、地域移行に対するポジティブな意識が高まっていると思われる。

・部活動改革を実施しているモデル校への教員アンケートでは、ユナイテッドコーチを配置したことに対して86%が「良かった」と回答している。



総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

・新たに、モデル校としての運営を開始する学校にあたっては、各部活動顧問への課題の聞き取りや生徒の状況報告など、スーパーバイザーやクラブマネージャー、ユナイテッドコーチとの情報共有を学校側と行った。その中で、ユナイテッドコーチと生徒との意識疎通が図れなかったことや指導方法に不満があったことなど、いくつか課題は出てきたが、その都度、スーパーバイザーやクラブマネージャーが生徒や保護者の要求に真摯に向き合ってくれたことで、課題解決に繋がってきている。

・専門性の高いユナイテッドコーチの配置により、生徒の技術力や活動への満足感、保護者の安心感などが確実に向上している。特に生徒の技術力については、大会での好成績を残すなど顕著な成果が見られている。

●成果の評価

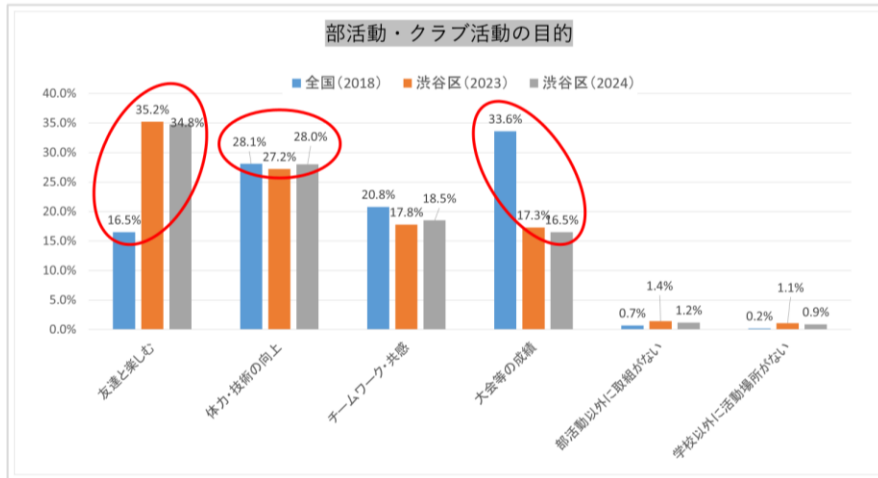
- ・部活動の指導をユナイテッドコーチに任せることで、教員は授業の準備や校務分掌、生活指導等の業務に専念できるようになり、負担軽減につながった。
- ・ユナイテッドコーチが専門的な指導者のため、生徒は質の高い指導を受けれるようになった。
- ・マネジメント業務を担うクラブマネージャーとスーパーバイザーが配置されたことで役割分担が明確になり、ユナイテッドコーチは指導に専念できるようになった。
- ・クラブマネージャーが、学校管理職、顧問との連絡調整役を担い、現場の課題解決を考え、実行することによって、円滑な部活動運営につながった。
- ・スーパーバイザーが、区やスポーツ協会が統一した方針をクラブマネージャー等を通じて各学校に伝達し、また、各モデル推進校の課題や成果を把握・共有することで、種目間、学校間の横連携を図ることにつながった。

●今後に向けて

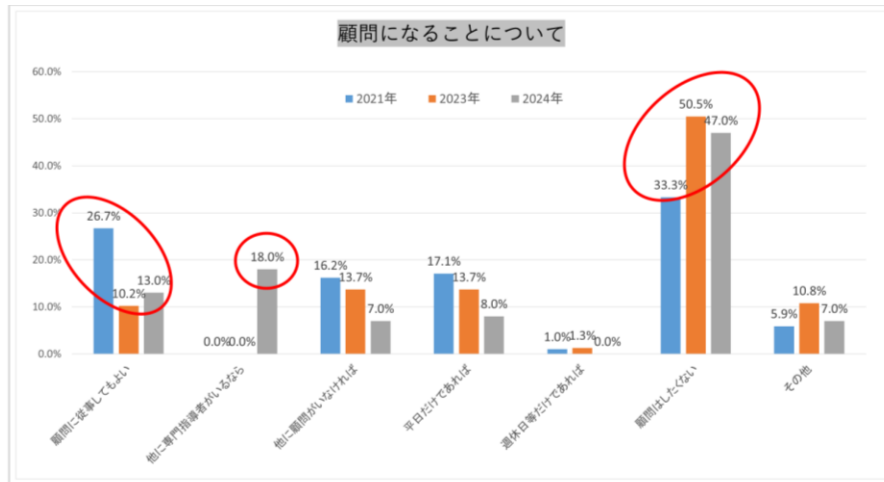
- ・令和6年度は、モデル校として4校の実施をしてきたが、令和7年度はさらにもう2校を加え、部活動改革プロジェクトを推進していく。
- ・生徒向けの意識調査から、部活動の目的として「友達と楽しみたい」と考えている生徒が多いことが分かったため、生徒が友達とやってみたい部活動のできる場を更に広げていく。一方で、競技力向上を部活動の目的にしている生徒もいることから、志向性の違い、複数種目の兼部、他校との合同部活動による種目の増加なども検討していく。

アンケート結果

●アンケート結果



区立中学校生徒対象のアンケート



区立中学校教員対象のアンケート

●自由意見

中学1、2年生

- ・練習時間や練習日を増やしてほしい。
- ・コーチの指導がよくてとてもいい。
- ・部員を増やしたい。
- ・部活の種類を増やしてほしい。
- ・楽しく活動したい。
- ・合同部活動や地域クラブではなくて、今まで通り自分たちの学校の人で自分たちの学校でやりたい
- ・学校にない部活動を作ってほしい。
- ・やりたい部活動がない。

教員

- ・地域移行を進めてほしい。(文化部も含めて)
- ・学校と地域が連携して部活動を実施できれば良い
- ・指導経験のない部活動は負担が大きい。
- ・生徒理解や生活指導の一環として教員が部活動を指導することは大きな意義がある。教員も負担を押さえた形で部活動と何らかのかかわりを持つべき。

広報資料

令和6年8月29日

令和6年度『部活動地域移行推進モデル校合同練習会』 開催概要

(1) 合同練習会の概要・目的

【概要】

令和6年度後半から2か月に1回程度、今年度の部活動地域移行推進モデル校（以下モデル校）を対象に、各学校を会場とした合同練習会を行う。

【目的】

- ①各校建て替え後の合同練習の可能性を見据え、他校へ移動して練習をするトライアル検証
- ②ユナイテッドコーチ（UC）同士の連携を図り、各コーチの得意分野指導方法を互いに共有することで、質を上げた指導につなげる
- ③モデル校の生徒同士の交流、多彩な経験の機会を提供する
- ④渋谷区スポーツ協会設立により、加盟競技団体（ジュニア育成事業等）と中学校部活動の連携および一貫指導体制づくりへのきっかけとする

(2) 対象の部活と選定理由

- ①野球部・各校の部員数が少なく単独では試合形式練習などが難しいため
対象学校・代々木中、原宿外苑中、広尾中、松濤中
- ②陸上部・昨年の合同練習会で生徒から評判がよかったため
対象学校・代々木中、原宿外苑中、松濤中

(3) 野球部について

読売巨人軍（以下、ジャイアンツ）と渋谷区スポーツ協会における連携により、野球部の合同練習会へジャイアンツアカデミーコーチ（元プロ野球選手等）を指導者として2回派遣いただく予定です。

(4) 実施概要

項目	【野球部】	【陸上部】
開催回数	全3回（10月、12月、2月） ※10月、12月はジャイアンツアカデミーコーチによる指導	全3回（11月、1月、3月） ※11月はコアプログラム（体力測定） コアプログラムについては下欄（5）参照
開催日時	①10月5日（土） 9:00～12:00 ②12月14日（土） 9:00～12:00 ③2月開催については調整中	①11月17日（日） 9:00～12:00（予定） ②1月開催については調整中 ③3月開催については調整中
実施会場	全3回ともに代々木中学校グラウンド（雨天時は体育館）	11月 渋谷区スポーツセンター大体育館 1月・3月 原宿外苑中学校グラウンド（雨天時は体育館）
実施内容メニュー	10月、12月 ジャイアンツアカデミーコーチとUCでメニューを調整 2月 UCが練習メニューを検討中	11月 コアプログラム 1月、3月 UCが練習メニューを検討中
実施会場への移動手段等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒引率はUCが行います ・基本は現地集合現地解散とし、事前にUCから各部顧問に参加引率の承諾をいただき実施します。 ・移動手段として自転車は不可とさせていただき、来年度以降は要検討といたします。 ・生徒の移動は各自自費でお願いします。 	
保護者の見学について	見学いただけます。但し、写真・動画撮影については、私的利用の範囲に留め、かつ肖像権に配慮いただきますようお願いいたします。また、ジャイアンツアカデミーコーチの撮影は許可を得ておりますが、撮影された画像（動画含む）の商業利用を目的としたご使用・掲載はお控えください。	
その他	各回合同練習会の様子を、写真並びに動画撮影する場合がございます。その際に、指導者だけでなく参加者全体が映り込む場合があります。それらは、渋谷区スポーツ協会におけるの記録および広報目的として使用し、渋谷区への活動報告やHP上にて掲載される場合がございます。掲載をご希望されない場合は、事前にユナイテッドコーチにお申し付けください。	

(5) コアプログラムについて

「コアプログラム」とは、学校の体力測定とはちよつと違う、最新のマシンを使用したゲーム感覚の運動能力チェックです。スピード、パワー、アジリティ（俊敏性）、反応速度など、生徒の特徴を知って、陸上競技の様々な種目のスキルアップやトレーニング方法に役立てるのはもちろん、特に成長期に大事なケガ予防にも活かせる大切なデータを手に入れることができます。

以上

【保護者向け合同練習会案内】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【陸上部合同練習会練習風景】

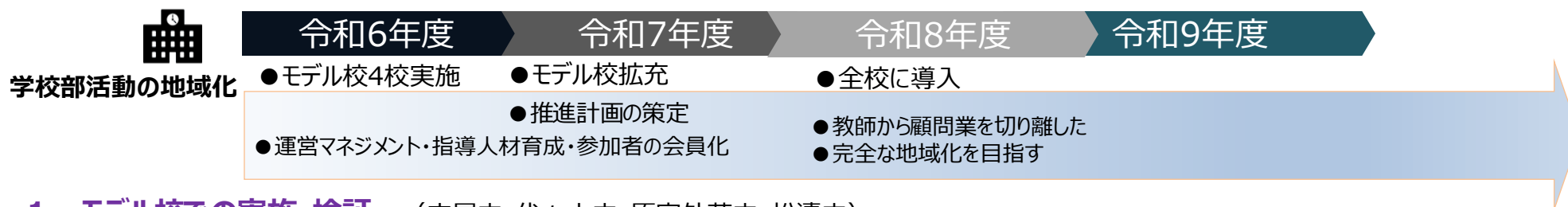


【広尾中学校ソフトテニス部練習風景】



【野球部合同練習会練習風景】

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



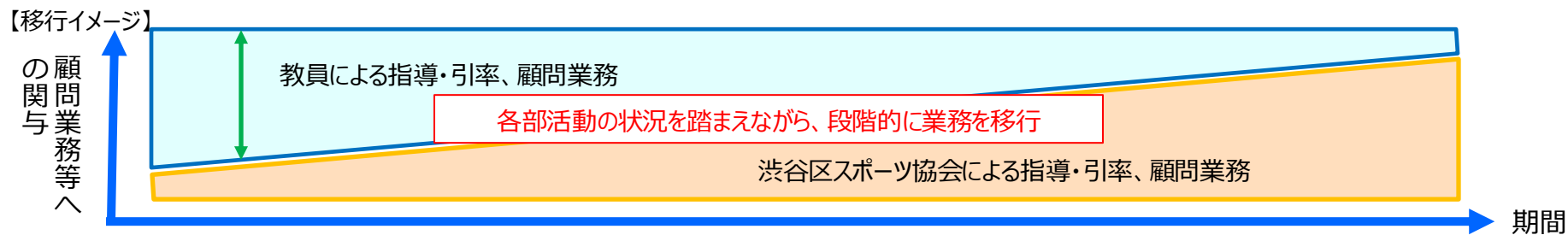
1. モデル校での実施・検証 (広尾中・代々木中・原宿外苑中・松濤中)

R6年度はモデル校2校を加え、区立中学校8校のうち4校で効果検証事業を実施。各校には(一財)渋谷区スポーツ協会がスーパーバイザー、クラブマネージャー、ユナイテッドコーチ/サブコーチを配置し、平日・休日における運動部活動が円滑に、かつ安全に実施されるよう支援を行う。

モデル校に配置	主な業務内容
スーパーバイザー (総括責任者)	総括業務、研修会等の実施 等
クラブマネージャー	スーパーバイザー補佐業務、ユナイテッドコーチの事務業務フォロー 等
ユナイテッドコーチ/サブコーチ	専門技術指導及び競技大会引率、顧問業務 等

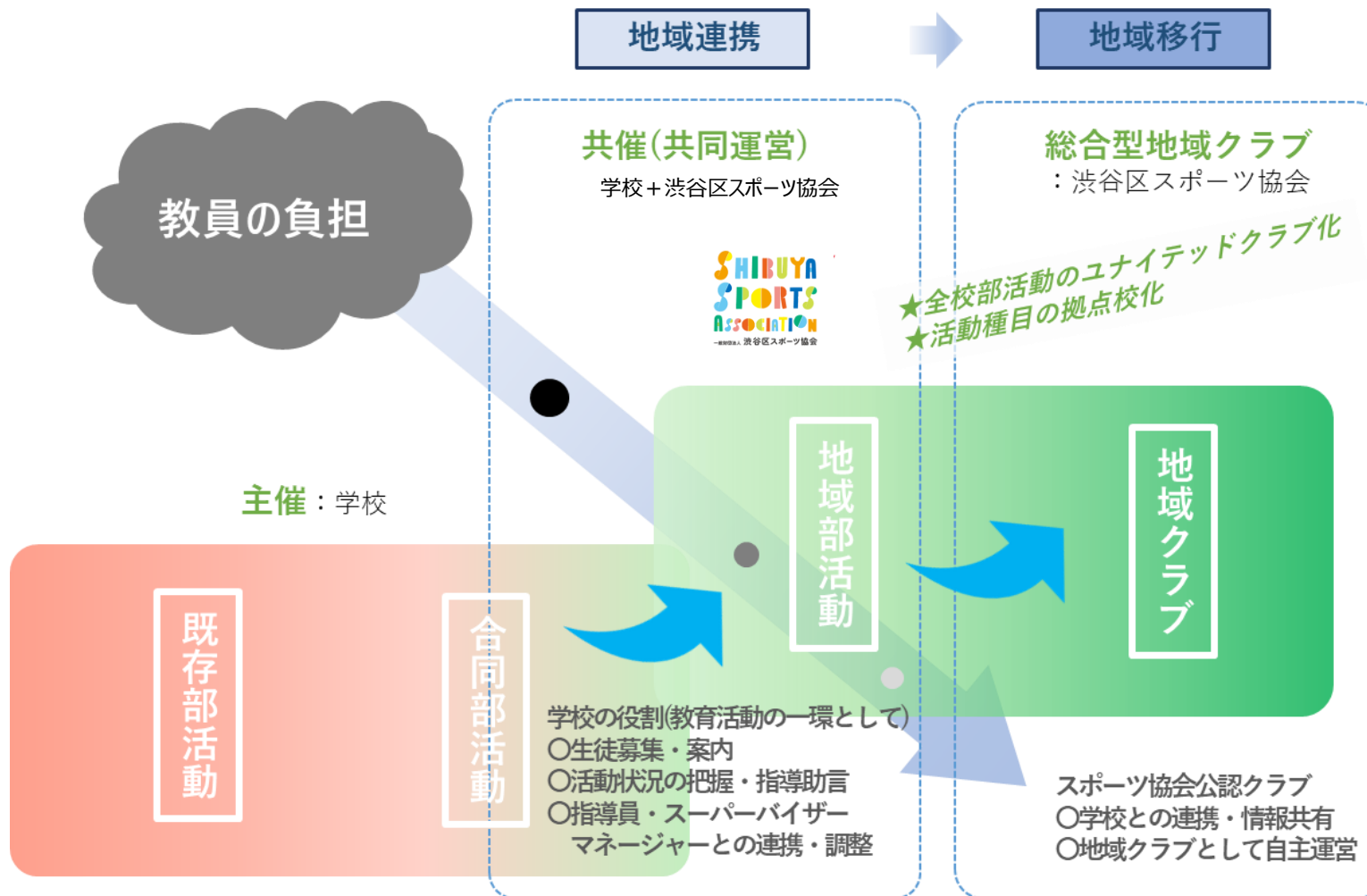
2. 地域移行を検証する上でのポイント

- (1) 生徒に混乱が生じないよう、ユナイテッドコーチが大会において監督・引率を行えるよう関係各所と調整を行う。
- (2) 質の高い指導者を確保・配置するとともに、生徒が安心・安全に活動できる環境を整備する。
- (3) 行政・学校・(一財)渋谷区スポーツ協会でのコミュニケーションを密にし、円滑な事業運営に努める。



3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

東京都中野区

自治体名：東京都中野区

担当課名：指導室

電話番号：03-3228-5545

1.自治体の基本情報

基本情報

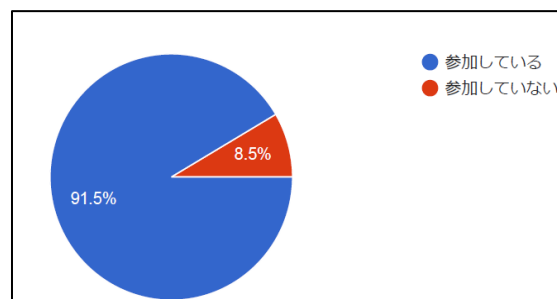
面積	15.59km ²
人口	341,440人
公立中学校数	9校
公立中学校生徒数	3,626人
部活動数	111部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	有
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	有

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

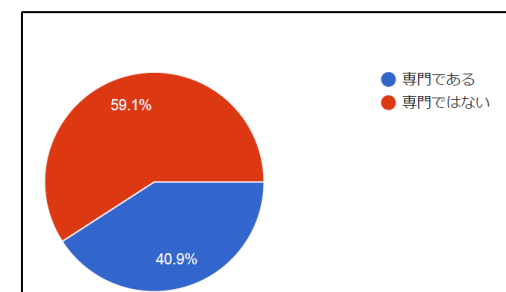
令和6年度には運動部活動が66部、文化部活動が45部が区内にあり、学校部活動に90%以上の生徒が参加している。一方で地域にも野球等のクラブチームが多数存在し多くの生徒が所属している。そのため学校単独でチーム編成ができず、複数の学校が合同で練習や試合を行うことが増えている。また、専門的な指導ができる教員がいないため、生徒が希望する部を存続・設置できない学校が散見される。今後、生徒が希望するスポーツや文化芸術活動に取り組み、専門的な指導が受けられる体制を整えることが望まれている。

また、教員の本務である教材研究や生活指導等の時間を確保するためには、部活動指導や運営に関わる負担を軽減する必要がある。さらに今日において、教育等に関わる課題が複雑化・多様化し、学校や教員だけでは解決することができない課題が増えている。そうした課題に対応しながら、部活動を従前と同様の運営体制で行っていくことは難しくなっており、部活動の在り方に関し、合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進に向けた改革に取り組む必要がある。

現在、部活動に参加している生徒の割合※



担当している部活動が専門の種目や分野である教員の割合※

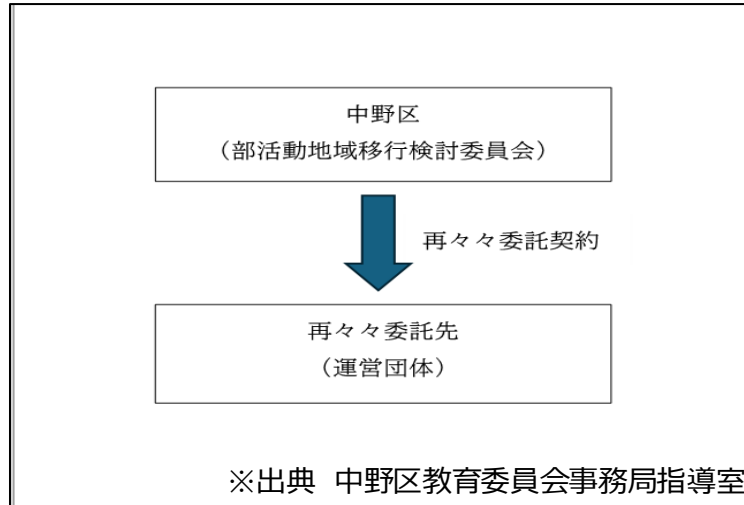


※出典 中野区教育委員会事務局指導室

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・部活動地域移行の計画策定・推進
- ・学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドラインの策定

◎首長部局

- ・活動場所の管理・運営、確保、優先利用等の調整
- ・中野区体育協会など地域の関係団体との連携
- ・地域スポーツクラブ活動の取組を生かし、将来にわたり生徒がスポーツや文化芸術に継続して親しむことができる機会の確保・環境の整備

年間の事業スケジュール

令和6年4月	・部活動地域移行参加希望者の区立中学校向け需要数調査 ・部活動実施計画及び指導計画の策定
令和6年5月	・部活動地域移行参加希望者の保護者説明会及び募集
令和6年7月	・部活動地域移行モデル事業実施 ・第1回部活動地域移行検討委員会
令和6年8月	・部活動地域移行モデル事業実施
令和6年9月	・部活動地域移行モデル事業実施 ・第2回部活動地域移行検討委員会 ・第3回部活動地域移行検討委員会
令和6年10月	・部活動地域移行モデル事業実施
令和6年11月	・部活動地域移行モデル事業実施
令和6年12月	・発表会開催

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	9校	実施した地域クラブ総数	1クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		0クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		1クラブ
全体の指導者数	3人	全体の運営スタッフ数	1人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
ダンスクラブ	民間事業者	ダンス（新）	全8回	9時～17時 (内2時間)	中1：10名 中2：12名 中3：6名	7月～12月	区内スポーツ・コミュニティプラザ3か所	3人	1人	なし	なし

③その他、体験会やイベント等の開催実績

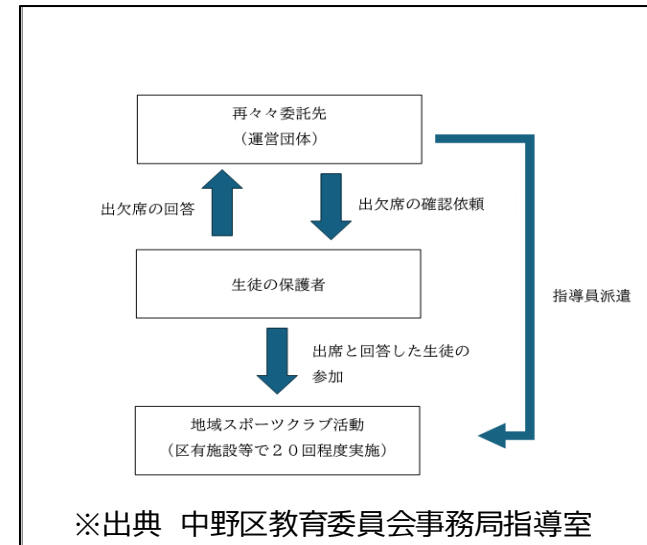
- 各区内スポーツ・コミュニティプラザに所属する生徒たちによる合同発表会を12月に実施した。

主な取組例

●ダンスクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ダンス
運営団体名	株式会社東京アスレティッククラブ
期間と日数	6月～12月 月2回程度
指導者の主な属性	インストラクター
活動場所	区内スポーツ・コミュニティプラザ3か所
主な移動手段	徒歩、自転車
1人あたりの参加会費等(年額)	なし
1人あたりの保険料	賠償責任保険 生徒1人あたり：105円/年 団体総合補償保険 生徒1人あたり：268円/年

●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者 1名

役割：中野区及び学校との連絡調整、部活動指導員の統括、年間指導計画の作成・提出、部活動指導計画書の確認・取りまとめ・提出、大会等への参加に伴う事務、活動中止の判断、活動中の事件・事故への対応及び報告等

●指導者 3名

役割：部活動の指導、事件・事故への初期対応及び報告、責任者及び他部活動指導員との連絡調整、部活動指導計画書の作成

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

委託事業者が統括責任者を1名し、生徒等の地域スポーツクラブ活動の開催等の連絡・出欠席の調整を行う。また、指導員を派遣し、指導にあたらせる。懸念事項や改善事項を行政に報告し、部活動地域移行検討委員会（中野区の部活動地域移行の計画策定等を実施）にフィードバックし、次年度以降の運営に活用していく。

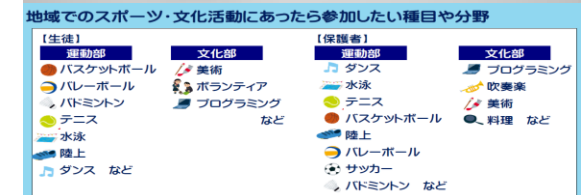
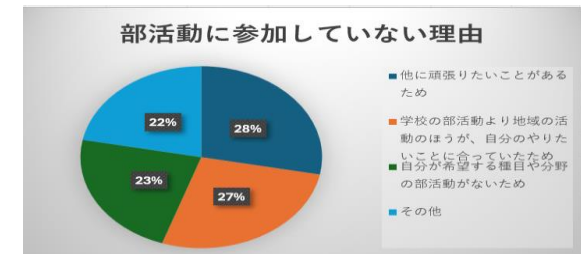
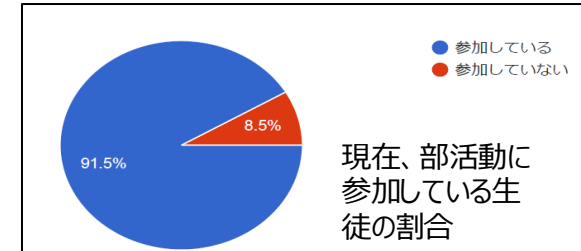
取組の成果

中野区立中学校在籍の生徒、保護者にアンケートを実施したところ、生徒1,036名、保護者416名から回答があった。

回答があった生徒の中で88名が部活動に参加しておらず、その理由として26名が自分が希望する種目や分野の部活動がないと回答していた。その中で作ってほしい部活動として、生徒19名、保護者24名がダンスを希望していた。

そういった生徒や保護者の意見を生かしてダンス部を立ち上げ、全9中学校から計28名が参加するなど、生徒・保護者の意見を生かした新たな活動の選択肢を提供することができた。

また、委託業者に統括してもらうことで、行政主導地域クラブ活動として部員の募集、運営、指導、発表までの部活動としての一連の流れを、教員が関わることなく運営することができた。



※出典 中野区教育委員会事務局指導室

コーディネーターの具体的な動きの実績

- 適切な指導員を確保・派遣し、指導にあたらせることができた。
- 地域スポーツクラブの会場の確保のための連絡・調整を行った。
- 生徒への連絡・当日の出欠席の管理を行った。
- 報告書を作成し、活動内容や活動の様子を毎週行政に報告した。
- 生徒のニーズを聞き取り、次年度以降の運営に生かした。

今後の課題と対応方針

- 生徒のニーズに応じたジャンルのダンス指導者の確保のため、地域のダンスクラブ等との連携も検討していく。
- 安定した場所の確保のため、今年度は地域のスポーツコミュニティプラザで実施したが、学校での活動も検討していく。
- 生徒への効率的な連絡手段の確保するため、アプリの導入を進める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

当該委託契約に指導経験の有無を指導員の要件としてあげ、指導経験豊富な指導員が派遣されている。また、指導方法やメンタルヘルスケア等の研修を委託業者の側で受講させることも定めており、指導者の質の保障・量が確保されている。

種目	資格有無
ダンス部	あり

取組の成果

地域のスポーツクラブに指導者の確保を依頼した。人材の確保については、すでに委託先のスポーツクラブでダンスを教えているインストラクターを募集し、中学生に向けたティーチングを実践できる人材が派遣された。また、当該スポーツクラブと人材派遣契約を結んでいる一般社団法人からの紹介で、ダンスのティーチングに実績のあるインストラクターが派遣され、中野区の部活動地域移行に従事いただいた。

また、委託契約の中で研修の実施を盛り込んでいることから、メンタルヘルスケアや中学生向けのティーチングについて、委託事業者から各インストラクターにあらためて研修を実施してもらうことで、インストラクターの質の向上にも寄与できた。

このようにして、中学生への指導経験が豊富な質の高い指導者を、人材バンク等に頼らずに確保することができた。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

委託業者にて下記を指導員に実施。

- ・基礎・専門研修：部活動の指導者としての基礎的知識及び生徒への指導のためのノウハウの習得。
- ・専門研修（専門科目）：種目別の指導方法の習得。
- ・自然災害への対応：防災準備や災害発生時の対応についてのノウハウの習得。
- ・けが防止、救急救命・救護：部活動中の受傷事故防止及び救命処置等に関する知識の習得
- ・防犯：平時における、校内外での生徒の安全確保についての知識の習得
- ・コンプライアンス・ハラスメント：生徒・保護者らとの適切な関係構築、体罰防止等に関する知識の習得
- ・メンタルヘルスケア：生徒の心の変化、精神面への対応、いじめ防止等に関するノウハウの習得
- ・個人情報保護：個人情報の適切な管理についての知識の習得

指導者研修の参加実績

- ・開催日：6月19日
- ・開催回数：1回
- ・参加人数：7人

事業概要、休日部活動の経緯（スポーツ庁ガイドラインより）、中野区の目的等方針、業務内容、スケジュールの確認、報告連絡体制、安全管理、その他部活動における相互確認事項

受講者の声

- ・大変わかりやすい。
- ・指導のノウハウが分かり、より指導がやりやすくなった。

今後の課題と対応方針

令和6年度に事業を実施した経験を踏まえて、より部活動地域移行に即した研修を展開できるよう、内容を充実させていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

中野区内の関係団体との連携を強化して、スポーツ少年団や地域の競技団体と協力できる体制をつくる。

取組の成果

令和7年度に向けて当区に活動基盤を持つダンスグループの指導も委託事業者経由で依頼できるようになった。部活動地域移行の委託を推進するにあたり、他の部活動に対象を拡充しても、地域に根差したスポーツクラブや関係団体へアプローチし、質の高い指導員を確保できる実績ができた。

ダンスグループの参加で部活動で教えられるダンスの幅が広がり、より子供たちが率先して参加できる魅力ある部活動地域移行事業に体制を整えられた。

このようにして、委託事業者のみならず、地域の人材や団体を活用し、部活動地域移行を推進できる土壌が養われた。

バス等の運行実績

なし

今後の課題と対応方針

ダンスグループの傘下により、参加人数の増加が見込まれるため、より広い活動場所の確保が求められる。そのため、活動場所を確保するために、区長部局と調整するなどして、地域資源をより活用していく必要がある

ダンスグループの指導方法の策定やより部活動の指導を充実させていく方針を決めていく。また、その策定された指導方法が、子どもたちのニーズに即したものを判断していく必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

区立中学校だけでなく、区内私立中学校との合同部活動の実施について検討している。

各自治体の役割

ステークホルダーとの連絡調整及び実施内容の策定

移動手段

自転車及び徒歩を想定している。

事務局運営の方法

自治体主導のうえ、区立中学校の管理職等と運営していく。

取組の成果

来年度に実施する部活動地域移行事業について、区立中学校だけでなく、私立中学校の施設や設備も活用できないか検討している。

また、区有施設の利用ができないか区長部局とも調整し、より広い活動場所の確保を検討している。

今後の課題と対応方針

実際に、私立中学校の設備等を活用できるかを調整していく必要がある。相手方管理職との折衝を重ねていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

令和6年度はダンス部の練習を区有施設3か所で実施し、その成果を披露することを目的に、合同発表会も実施した。

活動の詳細			
参加人数	28人	指導者数	3人
属性	インストラクター		
具体的な内容	令和6年度はダンス部の練習を区有施設3か所で8回ずつ（計24回）実施し、合同発表会を1回実施した。		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> ● 今まで学校になったダンス部ができてうれしい。 ● いろいろな学校の生徒と一緒にできるのは楽しい。 ● 専門的な先生に教えてもらえるのがいい。 ● もっと違うジャンルのダンスも取り組みたい。 		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校に負担なく進めてもらったのでよかった。 ● 活動費を区が負担してくれたので、一般的な部活動と同じく参加しやすかった。 ● 他の部活動でも地域展開を進めてほしい。 ● 来年度はもっと回数を増やして、発表会なども設定して生徒が他の部活動と同じように参加できるようにしてほしい。 		
運営経費	委託費 1,080,442円		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

参加している生徒に聞き取りを行ったところ、今回のダンスクラブの活動に満足している生徒がほとんどであった。発表会も委託業者の施設で行えたことで、充実感や達成感を味わうことができた。

一方、ほとんどの生徒がもっと活動日数を増やしてほしい、約半分の生徒から違うジャンルのダンスを練習したいという声があったため、次年度に向けて改善していく。

今後の課題と対応方針

生徒の技術向上には回数が多いという課題が判明した。令和7年度は区内2エリアにある区有施設で20回ずつ（全40回）実施し、発表会を2回開催する。また、発表会の開催は生徒が一堂に集まる文化発表会等で開催することを想定し、生徒がより練習に打ち込める環境を整えていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

令和6年度について、モデル事業を実施しているということから、参加費用負担はない。

地域クラブに係る経費

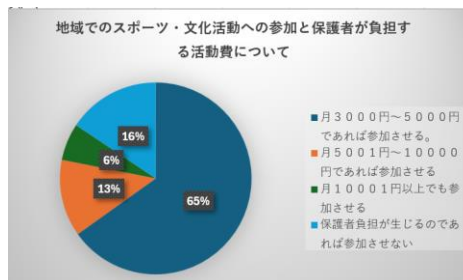
■イニシャルコストの分析

委託費の中に、保険料を含めており、地域移行に係る契約締結から後部活動開始前に保険契約を締結する必要がある。

■ランニングコストの分析

委託費の中に、指導員報酬及び統括責任者報酬が含まれており、部活動完了ごとに指導員報酬を支払っている。

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

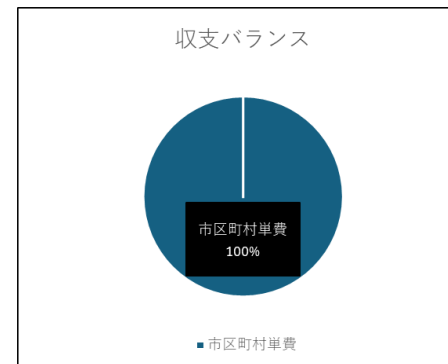


※出典 中野区教育委員会事務局 指導室

保護者アンケートでは月3,000円～5,000円であれば参加させるという回答が多く、約65%だった。

一方、今回の規模であってもすべてを受益者負担とすると一人当たり約35,000円となり、大きな負担をお願いすることになるため、課題が大きい。

収支バランス



※出典 中野区教育委員会事務局 指導室

令和6年度は、中野区が全額負担しており、参加者の費用負担はない。そのため、収入はなく、支出で市区町村単費が100%となっている。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

今回はすべての参加費用を区が負担した。そのため、生徒・保護者は移動に関わる費用のみで参加することができたため、多くの参加者が集まった。

今後の課題と対応方針

指導員報酬が無料である学校部活動と異なり、行政主導地域クラブ活動では指導員報酬及び統括責任者報酬を支払う必要がある。また、保険についても別途加入するなど、今回の中野区ダンスクラブのモデル実施を通して、どれぐらいの費用がかかることが明確になった。

今後、学校部活動と行政主導地域クラブ活動、民間地域クラブ活動へ参加する生徒・保護者の負担の差をどう考えていくか、どこまでを支援し、受益者負担を依頼するかが大きな課題である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組

取組事項

平日部活動及び文化部の地域移行の実施を検討している。

取組の成果

令和7年度以降に向けて、平日部活動及び文化部の地域移行の実現可能性を検討した。平日部活動の学校の関わり方やどの文化部を実施するかを議論した。

指導者の属性や配置の工夫

- ・指導者の属性
実施する部活動において資格や指導経験が豊富な指導者
- ・配置の工夫
区内の協議会等地域資源の活用を検討している。

一貫指導に関する部活動顧問との連携事例

特になし。

今後の課題と対応方針

平日部活動を実施するにあたって、学校と部活動の関わり方をどのようにしていくべきか、生徒がやってみたい部活動のニーズを発見し、文化部の地域校を展開していく。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

生徒の要望があったことから、中野区立中学校の部活動にはなかったダンス部を民間委託で実施した。

区内スポーツ・コミュニティプラザにて部活動を開催し、合同発表会を目標に設定したことで、生徒の部活動へのモチベーションを醸成できた。一方で、月1～2回程度の部活動の開催というところで、生徒の技術向上の機会をあまり確保できなかったことは、令和7年度以降の事業実施に向けて改善していく必要がある。また、休日に部活動を開催しているため、元々の部活動の実施回数が少ないことも相まって、生徒のスケジュールとうまく調整できず、参加者が少なくなる事態もあった。こちらについても、部活動の回数を増やすなどして、部活動の参加人数を増やしていくことが求められる。

●成果の評価

区立中学校にないダンス部を創部することで、子供たちのニーズに応えることができた。一方で、事業開始初年度ということもあり、子どもたちが満足いく部活動実施回数を提供できなかったなど、子どもたちの部活動をより良くしていくための改善点があった。また、参加人数もまだ増やせる余地があり、子どもたちが参加したいと思える魅力ある部活動の広報も重要であることを把握できた。

今回の事業実施をもとに、より良いダンス部の活動につなげていきたい。また、今回のノウハウを活かし、他の部活動も実施できるように体制を構築していかなければならない。

●今後に向けて

生徒は楽しそうに練習や合同発表会に参加していたため、区立中学校にない部活動を実施する意義は大いにあったように思える。中野区として、部活動地域移行をより拡充し、生徒たちが参加しやすく、楽しめる部活動の環境整備を実現していく必要がある。

アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

アンケートは実施していないが、参加者や指導者に直接、部活動への感想や振り返りを聴取した。

●参加者の声

中学2年生

いろいろな学校の生徒と一緒に活動できて楽しかった。ただ、ダンスがバレエみたいだったので、もっとヒップホップなどのジャンルのダンスにも挑戦したかった。

中学1年生

学校の部活動にやりたい種目の競技がなかったので、今回、ダンス部ができてやりたいと思って参加した。楽しかったので、年間8回ではなく、もっと回数を増やしてほしい。

指導者等

もっと回数が増えると、生徒たちも部活動のような活動へのモチベーションが上がるので、活動の回数を増やしてほしい。

指導者等

クラブとして目指す目標（中野区文化発表会での発表）を設定できると子どもたちも意欲的に取り組むことができると思う。

アンケート結果・広報資料

中野区における地域連携・地域移行の取組について、ニュースレターを作成し、学校・生徒・保護者に周知を行っていた。

Let's Dance! Newsletter Vol.4

Nakano Dance Club

令和6年度の参加者募集!

休みの日に運動したい。
ダンスにチャレンジしてみたい。
いろいろな学校の子と交流したい。
そんな中学生のためのダンスクラブが
スタートします!

活動場所

鷺宮スポーツ・コミュニティプラザ
中部スポーツ・コミュニティプラザ
南部スポーツ・コミュニティプラザ

申し込みはこちら

<https://forms.gle/EVcmFghPDlbZJbHK8>
▶第一次募集【5月31日(金)まで】

▶一人につき1施設の活動のみ参加可能です。
▶お申し込みをされた方は、可能な限り全8回の参加をお願いします。
▶各施設とも先着の30名までとさせていただきます。
▶活動費・保険料は区で負担します。移動にかかる費用は各自の負担です。
▶お問い合わせ: front@tac-sports.co.jp

鷺宮スポーツ・コミュニティプラザ 15:30~17:30

① 7月15日(月) ② 7月21日(日)
③ 8月12日(月) ④ 8月18日(日)
⑤ 9月16日(月) ⑥ 9月29日(日)
⑦ 10月20日(日) ⑧ 11月4日(月)

中部スポーツ・コミュニティプラザ 11:45~13:45

① 7月6日(土) ② 7月20日(土)
③ 8月24日(土) ④ 9月14日(土)
⑤ 9月28日(土) ⑥ 10月12日(土)
⑦ 11月16日(土) ⑧ 11月23日(土)

南部スポーツ・コミュニティプラザ 9:30~11:30

① 7月21日(日) ② 7月27日(土)
③ 8月24日(土) ④ 9月14日(土)
⑤ 9月28日(土) ⑥ 10月26日(土)
⑦ 11月9日(土) ⑧ 11月30日(土)

【生徒への参加啓発チラシ】

出典:中野区教育委員会事務局指導室

部活動の地域連携・地域移行

～生涯にわたりスポーツ・文化芸術に親しめるまち なかの～

2023年11月
ニュースレター No.2

部活動の地域連携・地域移行に関するアンケート結果

令和5年10月に実施した「部活動の地域連携・地域移行に関するアンケート」へのご協力ありがとうございました。生徒1036名、保護者416名からご回答いただきました。

▼結果の一部をご紹介します!▼

専門的な指導

今後、資格のある指導者から専門な指導を受けたいと思いますか。

【生徒】	【保護者】
思う	思う
やや思う	やや思う
あまり思わない	あまり思わない
思わない	思わない

多くの生徒、保護者が、資格のある指導者から専門な指導を受けたい、今後の活動に希望しているという結果でした。

参加したい活動

地域でのスポーツ・文化活動について、どのような活動に参加したいと思えますか。

【生徒】	【保護者】
同じ種目や分野を深める	同じ種目や分野を深める
季節ごと異なる種目や分野	季節ごと異なる種目や分野
高い記録・成績を目指す	高い記録・成績を目指す
レクリエーション志向	レクリエーション志向

生徒、保護者とも希望している種目に偏りがあるという結果でした。

部活動の地域連携・地域移行への不安

地域でのスポーツ・文化活動になった場合、どのような心配がありますか。

【生徒】	【保護者】
指導者が先生ではないこと	指導者が先生ではないこと
活動場所への移動の負担	活動場所への移動の負担
参加メンバーとの関係づくり	参加メンバーとの関係づくり
大会・発表の場の確保	大会・発表の場の確保

生徒は、参加メンバーとの関係づくりへの不安が一番多い結果でした。
また、生徒、保護者とも移動の負担も心配されている方が多いということが分かりました。

【アンケート結果】

出典:中野区教育委員会事務局指導室

地域でのスポーツ・文化活動にあつたら参加したい種目や分野

【生徒】

- バスケットボール
- バレーボール
- バドミントン
- テニス
- 水泳
- 陸上
- ダンス

【文化】

- 美術
- ボランタリー
- プログラミング
- など

【保護者】

- ダンス
- 水泳
- テニス
- バスケットボール
- 陸上
- バレーボール
- サッカー
- バドミントン
- など

【文化】

- プログラミング
- 吹奏楽
- 美術
- 料理
- など

このほかにもたくさんのご意見をいただきました。ご協力、ありがとうございました！
皆様からいただいた、ご意見を参考に、部活動検討委員会でも中野区の学校部活動の地域連携・地域移行について検討していきます。

中野区の部活動検討委員会について

目的

- 令和7年度末までに、中野区内全ての公立中学校で、地域中学校の実態に応じ、学校の部活動の地域連携・地域移行に向けた取組が行われていることを目指す。
- 生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動を実現するため、学校部活動の地域移行・地域連携の在り方等についての検討を行う。

協議会の構成員

帝京平成大学教授、早稲田大学教授
中野区立中学校校長、副校長、主幹教諭、主任教諭
中野区教育委員会、中野区文化振興・多文化共生推進課、中野区スポーツ振興課

主な検討事項

- 中野区の学校部活動の現状分析・共有
- 部活動の地域連携・地域移行における課題抽出
- 中野区に合った部活動の地域連携・地域移行の進め方の検討
- 休日の学校部活動の段階的な地域連携・地域移行の計画策定やスケジュール案を作成
- 新たな地域クラブ活動の整備に向けた検討

など、部活動改革に向けて現場の教職員と区役所職員、教育委員会が連携して検討を進めています。

問合せ先: 中野区教育委員会事務局指導室 03(3228)5589

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【ダンス練習】



【ダンス練習】



【統括責任者によるオリエンテーション】

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

部活動検討委員会設置、検討開始

中野区として目指す「部活動の地域連携・地域移行」の方向性の検討

令和5年

アンケートによる実態調査部活動検討委員会での分析

・実施種目の決定
・委託業者の選定
・学校、生徒、保護者への周知

令和6年

行政主導地域クラブ活動の開始

令和7年

行政主導地域クラブ活動の拡充

●ステークホルダー

大学教授、スポーツ振興課（区長部局）、文化振興・多文化共生推進課（区長部局）、指導室、学校

●経過

中野区の実態に合った部活動の地域連携・地域移行を進めるための方向性の検討の実施

●実施にあたって生じた課題

・中野区の部活動における実態の調査が必要であること

●実施内容、工夫した点等

以下の3点を主に協議した
・中野区の部活動の地域移行の形
・中野区の活用できる人的資源
・部活動の地域移行における課題
区内の関係者の今後の連携体制の基礎を築くことができた。

●ステークホルダー

大学教授、スポーツ振興課（区長部局）、文化振興・多文化共生推進課（区長部局）、指導室、学校、地域のスポーツクラブ（東京アスレチッククラブ）

●経過

アンケートの内容等を部活動検討委員会で検討し、実施した。

そのアンケート結果をもとに部活動の地域連携・地域移行モデル実施種目を決定した。

●実施にあたって生じた課題

指導者や活動場所の確保

●実施内容、工夫した点等

・部活動実態調査アンケートの実施
・アンケート結果を受けての中野区の実態の検討
・スポーツ振興課を通して指導者、活動場所の確保に向けて地域のスポーツクラブとの連携を図ることができた

●ステークホルダー

大学教授、スポーツ振興課（区長部局）、文化振興・多文化共生推進課（区長部局）、指導室、学校、地域のスポーツクラブ（東京アスレチッククラブ）、地域に拠点を置くプロダンスチーム

●経過

令和6年度の中野区ダンスクラブのモデル実施後の、生徒ヒアリングでヒップホップ系のダンスにニーズが高いことが分かった。そのため、地域に拠点を置くプロダンスチームと連携した指導体制について検討を行った。また、行政主導地域クラブ活動の他種目の検討を行った。

●実施にあたって生じた課題

生徒のニーズに合った内容、実施回数の確保
受益者負担について

●実施内容、工夫した点等

・今年度のモデル実施をもとに、参加者に直接ヒアリングを行い、次年度の内容を検討した。
・持続可能な指導体制の構築に向けて地域の団体・人材との連携を深めた。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

①顧問教員単独型			
	令和5年度	→	令和8年度
状態	ほとんどの教員が顧問	「一部負担に感じている」77人、「あまり感じていない」35人、「感じていない」12人の教員を顧問	部活動指導ができる教員が顧問
見込み数	230人		124人
※一部負担に感じている要因として、「教員が単独で指導していること」や「活動日数が多いこと」がある。今後、担当する顧問の調整やガイドラインの見直し等で解消する。			
②外部指導員配置型			
	令和5年度	→	令和8年度
状態	各学校が見つけた人材を配置	負担に「感じている」106人が顧問の部活動の3分の2に2人配置	各学校に約15名配置
見込み数	69人		140人
③部活動指導員配置型			
	令和5年度	→	令和8年度
状態	各学校に2名配置	負担に「感じている」106人が顧問の部活動の3分の1に1人配置	各学校に4名配置
見込み数	13人		36人
※人材確保や必要経費等の観点から外部指導員と部活動指導員の配置の割合を決めた。			
(2) 行政主導地域クラブ活動			
到達目標：希望者が多い合同部活動を3つ設置する。			
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
状態	希望者が1番目に多い部活動を設置	希望者が2番目に多い部活動を設置	希望者が3番目に多い部活動を設置
見込み数	1部活動(ダンス)	2部活動(陸上)	3部活動(プログラミング)

※出典 中野区教育委員会事務局
指導室